事業コード					事務事業評価	137 (114H)								
尹木一 「		426		課コード	0505	会計種別				予算の	種類	政策 ■	 経常 [□なし
1. 事業の)概要(PLAN)													
11 4770	, M.S. (1 = 117)		基本事業 あらき	型運営事業			実施計画へ	.m						
		①事業名	個別事業 利用者(の健康管理			位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・	あらき園	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○その	の他(昭和6	3年度 ~)	④対象地区 ⑥担当職員数	□我孫子	□天王台	□湖北 2 人	□新木 (換算人数	□布佐	■全市 75 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	()	μ <u>υ</u>			0.12=1.11711	(当 初)	10), 517 千円	(ラち人件費		525 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始):	(変更後)	10	0,747 千円	(うち人件費	6,	525 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	33303	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地I 計画への位置		○有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
		施策目的・	あらき園と障害者		 -人ひとりのニーズにあった施設サービスを扱		容	利用者が心身	∤ともに健康な状態	で福祉サービ		 ことができるよ	うに、家族と協	協力して健康増
(2)目的		展開方向		。また、基幹施設とし の連携を強化します。	ンて、市内の障害者施設への技術的支援を行う。)とともに、保健、医療	寮 事業目的	進を支援する						
					るよう、日々の健康観察、定期健康診査(嘱託 引者個々の健康管理を実施していく。	E医健診、尿検査)の乳	実		》(毎月) ・尿検査 》(5月~6月)	€ (5月)	・歯みがき指導 ・利用者の健康			
					: される利用者に対して、医療的ケアを実施し E労働省令第百七十一号「障害者の日常生活及		当該年度 は 執行計画		(5月~7月) 症検診(9月)		医療的ケア(・服薬管理(通			
(3)事業内容		内 容	支援するための法律	津に基づく指定障害補	a祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に	_関する基準」		・肺がん検診 ・歯科健診			発作等の緊急	時対応、応急処	置(随時)	
							当該年度		fを実施する回数			単位	想定值	13
(4)達成目標(期	相待する成里)						活動結果指			標 標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	9119 7 °0144.*/	利用者の健康状態	について把握するこ		その他の疾病の予防に役立てる。		直接		健康診断の受診率			%	96	100
		利用者の健康状態	について把握するこ	とで、生活習慣病やそ	その他の疾病の予防に役立てる。		直接	園で実施する	健康診断の受診率			%		100
令和 4年度		利用者の健康状態	について把握するこ	とで、生活習慣病やそ	その他の疾病の予防に役立てる。		直接	園で実施する	健康診断の受診率			%		100
/=>														
(7)事業実施上	.の課題と対応 						代替案検	讨	○有 ●無					
		Ti-br	平成31年度	A 27 (=)	令和 2年度	7 W to 1 1	## (T P) Th		和 3年度	A # 7 / -	Th:	令和 4	年度 	A += /
		政 策 嘱託医報酬 19	内 容 .000円×12か月	金額(千円)	政: 内 容 策: : 嘱託医報酬 19,000円×12か月	予算額(千円) 決算 228	來:	内 託医報酬 19,000円	• •	金額(千円)	策:	内 容	か月	金額(千円)
		属託医労災保防 属託医労災保防 医薬材料費		1 148	· 嘱託医教師 19,000円×12か月 · 嘱託医労災保険料 · 医薬材料費	1 159	1 順	武医報酬 19,000円 託医労災保険料 薬材料費	~ /1	159	1 嘱託医労災		- / .	1 1 159
		臨時看護師賃金	È ∃×6時間×238日×1:	2, 414		2, 184	,	:栗材料質 ニートタイム会計年度 報酬 1,430円×12		2. 16	パートタイ	ム会計年度(看 430円×126時間		2, 163
		通勤手当 320	0円×238日	4	職員手当等 152,252円	153 356	153	職員手当等 152,2	52円	15	3 職員手当	等 152, 252円	1 × 12 H × 1 ×	2, 163 153 356
	実施内容	労災保険料2,	061,080円×0.009 061,080円×0.00302		共済費 355,863円 旅費 320円×20日×12月×1人	77	66	共済費 355,8 旅費 320円×20日		350 7	7 旅費 32	355, 863円 0円×20日×12,	月×1人	77
(8)施行事項	費用		料 197,640円		歯科健診報償費 歯科医師27,000円×4人	154		科健診報償費 歯科医師27,000円>		154	歯科医師	27,000円×4人		154
		歯科健診報償費		153	歯科衛生士1,430円×4時間×8人 歯科健診消耗品	10	7	歯科衛生士1,430円 科健診消耗品			0 歯科健診消		fi间×δ人	10
			390円×4時間×8名	_	利用者尿検査等手数料 保健消耗品	32 593	586 係	用者尿検査等手数料 健消耗品	}	38	7 保健消耗品	企等 于数料		32 387
		歯科健診消耗品 利用者尿検査等		7 31	自動体外式除細動器AEDリース代	15 72	72 É	修旅費 動体外式除細動器 A		1! 7:	2 自動体外式	除細動器AED	リース代	15 72
		保健消耗品 研修旅費		365 15	利用者支援用備品購入費 研修負担金	152 36		用者支援用備品購 <i>入</i> 修負担金	、費	3:	5 研修負担金 3 -			33
		研修負担金	⊞動器AEDリース代	30										
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	3 計 0 %	3, 464	合計 補助率 0 %	4, 222		合 i	0 %		0 補助率	合 計	0 %	3, 840
(9) 財源内訳	県支出金 起債	補助率 充当率	0 %	0	補助率 0 % 充当率 0 %	781 0	0 充:	助率 当率	0 % 0 %	(0 補助率 0 充当率		0 %	0
(o) Minki Tur	一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 □基金 ■その他	3, 235 229	□特会 □受益 □基金 ■その他	3, 212 229	3, 170 229	□特会 □受益 □基	金 ■その他	3, 64 22	9 □特会 □	受益 □基金 [こその他	3, 611 229
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費			0. 75 6, 600		0. 75 6, 525	0. 75 6, 525			0. 69 5, 65	5			0. 65 5, 655
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			0 2, 414		0	0			(0			0
(11)単位費用	算)額+正職員人件費)		774.15千円/回	10, 064	826.69千円/回	10, 747	10, 659 819, 92			9, 530	0			9, 495
	活動結果指標)評価 (DO+CHECK)	<u> </u>	774.10 17		020. 00		013. 32							
	価項目	Ĭ		事前				事後間	平 価 (評価結果に	広じ、改善案	検討(拡充も含む))		改善検討
				員、設備及び運営に関	慰する基準」の中で、利用者が健康に日常生活		●①事前確認での	想定どおり			,	•		7 L NII
	今必要である理由・	措置を講じなけれ	ばいけないと定めら;	れており、健康観察や	者の健康の状況に注意するとともに、健康保持 ○健康診断等の事業を実施する必要がある。			想定どおりでなかっ						〇要
背景は	(?(事業の必要性)		高齢化により、生活 [:] 応を継続して行って		さまざまな疾患を発症する危険性が高まってし	日	頃の健康観察や	た理由/想定どおり . 健(検)診の機会を	持つことにより、優				つながった。新	●不要
			IPO、市民団体等で		<その他の内容>		□①民間企業、N	染症の影響で、嘱託 PO、市民団体等で	びは実施できなかっ	た <市実施	の具体的な内容・	必要性の理由>		
必 要		□提供主·	で市が実施すること 体が市しかない	が定められている			□③市が先導役と	ぬなければ実効性が なったことで市民へ			している施設なの ができない。	で、市以外の企	注:・団体等が多	実施
14.	施する必要性は	□その他						策・施策の目標の乳	関果現に貢献した					
あるか		(理由) 口市が主	る市が推進すべきであ 導で進めることによ	り実効性が得られる	くその他の内容> 			≦が確保された 『定供給基盤が確保さ	きれた					〇要 ●不要
(1)2,8	5000 X (II)	サービ	スが保証される	より、良質で安定し#			<u>□⑦その他</u> その他の内容>							
		実現が	援することにより政! 図られる	^{束・施策の目標の}										
		□その他	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容			・協働の具体的な内			参加・拉	動の程度・内容		
*		〇①事業計画時に	市民の参画有り			な		が考えられる場合に	はその内容)		刀期待した以上			
参 加 ・ 市民の参加	11や市民との協働を	〇②事業実施時に 〇③管理・運営に	市民の参画有り	. 7							刃期待したとおり 刃の期待以下			
	いるか?	○⑤市民と共同で	りな活動と連携してい 『事業を実施	'ক						<期待し	た以上となった理	由/期待以下で	あった原因>	O要 ●不要
協 工夫してに 働 (体制づく エ 夫		●⑥その他												
		<その他の内容> 該当なし												
			配慮の視点		取組む内容			実施した具体的な内	容		環境	への配慮		
珊		□①自然環境を生 □②生き物と共存								●①想定 ○②想定	Eどおり Eどおりでなかった			
	慮して事業を進めて	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低源	載している								おりでなかった原			〇要
の いるか?		■⑤その他	•								20 21200			● 不要
應		<その他の内容> 該当なし												
		成当なじ 現況値(a)(%)	目標値(b)(%)		目標値の妥当性のチェック		\ \	· 技状況	■①目標値達成	<u> </u> t				-
, n = 1	، سر محد يا روشي	シェルル (旦 (4) (70)	口 1示 (L (D) (*70)	,	タ・事実に基づき設定している	Ţ.		達成率(%)	〇②目標値未達					
(1)目標設	定は適切か?	96	100	□③現況値との差	実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない をがった場合といれる日本は(1			(f/b×100)			成となった原因> 医健診の1人当たり	の受診回数を	或らす代わりに	— ○要 ●不要
				□④適当な比較対 同等の水準で		. 現況値の差) と	96	96	密を避けながら	確実に健診を1	1回は受診していた	だく方法をと	った。	
			る事業費削減 事業費削減額(d)	□①国・県助成制	実施予定の対策 度活用 □⑤ P F I 等民間資	本の活用		近状況 対事業費(%)	○①想定事業費●②概ね想定事	業費以内	事業	費の削減対策に 定どおり	ついて	
効	Mai Sali	事業費(c)(千円)	(千円)	■②現有体制での □③維持管理費の	対応 □⑥受益者負担	実	程績値(g)(千円)	(g/c) × 100	○③想定事業費	[超過		eとおりでなか まどおりでなか	った	
いるか	削減の工夫をして ・?	10,747	△683	□③維持官項類の □④民間委託 <削減の内容>			10,659 超過理由等>	99. 18			<想定どおり削 新型コロナウイ			〇要 う ●不要
性											が出たため が出たため 定どおりにはい	、消耗品費など		
		Δ(6. 79								んこのカにはい	~ ·GN· J/E0		
			目標値対事業費(e)		計算方法		達,	大 状况	○①目標値以上●②目標値と同		⊥ 漂値以上となった:	理由/目標値以	下であった原因	
(2)日福店	を宝珥するもに		単位		●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業:		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	●②目標値と同 ○③目標値以下					〇要 ●不要
投じる	[を実現する為に 事業費は適正か?	0.00		1	○②複数年度の指標:(目標値-現況値)×費♪	17年四/ 尹禾貝		(11/ 0/ 11 100						
投じる		0. 93	%	10万円	○○授奴平及の拍標:(日標順一現沈順) ^ 負.	(1) 平位/ 争术员	0. 9	96. 77						
投じる(目標対	事業費は適正か? 対費用)	0. 93	%	I I	∪ 必恨致牛及の扣條:(日條個一死沈個)^ 負.	加平位/ 尹未見	0.9							
投じる(目標対	事業費は適正か? 対費用) F価		% ○結合 ○休止	10万円 〇廃止 C	○②模数年度の指標: (日標順一現沈順)×貢, ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		0. 9		⊒	5及75年間十二				
投じる (目標対 3. 事後評 ●現状どおり 令和2年度	事業費は適正か? 対費用) 「価 「拡充 「は、新型コロナウイ	○縮小	● 96 ● 9	10万円 〇廃止 コメント 人当たりの受診回数:		ど) 進む中で	0.9		改善策	を及び展開方向	J			

(1) 事業概要 (2) 目的 (3) 事業内容 (4) 達成目標(期待する成果) (3) 当該年度 (4) 等 (期待する成果) (4) 当該年度 (5) 令和 3年度 (6) 令和 4年度 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 第 (第) 第 (8) 第	2号曠託職員(生員生 2号時生活に職支 連座体設理品費 ※表表の他別で、 ※表表の他別で、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 を記述して、 本語ので、 を記述して、 を記述し、 を記述し、 を	●市	書画の利用者支援 33303 34 34 35 34 35 35 36 36 36 36 36 36	は	重点プロジェクトへの位置つけいのでは、	的支援を行うととも 利用者のニーズに合 を目的とした支援、 維持・向上を目的と 会議等において活動 令和 2年度 事務) 7人	ため、支援に、保健、に、保健、に、保健、同じた日課や活力に日課や活力に大力に対した支援、対象を制め、支援を制め、大力に対した支援を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	実施計画で () (4)対象地職員 当該 (開始 事業 目	■ 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の介護、創作的 ・運営会議 → 会議 → 会議 → 会議 → 会議 → 会議 表 表 接	□天王台 □3 11 120,319 112,895 有 ●無 活、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ長 月、3月 ・職員 一番・サービス事業者: 援提供日 指 13年度 ●無 13年度 金 優・事務)7人	朝北 人) 千円 一 ことができる そ会議 → 毎付表 を付いて、 一 できる ・ 一 できる ・	部課名 □検うちん 横う の (う 別 間 で) を	(計画名) 護が必要な和 果象的に行う。 開催・グルー で要望があっ 単位 単位 96 96 96	■全市 7.1 人) 11,770 千円) 11,770 千	応じて随時を
(1) 事業概要 (2) 目的 (3) 事業内容 (4) 達成目標 (期待する成果) (4) 達成目標 (期待する成果) (5) 当該年度 (6) 令和 3年度 (7) 事業実施上の課題と対応 (7) 事業実施上の課題と対応 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 施行事項 (8) 施行事項 (9) 財源内訳 (9) 財源内訳 (10) 人件費等 (10) 人件費等 (10) 人件費等 (11) 単位費用 (11) 単位費用 (11) 単位費用 (11) 単体費 (11) 単位費用 (11) 単体費 (11) 単体費 (11) 単体費 (11) 単体費 (11) 単体費 (11) 単体費 (11) 単体要 (11) 単体更 (11) 型 (事業業 業 業 業 費 を から を しん かん を しん かん を しん かん を 乗割 費 き から から を 乗割 費 き から から を 乗割 費 き から から を 乗割 乗 業 費 を から を 乗 関 から を 乗 乗 を でん は しん は	個別事 あらられる は で あらられる で	書画の利用者支援 33303 34 34 35 34 35 35 36 36 36 36 36 36	0 千円 は	重点プロジェクトへの位あった施設中である。 できる ののは のの を のの を のの を のの を のの を のの を のの できる との のの できる との のの できる との のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を できる のの できる を できる のの できる できる のの できる できる の できる	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	位置 位置 位置 位置 位置 位置 位置 位置	びは 区 動 白 地位 目 下十 下 民 重 要 を を 検 パ報期共通パ報期 手 日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□我孫子 (当 初) (変更後) (変更後) (変更後) (変更後) (変更後) (変更後) (変更を対した。会議議議議会会会議議議会会会を表現の対した。) (の 生活を対している。) (の まままが、) (の ままが、) (の ままが、)	□天王台 □3 11 120,319 112,895 有 ●無 活、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ長 月、3月 ・職員 一番・サービス事業者: 援提供日 指 13年度 ●無 13年度 金 優・事務)7人	朝北 人) 千円 一 ことができる そ会議 → 毎付表 を付いて、 一 できる ・ 一 できる ・	□ (換う は で を) で (で で で で で で で で で で で で で で で で で	口布佐 66668 (計画名) 護が必って要望があっ 単位 単位 %6 %6 %6 年度(生活支	■全市 7.1人) 1,770 千円) 1,770 千円 1,7	応じて随時を
(1) 事業概要 (2) 目的 (3) 事業内容 (4) 達成目標 (期待する成果) (3) 当該年度 (4) 章	事業業 業 業 業 費 を から を しん かん を しん かん を しん かん を 乗割 費 き から から を 乗割 費 き から から を 乗割 費 き から から を 乗割 乗 業 費 を から を 乗 関 から を 乗 乗 を でん は しん は	個別事 あらられる は で あらられる で	書画の利用者支援 33303 34 34 35 34 35 35 36 36 36 36 36 36	0 千円 は	重点プロジェクトへの位あった施設中である。 できる ののは のの を のの を のの を のの を のの を のの を のの できる との のの できる との のの できる との のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を できる のの できる を できる のの できる できる のの できる できる の できる	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	位置 位置 位置 位置 位置 位置 位置 位置	びは 区 動 白 地位 目 下十 下 民 重 要 を を 検 パ報期共通パ報期 手 日 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□我孫子 (当 初) (変更後) (変更後) (変更後) (変更後) (変更後) (変更後) (変更を対した。会議議議議会会会議議議会会会を表現の対した。) (の 生活を対している。) (の まままが、) (の ままが、) (の ままが、)	□天王台 □3 11 120,319 112,895 有 ●無 活、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ長 月、3月 ・職員 一番・サービス事業者: 援提供日 指 13年度 ●無 13年度 金 優・事務)7人	朝北 人) 千円 一 ことができる そ会議 → 毎付表 を付いて、 一 できる ・ 一 できる ・	□ (換う は で を) で (で で で で で で で で で で で で で で で で で	口布佐 66668 (計画名) 護が必って要望があっ 単位 単位 %6 %6 %6 年度(生活支	■全市 7.1人) 1,770 千円) 1,770 千円 1,7	応じて随時を
(1) 事業概要 (5) (7) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人	事事 大件 第 大	●市 CC 常味 で B と図各地りに活シ計援共 を 下 B と図各地りに活シ計援共 を 下 B と図各地りに活シ計援共 な な な な 支 支 援 援 る な な な 支 支 援 援 る 4 (16) (16) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17	33303 『香す。また 2 本強化 2 本強化 2 本強化 2 本強化 2 本強化 2 本強化 2 大変 2 本強化 2 大変 2 本強化 2 大変 2 本強能 4 たったいく。	0 千円 は	重点プロジェクトへの位あった施設中である。 できる ののは のの を のの を のの を のの を のの を のの を のの できる との のの できる との のの できる との のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を できる のの できる を できる のの できる できる のの できる できる の できる	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	 (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金) (金)	区 員 治 地位 日 F 中 F ト 手費会 き 検 パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期 また 手費会 当 ト 手費会 当 言 当 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言	(当 初) (当 初) (当 変更後) (当 変更後) (コール で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	11 120, 315 112, 895 有 ●無 活動の機会の提供、 ほ月1回・グループ長 月、3月・職員 ・諸者、サービス事業者: 接提供日 指 13年度 ●無 13年度 金 優・事務)7人	人) 千円 。 千円 っ ことができす。 会議 → 毎に は会ができる。 会議 スタートのできる。 は会ができる。 会議 スタートのできる。 は会ができる。 はらいできる。 はらる。	(換うちち) 開門位 よを 応 前 ラ 提供 医 日 午 議 の で 中 随 供 の で 中 随 供 の で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で 中 で で で で か で 中 で で で で	(計画名) 護が必要なう。 課件 ・グルー で要望があっ 単位 単位 % 96 96	7.1 人) 11,770 千円) 12,700 中央 12,200 中央 12,200 中央 13,200 中央 14年度 12,200 中央 14年度 15,200 中央 14年度 15,200 中央 14年度 15,200 中央 14年度 15,200 中央 15,200 中央 16,200 中央 16	応じて随時 を (6)目標 金額(千F
1) 事業概要	事件 費 合 か に 応 に に に に に に に に に に に に に に に に に	施一 ら 東部	33303 『香福はセンタ基発性」 『香味 の連 大き を を を を を を を を を を を を を を を を を を	0 千円 は	重点プロジェクトへの位あった施設中である。 できる ののは のの を のの を のの を のの を のの を のの を のの できる との のの できる との のの できる との のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を している できる のの できる を できる のの できる を できる のの できる できる のの できる できる の できる	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	当該 (開始 基本計画) 計画への位 事業 目 計画への位 事業 目 執 行	台) 地位 目 下 日 下 日 下 日 下 日 下 日 下 日 下 日 下 日 下 日 下	変更後) コ立した 対	120, 318 112, 898 有 ●無 活法、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ長 月、3月 ・職員 中 2 回作成 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 千円 言 千円 高 二とができる 会議→毎計 会議ス支援技 標標 額(千円) 11,904 838 956 52,259 54,404 	(うう) 時間 () () () () () () () () () ((計画名) 護が必要な利。 選集的に行う。 単位 単位 96 96 96 年度(生活支持)	11,770 千円) 12,700	を (6)目標(金額(千斤
(人) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	人件 策 の 目 方 の 日 方 の 日 方 の 日 方 の 日 方 の 日 方 の 日 方 の の 日 方 の の 日 方 の の 日 方 の の 特 特 性 性 に に 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応 応	施一 ら 東部	審	は投ますすことと は投ますすことと はとするの し。会。要たたに 大て 生 な支支応、	重点の位置では、	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	基本計画域計画ののの 内容療 活動 が自ま 当執行計 が自ま 当執行計 が自ま 当執行計 で表現では、 (千円) 変数 (千円) 変数 (千円) 変数 (千円) 変数 (千円) 変数 (千円) 変数 (1, 253 494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	台) 地位 目 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	変更後) コ立した 対	112,895 有 ●無 活、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ長 月、3月・職員 中年2回作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 千円 高 ことができま その他の必 会議 会議 会議 会議 を を を を を を を を を を を を を	(う)別ででは、 (う)別では、 (う)	(計画名) 護が必要な利。 選集的に行う。 単位 単位 96 96 96 年度(生活支持)	11,770 千円) III,770 千円) III,770 千円) III,770 千円) IIII,770 千円) IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	応じて随時 を (6)目標 金額(千円
2)目的 (3)事業内容 (4)達成目標 (期待する成果) (5)当該年度 (6)和 3年度 (7)事業実施上の課題と対応 (7)事業実施上の課題と対応 (8)施行事項 (7)事業実施上の課題と対応 (8)施行事項 (9)財源内訳 (9)財源内訳 (10)人件費等 (2)共享 額 (2)共享 額 (2)共享 (3)共享 (3)共享 (4)共享 (5)共享 (4)共享 (5)共享 (4)共享 (5)共享 (6)共享 (施展開方向	コード	審	は	への位置づけ カニーズにあった施設・ カニーズにあった施設・ カに とが でにつけるを よう、 和 関係を おいて といる とのの が立て といる にいたが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	計画への位 本集目	位置的 度価 度指類 計 が報期共通パ報期 一個末済勤ー酬末 ・ 手費会 ・ 手費会 ・ 手費会 ・ 手費会 ・ 手費会 ・ 手費会 ・ 一個末済勤ー酬末 ・ 手費会 ・ 一個末済勤ー酬末 ・ 一個末済勤・一個末済勤・一個末済勤・一個末済動・一個末期・一個末期・一月末期・一月末期・一月末期・一月末期・一月末期・一月末期・一月末期・一月	自立した 創作 学生 の	活、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ号 月、3月 ・職員 1⇒年2回作成・ 者、サービス事業者: 接提供日 指 3 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	ことができ その他の支 会議 → 4 会議 → 4 会議 → 4 会議 → 4 会議 → 4 を 大一ス支援技 標 標 (千円) 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404	位 と を と 当 会 当 会 当 会 当 会 当 会 当 会 当 会 当 会 当 会 当	世報 ・グルーで 要望があっ 単位 単位 %6 %6 %6 年度(生活支持)	ープ会議→必要に った場合→随時実施 想定値 実績値 (5) 現況値 81	応じて随時を
2)目的 (3)事業内容 (4)達成目標 (期待する成果) (5)当該年度 (6)和 3年度 (7)事業実施上の課題と対応 (7)事業実施上の課題と対応 (8)施行事項 (7)事業実施上の課題と対応 (8)施行事項 (9)財源内訳 (9)財源内訳 (10)人件費等 (2)共享 額 (2)共享 額 (2)共享 (3)共享 (3)共享 (4)共享 (5)共享 (4)共享 (5)共享 (4)共享 (5)共享 (6)共享 (施展開方向	あの、利内社らユ個適を と図各地域域の動す画提名し を実社者に加る合うに対する。 を関をのがよいたというではできません。 と図各地域域の動す画提名し では、から、大きなでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	電報	は	一一	サービスを提供する	ため、支援 に、保健、 でった日課や 利用者本人 した支援、 が体制や支援 (千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	内容 (下) 本 (下)	目的 Fe Fe Fe Fe Fe Fe Fe F	自立した 創作 学生 の	活、社会生活を営む 活動の機会の提供、 月1回・グループ号 月、3月 ・職員 1⇒年2回作成・ 者、サービス事業者: 接提供日 指 3 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	その他の支 社会議⇒必 を を を を は会議⇒毎 を を を を を を を を を を を を を	るよう適の じ 午時介 か 随時 () 保	世報 ・グルーで 要望があっ 単位 単位 %6 %6 %6 年度(生活支持)	ープ会議→必要に った場合→随時実施 想定値 実績値 (5) 現況値 81	応じて随時を
(1) 事業の字の必要性) (2) 目的 (3) 事業内容 (4) 達成目標 (期待する成果) (4) 達成目標 (期待する成果) (5) 当該年度 (6) 令和 4年度 (7) 事業実施上の課題と対応 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 施行事項 (8) 施行事項 (9) 財源内訳 (9) 財源内訳 (10) 人件費等 (第2) 大學等 (第2) 大學等 (第3) 大學等 (第4) 大學等 (第5) 大學等	展開方向 内容 川用者の特性にに応じ 川用者の特性にに応じ 「生にに応じ」 「生にに応じ」 「生活に費養」 「は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	の、利内社らュ個適を たたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたな。 本種用容会行二別切確認 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	 す。 まま、 きない はいます。 また、 きない はいます。 また、 きない はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいま	世界	D障害者施設への技術的 ことができるよう、 習慣を身体力、健康のよう。 習慣を身体力、健康のよう。 の大規模を提供する。 の力が況を支援を提供す、随時分別な支援を把握し、随時分別な支援を把握し、 成果) 内容会計年度(生活支援・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3・3	的支援を行うととも 利用者のニーズに合 を目的とした支援、 維持・向上を目的と 会議等において活動 令和 2年度 事務) 7人	でった日課や 利用者本人 した支援、 加体制や支援 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	医療 事業目 (活動 当該 (活動 当該 (活動 当該 (活動 音報 (大替 本	日的 度 度 度 度 長 度 長 度 長 度 長 日 日 日	の介護、創作的 ・運営会議議議議会議議議議議会議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議議	活動の機会の提供、 月1回・グループ長 月、3月 ・職員 一年2回作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	その他の支 社会議⇒必 を を を を は会議⇒毎 を を を を を を を を を を を を を	援を応い 前 3 提供 (中時に)	果的に行う。 開催 ・グルー て要望があっ 単位 単位 % % % 内 容和 存 年度(生活支	ープ会議→必要に った場合→随時実施 想定値 実績値 (5) 現況値 81	応じて随時を
4) 達成目標(期待する成果) 当該年度 令和 3年度 令和 4年度 (7) 事業実施上の課題と対応 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 施行事項 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 施行事項 (8) 施行事項 (9) 財源内訳 (9) 財源内訳 (10) 人件費等 (2) 事業の評価(DO+CHECK) (11) 事業が今必要である理由・ 計量は?(事業の必要性) (11) 事業が今必要である理由・ 計量は?(事業の必要性) (12) (13) 事業の必要性) (14) (15) (16) (16) (16) (16) (16) (16) (16) (16	川用者の特性に応し 川用者の特性に応し 川用者の特性に応じ 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」	利内社らユ個適を たた 適 適 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	型向立した (千年) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	社会のとしたにに現	習慣を身につけることでを 本機能、	を目的とした支援、 権持・向上を目的と 会議等において活動 令和 2年度 予算記事務)7人	利用者本人 した支援、 加体制や支援 加体制や支援 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	が自 当該年 第一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	Fe 由 ままります。 Fe 由 手 日 ・	能・期末会議計会 8 ● 8 ● 8 ● 9 ● 9 ● 9 ● 9 ● 9 ● 9 ● 9 ●	月、3月 ・職員 □ 年 2 回作成 ・ 者、サービス事業者: 接提供日 指 ・ 1 3年度 ・ 金 ・ 張・事務) 7人	A会議→毎日 大会議→毎日 たいら支援技 標 (千円) 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404	日午前の世界 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	単位 単位 % % % 中 か 令和 内 容 年度(生活支	た場合⇒随時実施 日 想定値 実績値 (5)現況値 81	金額(千円
4) 達成目標(期待する成果) 当該年度 令和 3年度 令和 4年度 (7) 事業実施上の課題と対応 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 施行事項 (7) 事業実施上の課題と対応 (8) 施行事項 (8) 施行事項 (9) 財源内訳 (9) 財源内訳 (10) 人件費等 (2) 事業の評価(DO+CHECK) (11) 事業が今必要である理由・ 計量は?(事業の必要性) (11) 事業が今必要である理由・ 計量は?(事業の必要性) (12) (13) 事業の必要性) (14) (15) (16) (16) (16) (16) (16) (16) (16) (16	川用者の特性に応し 川用者の特性に応し 川用者の特性に応じ 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」 「保護」	社会行工外のでは、	表な支援、日生生活的 を放棄性持・の向上を目的 作作が成し、 にないく。 達は には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	Table Ta	本機能、体力、健康の約5。 切な支援を提供する。 の状況を把握し、随時的 成果) 内 容 会計年度(生活支援員) 当当 会計年度(生活支援員) 当当 (3月補正) (3月補正) (3月補正)	維持・向上を目的 & 会議等において活動 令和 2年度 予算 事務) 7人	直(千円) 決 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404 1,641 909	カ法 当該結果 指標種 直接 直接 (代替案: 1,253 494 31,102 2,182 5,128 1,095	中国 t 本 本 本 ス 本 ス 会 当 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	・個別支援計量 ・利用者の出席率 ・利用者の出席率 ・利用者の出席率 ・令和 ・ 内 ・ 内 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	□ 年 2 回作成 者、サービス事業者: 接提供日 指 1 3 年度 金 援・事務) 7人	ケース検討から支援技 標 額(千円) 11,904 838 1,956 57 2,259 5,404	会議術の	で要望があっ 単位 単位 % % % % % や へ れ で 不 を 不 を を を を を を を を を を を を を を を を	日 想定値 実績値 (5) 現況値 81 81 1 1 1 1 1 1 1	(6)目標作
当該年度	利用者の特性に応じ、 1月	こた適切な支援を で	を提供する。 を接供する。 ををを持ている。 金額(千 6人) 14 38 人) 1	円) 政策 パート 1 1 1 1 1 1 1 1 1	内容 会計年度(生活支援・ 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 会計年度(生活支援・ 3)月補正) 当(3)月補正) ((3)月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	指標種 直接 直接 (代替案) (大替案) (千円) 政策 (7,413 498 1,253 494 31,102 2,182 5,128 1,095	重 養 妾 妾 検 パ報期共通パ報期 十 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	利用者の出席率 利用者の出席率 〇ジ 令和 内 容 計年度(生活支	有 ●無 1 3年度 金 援・事務)7人	額(千円) 11,904 838 1,956 576 32,087 2,259 5,404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	% % % % 内 容 年度(生活支持	(5)現況値 81 1 4年度 2 援・事務)7人	金額(千円
10 10 10 10 10 10 10 10	利用者の特性に応じ、 1月	こた適切な支援を で	を提供する。 を装(千 6人) 14 38 人) 1 1 8 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第78 第78 第78 第78 第78 第78 第78 第78 第78 第78	内容 会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	直接 直接 代替案样 7,413 498 1,253 494 31,102 2,182 5,128 1,095	を 接 接 検 パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期 手費 会 当 会 当 会 当	利用者の出席率 利用者の出席率 〇ジ 令和 内 容 計年度(生活支	有 ●無 1 3年度 金 (※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	% % % 今和 内 容 年度(生活支	日 4年度	金額(千円
マ	1月者の特性に応じ 2号嘱託職員(生員 原体) 原体 計画 を のの充当 一体表に 一体表に 一体表に 一体会 一学会	で で で で で で で で で で で で で で	金額(千 6人) 14 38 人) 1 1 56 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79	内容 会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	直接 代替案 (代替案) (千円) 政策 (7,413 498 1,253 494 31,102 2,182 5,128 1,095	を 接 検 「パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期共通パ報期 手き 会 当 会 当	利用者の出席率 〇 ² 令和 内 容 計年度 (生活支	有 ●無 1 3年度 金 (爰・事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	令和 内 容 年度(生活支持	援・事務)7人	金額(千斤
実施人の課題と対応	2号嘱託職員(生員 全職主活を選責 を施入 を施入 を表表 を表表 を表表 を表表 を表表 を表表 を表表 を表表 を表表 を表	平成31年度 内 容 活支援員)報酬(賃金(1 (賃金(1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (金額(千 6人) 14 38 人) 1 1 56 96 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79	内容 会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	(代替案) (算額(千円) 政策 (第4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (検検 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	今和 内 容 計年度(生活支	有 ●無 1 3年度 金 金	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	令和 内 容 年度(生活支持	援・事務)7人	金額(千F
要施内容 費用 予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 ・一般財源 その他の財源 接第人数(人) 正職員人件費 「臨時職員賃金額 に事業費/活動結果指標) 2.事業の評価(D0+CHECK) 評価項目	2号曠託職員(生員生 2号時生活に職支 連座体設理品費 ※表表の他別で、 ※表表の他別で、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 を記述して、 本語ので、 を記述して、 を記述し、 を記述し、 を	内 容 活支援員 報酬(賃金(16人) 活支援員賃金(1 33964千円を一般 る。 計 0 0	金額(千 6人) 14 38 人) 1 1 56 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79	内容 会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	7, 413 498 1, 253 494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	パート会語 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	令和 内 容 計年度(生活支	1 3年度 金 援・事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	内 容	援・事務)7人	
要施内容 費用 予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 ・一般財源 その他の財源 接第人数(人) 正職員人件費 「臨時職員賃金額 に事業費/活動結果指標) 2.事業の評価(D0+CHECK) 評価項目	2号曠託職員(生員生 2号時生活に職支 連座体設理品費 ※表表の他別で、 ※表表の他別で、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 本語ので、 を記述して、 本語ので、 を記述して、 を記述し、 を記述し、 を	内 容 活支援員 報酬(賃金(16人) 活支援員賃金(1 33964千円を一般 る。 計 0 0	金額(千 6人) 14 38 人) 1 1 56 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79	内容 会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	7, 413 498 1, 253 494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	パート会語 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	令和 内 容 計年度(生活支	1 3年度 金 援・事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	内 容	援・事務)7人	
実施内容	2号曠託職員(生員生 2号時生活に職支 連座体設理品費 ※表表の他別で、 ※表表の他別で、 本語の他別で、 本語の他の、 ・ 本語ので、 ・ 本語ので 、 ・ 本語ので 、 ・ 本語ので 、 ・	内 容 活支援員 報酬(賃金(16人) 活支援員賃金(1 33964千円を一般 る。 計 0 0	金額(千 6人) 14 38 人) 1 1 56 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79	内容 会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 营費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	予算: 事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	第 7, 413 498 1, 253 494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	パー が イ 報 期 共 通 か 子 費 費 ト ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	内 容計年度(生活支	金 援·事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	内 容	援・事務)7人	
実施内容	2号曠託職員(生員生 2号時生活に職支 連座体設理品費 ※表表の他別で、 ※表表の他別で、 本語の他別で、 本語の他の、 ・ 本語ので、 ・ 本語ので 、 ・ 本語ので 、 ・ 本語ので 、 ・	活支援員)報酬(賃金(16人) 活支援員賃金(1 33964千円を一舶 る。 計 0 0	6人) 14 38 人) 1 1 8 8 96 96 96 96 96	687 039 917 917 926 979 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79 第79	会計年度(生活支援・3 当 会計年度(生活支援員) 当 営費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	7, 413 498 1, 253 494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	報期共通パ報期共通の報末済勤ー が報末済動ー がまります かいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい おいまい	計年度(生活支	援・事務)7人	11, 904 838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	報酬 期末手当 共済勤費 パー酬 報報末手当	年度(生活支	援・事務)7人	
実施内容 実施内容 費 用	産権 (本) を	雑入) はあらき 33964千円を一般 る。 計 0 0		917 926 979 第末済動・副末済動・副末済動・副末済動・配消 パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報財共通 が報 明末済動 調品 ト ・ 手費費 調子費 調子費 調子費 調子費 調子費 調子費 調子費 調子費 調子費 調	会計年度(生活支援員) 当 當費 費 会計年度(生活支援・3 3月補正) 当(3月補正) (3月補正)		838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	498 1, 253 494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	期末手当 末済費 パ報 ポー酬 朝末手当	計年度(生活支	援員)17人	838 1, 956 576 32, 087 2, 259 5, 404	期末 手費 共 通 ポ ポ ポ サ サ サ サ 会 計 報 財 末 新 動 ー 、 報 新 報 明 動 の 、 日 の の の の の の の の の の の の の の の の の	-年度(生活支	援員)17人	4.4
実施内容	※その他財源(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	979 通パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報期共通 糖消 リロー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会計年度(生活支援員) 当 證費 費 会計年度(生活支援・1 (3月補正) (3月補正) (3月補正)		576 32, 087 2, 259 5, 404 1, 641 909	494 31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	通勤費 パート会言 報酬 期末手当	計年度(生活支	援員)17人	576 32, 087 2, 259 5, 404	通勤費 パート会計 報酬 期末手当	-年度(生活支持	援員)17人	11,
実施内容 実施内容 費 用	※その他財源(費に充当す他、 人件費に充当す 補助率 補助率 元当率	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報期共通 施消 パ報期共通	会計年度(生活支援員) 当 置費 費 会計年度(生活支援・1 3月補正) 1(3月補正) 1(3月補正)		32, 087 2, 259 5, 404 1, 641	31, 102 2, 182 5, 128 1, 095	パート会言 報酬 期末手当	計年度(生活支	援員)17人	32, 087 2, 259 5, 404	パート会計 報酬 期末手当	年度(生活支持	援員) 17人	1,
8) 施行事項	無財産 (計画を)	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	期共通 施消 パ報 別 規	當費費 費 会計年度(生活支援・3(3月補正) (3月補正) (3月補正)	事務)	2, 259 5, 404 1, 641 909	2, 182 5, 128 1, 095	期末手当			2, 259 5, 404	期末手当			32,
予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 規度 一般財源 その他の財源 投算人数(人) 運託職員報酬額 臨時職員賃金額 選費(予算(決算)額十正職員人件費) (11)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2.事業の評価(D0+CHECK) 評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (9) (10) (11) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (20) (21) (32) (43) (54) (54) (55) (67) (71) (8) (9) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (10) (11) (12) (12) (13) (14) (15) <td>無財産 (計画を) (計画を)</td> <td>33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0</td> <td>56 96 96 96 A 37</td> <td>通勤 動 施消 に が に が に が に が に が に が に が に が に が に</td> <td>営費 費 会計年度(生活支援・『 (3月補正) 当(3月補正) ((3月補正)</td> <td>事務)</td> <td>1, 641 909</td> <td>1, 095</td> <td>共済費</td> <td></td> <td>ı</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2, 5,</td>	無財産 (計画を)	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	通勤 動 施消 に が に が に が に が に が に が に が に が に が に	営費 費 会計年度(生活支援・『 (3月補正) 当(3月補正) ((3月補正)	事務)	1, 641 909	1, 095	共済費		ı					2, 5,
予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 東支出金 東支出金 東東(一般財源 長年人代表 平成員人件費 「「「「「「「「「「」」」」「「「「」」」「「」」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「「」」「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」「	無財産 (計画を)	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	消耗品 パート 報期末 費 通動 548 0 補助率	費 会計年度(生活支援・ (3月補正) 当 (3月補正) (3月補正)	事務)		713	通勤費			1, 641	通勤費			1,
予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 東支出金 東支出金 東東(一般財源 長年人代表 平成員人件費 「「「「「「「「「「」」」」「「「「」」」「「」」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「「」」「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」「	無財産 (計画を)	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	パート 報酬 手 共済 費 548 0 補助率	会計年度(生活支援・ (3月補正) 当(3月補正) (3月補正)	事務)			施設運営費 消耗品費	費		909 975	施設運営費 消耗品費	3		!
予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 東支出金 東支出金 東東(一般財源 長年人代表 平成員人件費 「「「「「「「「「」」」」「「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「」」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「「」」「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「」」「「」」「」「	無財産 (計画を)	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	報酬 期末手 共済費 通勤費 548 0 補助率	(3月補正) 当 (3月補正) (3月補正)				***********							
予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 東支出金 東支出金 東東(一般財源 長年人代表 平成員人件費 「「「「「「「「「」」」」「「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「」」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「「」」「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「」」「「」」「」「	無財産 (計画を)	33964千円を一般 る。 ・ 計 0 0	56 96 96 96 A 37	共済費 通勤費 548 0 補助率	(3月補正)		△5, 346 △418									
予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 東支出金 東支出金 県支出金 東支出金 東支出金 東東 東東 東東 東東 東東 東東 東東	正 補助率 補助率 充当率	計 0 0 0	% % % Δ37	.548	(0)11mm2/		△974 △536									
国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 県支出金 (東支出金) 財源内訳 記憶	補助率 補助率 充当率	0 0 0	% % % Δ37	0 補助率	合 計		51, 125	50, 631		合 計		58, 549		合 計		58. !
9) 財源内訳	充当率 □特会 □受益	0	% △37	0 THI 191 —		0 % 0 %	0	0 1	補助率	ы ш	0 % 0 %	0	1113-22 1		0 % 0 %	
その他の財源 換算人数(人) 正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決事)額十正職員人件費) (11)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2.事業の評価(D0+CHECK) 評価項目		益□基金 ■その		0 充当率		0 %	0		充当率		0 %	0 △72, 749	1113-22 1		0 %	Δ72.
正職員人件費 順託職員報酬額 臨時職員賃金額 業費(予算(決算)額+正職員人件費) (11)単位費用 (事業費/活動結果指標) 2.事業の評価(DO+CHECK) 評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	令和2年4月現在				会 □受益 □基金 ■ 1		131, 298	135, 429	□特会	□受益 □基金	■その他	131, 298	□特会□	□受益 □基金	■その他	131,
臨時職員賃金額 (業費(予算(決算)額十正職員人件費) (11)単位費用 (事業費/活動結果指標) (事業費/活動結果指標) (2.事業の評価(DO+CHECK) 評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)・ (2)	令和2年4月現在		77	440			61, 770	61, 770				109, 620 17, 248				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)・ (日)	令和2年4月現在		39	956			0	0				40, 672 168, 169				58. !
2. 事業の評価 (DO+CHECK) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 行 行 対	令和2年4月現在	580.03千円/		, 900	482. 46千円		112, 033	492. 99				100, 109				
(1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) - は C (現	令和2年4月現在															
(1)事業が今必要である理由・ 行業は?(事業の必要性)・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	令和2年4月現在		Ę	事前評価						事後評	価(評価結果に応じ	、改善案検	討(拡充も含む	;))		改善核
込 (五	可動障害を有する 人	重複障害者が多 人も多数在園し、	る数在園している。 利用者の多様化、	また、自傷行為、 重度化、重複化、	利用者数は70名で、! ・他傷行為、極端な多動 ・高齢化が問題となった 支援事業を実施していく	動、パニックを起こ てきている。	すなどの		での想定ども	おりでなかった		いして過ごす	けことができる阝	日中活動の場	を提供し、支援を	○要
4	(理由) □法令等で		等では実施できなし ことが定められてい		の内容>			施できた。 ■①民間企業、 □②市が主導で □③市が先導役 促進された □④市の支援が	で進めなけれ ひとなった。 こ	れば実効性がた ことで市民へ音	なかった 計及が一層				白> 复障害者を支援して	cu
あるか?	■市が実施 サービス □市が支持 実現が図	算で進めることに 毎・提供すること スが保証される 爰することにより	である こより実効性が得ら こにより、良質で安 ひ政策・施策の目標	れる 定した	の内容>		-	□⑤サービス水 □⑥サービスの □⑦その他 <その他の内容	の安定供給基		ut:					○要 ●不
	□その他	参加・協働の	内容		工夫の具体	的な内容				D具体的な内容 られる場合には			参加・協	働の程度・内	容	
かける は、	○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	市民の参画有り 市民の参画有り な活動と連携し						参加・脇	が考えら	○れる場合には		●②当初類 ○③当初の	明待した以上 明待したとおり D期待以下 以上となった理	由/期待以下	下であった原因>	○要 ●不
	くその他の内容>															
該	<u> </u>	T			<u>_</u>	.			ph 14 :	B 4.4.1				±		
	□①自然環境を生				取組む	17日本			美施した	と具体的な内容		●①想定。	ビおり	竟への配慮		
呆	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識	している											どおりでなかった			
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	□ <a>4環境負荷低減 ■ <a>⑤その他	に貢献している									Ī	<想定どお	りでなかった原	(因>	_	〇 要 ● 不
13 dept.	くその他の内容>															
	核当なし						_									_
Ŧ	現況値(a)(%)	目標値(b)(%			票値の妥当性のチェック	ク		j	達成状況	A star (see	○①目標値達成 ●②目標値未達成					
(1)目標設定は適切か?			□②現況値と	比べ実現性が乏	基づき設定している しい値ではない			実績値(f)(%)		成率(%) /b×100)	<目標を達成した理	由/未達成	となった原田へ			— O要
	81	100	□④適当な比		ではない 合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値	(の差) と	81		81	新型コロナウイルス	感染症拡大	予防や利用者・		による体調不良、	短
	対策実施によ	<u> </u>	同等の水	準である	実施予定の対策			9	 実施状況		〇①想定事業費未満	i		費の削減対策	について	_
か (2)事業費削減の工夫をして いるか?		る事業費削減		での対応 費の削減策の実	口⑥受益		Ħ	実績値(g)(千円 112,401 <超過理由等>	(g _/	事業費 (%) /c) ×100 99.56	●②概ね想定事業費 ○③想定事業費超過		●①事前の想: ○②事前の想: <想定どおり削	定どおりでな		○要
±	事業費(c)(千円) 112,895 事業費削	事業費削減額((千円) 21,093	■②現有体制													
<u> </u>	112, 895 事業費削	事業費削減額((千円) 21,093	■2現有体制 □3維持管理 □4民間委託													ı
(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	112, 895 事業費削 15.	事業費削減額((千円) 21,093 減率(%) 74 目標値対事業費(■②現有体制 □③維持管理 □④民間委託 <削減の内容	●①単年度	計算方法 の指標:目標値×費用 度の指標:(目標値-3	単位/事業費	/事業費	実績値(h) 0.07	(h/	目標値(%) /e)×100 77.78	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		値以上となった ロナウイルス感		i以下であった原因 : る	③> ○要 ●不
(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	112, 895 事業費削 15.	事業費削減額((千円) 21,093 減率(%) 74 目標値対事業費(■②現有体制 □③維持管理 □④民間委託 <削減の内容 使e ②費用単位	●①単年度	の指標:目標値×費用	単位/事業費	/事業費	実績値(h)	対目 (h _/		〇②目標値と同程度					〇要
(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?	112,895 事業費削 15. 0.09	事業費削減額((千円) 21,093 減率(%) 74 目標値対事業費(■②現有体制 □③維持管理 □④民間委託 <削減の内容 位・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●①単年度	の指標:目標値×費用 度の指標:(目標値-ヨ	単位/事業費	/事業費	実績値(h)	対目 (h _/	/e) × 100	〇②目標値と同程度					〇要

羡式第3号 ————————————————————————————————————							業評価表	_										
事業コード	428		課	!コード		0505		会計種別	一般	会計			予算	草の種類	□政策	■経常		なし
1. 事業の概要(PLAN)																		
	①事業名		あらき園運営							計画への		●有 〇無		②部課名	健康福	祉部・あらき園		
	③事業主体	●市	利用者送迎の 〇その他()	4)対象		□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市		
/1) 市 米 柳 市	⑤事業期間		0 (11 2		6年度 ~			,		職員数			2 人	(換算人数		0.3 人)		
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費			0 千円				当該((開始)年度	(当 初)		18,017 千円			2,610 千円		
	(人件費含む)										(変更後)		18,099 千円			2,610 千円)	
	⑧施策の位置づけ	. 施策 コード		33303		点プロジェクト への位置づけ	重	点なし		計画地区別 ・の位置づけ		⊃有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名	4)		
(2)目的	施策目的・				ー人ひとりのニース して、市内の障害者					業目的	送迎サービス 負担の軽減を		、利用者があ	らき園を利用しや	けくすると	ともに、利用者	・保護者	皆の送迎へ(
(2) [14]	展開方向	、福祉の各権	機関との連携	きを強化します。						· * L II)			リフト付り	ゴン車2台、ワゴン	亩1台 章	計り台に トス学	①を宝施	l アンケ
		ート、送迎	方法をより利	用者個々のニ-	ーズに即した見直し で理を行うため、送	しを行い、施設和	利用の利便性の向	与上を図る。		i該年度	一トを実施し	んて、利用者ニー	ズに合わせた	送迎ルート、時刻			生と大心	0, , , ,
(n) = * + -	1	• 医迎甲间	3日を効率的	- 建打・早尚官	理を打りため、因	5型ハス建行官理	接託で夫肥りる	0		1改年及 1行計画	・送迎ハ人選	『行管理委託で送	型で夫肥りる	0				
(3)事業内容	内容										74 YO CO 44 CO 244							
										i該年度 i結果指標	送迎実施日数	Į.				単位 日 —	定値 積値	234
(4)達成目標(期待する成果)				達成目標	票(期待する成果)					標種類			指標			単位 (5)現況		(6)目標値
当該年度	個々の送迎希望ニ	.一ズに合った	利用者送迎を	実施する。						直接	送迎希望者に	対する送迎の実	施率			%	98	100
令和 3年度	個々の送迎希望ニ	.一ズに合った	利用者送迎を	実施する。						直接	送迎希望者に	対する送迎の実	施率			%		100
令和 4年度	個々の送迎希望ニ	.一ズに合った	利用者送迎を	実施する。						直接	送迎希望者に	対する送迎の実	施率			%		100
(7)事業実施上の課題と対応									件表	替案検討		 O有 ●無						
(// 争未关加工の味趣と対心			_						101	自未快的 T								
	政	平成31年	丰 度	金額(千円)	政		令和 2年度	算額(千円) 決領	ち姑 / エ田 \	西	•	和 3年度	金額(千月	五)		令和 4年度		金額(千円)
	策・通園バス運行	内 容 管理委託料		16, 293	策	内 容 一 一 一 行管理委託料	ν.	15, 217	15, 217	策!	内 ス運行管理委託			円) 政 策 217 : 通園バス	内 重行管理委		Σ	15, 217
	携帯電話料金 送迎車両修繕3			29 150	携帯電話料金	È		40 150	40 226	携帯電				40 携帯電話 150 送迎車両	4金			40 150
	通園バス運行		正)	△2, 585		費(B肝手数料。	より流用)	82		~~ .					- 1020			
実施内容																		
(8) 施行事項 費 用																		
予算(決算)額 国庫支出金	補助率	合計	0 %	13, 887 0		合 計	0 %	15, 489 0	15, 483 0	補助率	合 計	t 0 %	15,	0 補助率	合	計 0 %		15, 407 0
県支出金 県支出金 起債	補助率 充当率		0 %	0	1110-22 1		0 %	0	0	補助率 充当率		0 %	+	0 補助率 0 充当率		0 %	-	0
一般財源 その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他	13, 887 0	□特会□号	受益 口基金 口ぞ	その他	15, 489 0	15, 483 0	□特:	会 口受益 口基	金 口その他	15,	0 □特会	口受益 口	基金 口その他		15, 407 0
換算人数(人) 正職員人件費				0. 35 3. 080			•	0. 3 2, 610	0. 3 2. 610). 25 175				0. 25 2, 175
(10) 人件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0				0	0					0				0
事業費(予算(決算)額+正職員人件 (11)単位費用	貴)	72. 2千円.	4	16, 967		77.35千円		18, 099	18, 093 79, 36				17,	582				17, 582
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHE)	nr)	72. 2十円.	<u>/ Н</u>			77.35十円	/ H		79. 30									
2. 争来の計画 (DOTGIE) 評価項目				± ±							* 44 =:	T /T /=T/T/+ H		:=\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot	++ \ \			改善検討
計逥項日	・あらき園では、	利用者の多様	化、重度化、		」 計 1回 でおり、またそのf	保護者の高齢化す	も問題となってる	きている。	●①事前確	認での想定		计 1四(計111111节末	に応し、欧吾	「案検討(拡充も含	G))			以普快刮
(1)事業が今必要である理由					。また、車イス利F 。	用の方の送迎をス	スムーズに行うカ	ため、福祉車	〇②事前確	認での想定	どおりでなかっ	た						〇要
背景は?(事業の必要性)												でなかった原因と		実施できた。				●不要
	〇①民間企業、1	NPO、市民団	団体等では実施	施できない	<その他の内容	\$>			■①民間企	業、NPO	、市民団体等で	ごは実施できなか	った <市実	施の具体的な内容	必要性の)理由>		
必 要	(理由) □法令等 □提供主	で市が実施す 体が市しかな!)られている							ければ実効性かたことで市民へ			営している施設ないる運行管理業務は			ない。	
★ (2) 市が実施する必要性は	口その他								促進さ 口④市の支		施策の目標の実	環現に貢献した						
あるか?	●②自治体である (理由) □市が主	導で進めるこ	とにより実効		<その他の内容	; >			□⑥サービ		保された 給基盤が確保さ	きれた						○要 ●不要
(III X III O S S II)	サービ	スが保証され	る	良質で安定した	t-				<u>□⑦その他</u> <その他のF									
	実現が	:援することに。 図られる	より政策・施	憲策の目標の														
	□その他	参加・協働	の内容			工夫の具体	的な内容				働の具体的な内			参加 • [†]	協働の程度	・内容		
*	〇①事業計画時	こ市民の参画有	ョリ			一八小六件			参加	・協働が考	えられる場合に	はその内容)		当初期待した以上				
参 加 ・ 市民の参加や市民との協働:	〇②事業実施時I 〇③管理・運営I	こ市民の参画有	買り					1						当初期待したとおり 当初の期待以下				
協 工夫しているか? (体制づくり)	〇⑤市民と共同		患している										<期待	した以上となった	理由/期待	お以下であった原	因>	_ ○要 ●不要
協働の(体制づくり)	●⑥その他																	
	<その他の内容> 該当なし																	
		配慮の初	視点			取組む	内容			実施	した具体的な内	容		授	境への配慮			
	□①自然環境を生 □②生き物と共	生かしている												想定どおり				
環 境 環境に配慮して事業を進め	□③手賀沼を意記	哉している	١Z											想定どおりでなかった				
ス 環境に配慮して事業を進め いるか? 配慮	□④環境負荷低》 ■⑤その他	吸に貝厭してい	'ত										<想定	?どおりでなかった.	_{示囚} >			○要
慮	<その他の内容>				I													
	該当なし		(0.0)			est also to	_			No. of the last of		▲↑□坪/	F st					
	現況値(a)(%)	目標値(b)		①客観的なデー	目標値の 手票に基づき	妥当性のチェック 設定している	7		実績値(f)	達成状況	達成率(%)	●①目標値追 〇②目標値ま						
(1)目標設定は適切か?	98	100		②現況値と比べ	実現性が乏しい値 が小さい値ではな	ではない			大根胆(T)	(70)	(f/b×100)			達成となった原因		A+-+-	14 1m ··	○要●不要
					象が有る場合、比		る目標値(と現)	兄値の差)と	100		100	利用者の障害 トを作成し、		、保護者の希望に済た。	ョって、安	全かつ効率的に	透迎ルー	
	対策実施に。	よる事業費削減			実施	予定の対策	- Mr			実施状況		○①想定事業 ●②概ね想題		-		対策について		
効	事業費(c)(千円)	事業費削減(千円)		①国・県助成制 ②現有体制での	対応	口⑥受益		洁用	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○③想定事業		○①事前の数●②事前の数		でなかった		
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?		△1, 13	32 D	3維持管理費の 4 民間委託	削減策の実施	□⑦その ⁽	他		18, 093		99. 97					かった原因>		O要
性	事業費能	削減率(%)	<削	減の内容>				T	<超過理由等	等>				運行に支障が	主じる状況	り摩耗が著しく にあるため、タ		
	Δ	6. 67													に関わる内	容のため早急に	対応する	3
		目標値対事業	費 (e)			計算方法	去			達成状況	ł	O①目標値以		<u>必要があった</u> 目標値以上となった		標値以下であっ	た原因>	·
(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?			単位		●①単年度の指標 ○②複数年度の指	:目標値×費用	単位/事業費	位/事業費	実績値(b) 3	対目標値(%) (h/e)×100	●②目標値と○③目標値以						○要 ●不要
(目標対費用)	0. 55	•	%	10万円	→◎☆纵下皮切拍	ᆙᄼ	··//· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・ナ木具	0. 55		100	7						サード女
3. 事後評価												•						
●現状どおり推進 O拡	充 O縮小	〇結合 (O事業手法見直し	〇その他(事業完了など)											
評 本事業は、利用者・保護者	 の送迎への負担の軽減	を図るために	評価コメン 必要不可欠な		いることから、今行	後も現状どおり打	推進していく。					改善	ま策及び展開力	可问				
価																		

様式	第3号						事務事業	評価表(令和	1 2年度	Ę)							
Ą	事業コード		430		課コード		0505	会計科	重別 一般	会計			予算	すの種類	□政策	■経常	□なし
1.	事業の	概要(PLAN)															
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		() 市 # 力	基本事業 あら	き園運営事業				実施	計画への		三 〇無		(a) ±11 = 11 ±2	transfer to the	m + > + m	
			①事業名		サービス事業の充実					置づけ	● 7			②部課名		部・あらき園	
			③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○	その他(昭:	和63年度 ~) ④対象 ⑥担当	地区 協員数	□我孫子	□天王台	□湖北 3 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市	
(1) 특	¥概要		⑦事業費	総事業費		0 千円				(開始)年度	(当 初)		21,811 千円			3,480 千円)	
			(人件費含む)	総争耒貨		0 + 11			自該	(開始) 年度	(変更後)		21,771 千円	(うち人件費		3,480 千円)	
			⑧施策の位置づけ	施策	33303		点プロジェクト への位置づけ	重点なし		計画地区別の位置づけ	O#	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(2)	3.44		施策目的・					·ビスを提供するため、支持 :援を行うとともに、保健・		業目的			つおいしい食	 事を継続的に提供	することによ	り、利用者の生活	舌の質(QOL)
(2)	1 IF)		展開方向	、福祉の各機関	との連携を強化しま	す。		.抜を打りこともに、休健、	上 京 手	未日的	の向上を図るた		1 兴美公上	口悔是,会口推出	- 畑則社内会	~ # #	
(3) =	写業内容		内容	・利用者の年 ・障害の状況 ・必要に応じ ・利用者から	者に対し、年度を通 齢、性別、生活活動 !により他職種の職員 て代替食を提供する のリクエストをメニ ユーが選択できる機	強度に配慮して、栄 と連携し、ペースト 。 ューに取り入れる機	養給与目標量を定め ・食等の食形態の異な			i該年度 (行計画	・3月 令	和3年度 給 献立計画、給	食調理業務委 食品質管理、	栄養・食事アセス			管理、衛生・安全
										i該年度 i結果指標	給食提供日数				単作	想定值	
(4) i	を成月標(期	 待する成果)			達成.	目標(期待する成果)	ı			和采担係 			指標		単位	位 (5)現況値	(6)目標値
	当該年度	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	全ての利用者に、	栄養バランスに配	虚した安全でおいし				,	直接	給食提供日数		711 177		E		
4	3年度		全ての利用者に、	栄養バランスに配	虚した安全でおいし	い給食を提供する。				直接	給食提供日数				E	1	235
4	和 4年度		全ての利用者に、	栄養バランスに配	虚した安全でおいし	い給食を提供する。				直接	給食提供日数				E	1	235
(7) =	■ 電業事施 ト/	の課題と対応							件	替案検討	O#	●無					
(1)=	→ 未 天 心 工 (の味風と 別心		T-2015-5			A.T.	- 0 for str	101	自未快的						To 15 #	
			政	平成31年度	金額(千円) 政] 2年度 予算額(千円)	油管額/ 工 田)	政		3年度	金額(千F	四		和 4年度	金額(千円)
(8) 疗	范行事項	実施内容 費 用	東 給財	管 - 人保守委託料 至手数料 E E A A A P集団給食協議会] 管	10,0 7,7 2	 第 第 49 49 49 49 40 4	品費 繕料 検査手数料 ルス検査 検査 ステム保守委託料 管内集団給食協議会 管務費	10, 219 7, 718 193 55 40 10 40 自担金 10 6	10, 217 7, 076 136 61 20 9 40 10	条 給賄給厨栄 給松栄 給財機上口内管保士	消耗機 構整 構料 素 を を の で が が が が が が が が が が が が が	託料	10, 7,	乗 718 233 給食所養 中間 10 10 10 10 6 6	耗品費料 費格検査 を検査を検 を入す を を を を を を を の の の の の の の の の の の の	· 委託料 食協議会負担金	10, 219 7, 718 233 555 40 10 40 10 6
		予算(決算)額 国庫支出金	全 補助率	計 0 '	18, 2 %	53	合 計 0	18, 291 % 0	17, 569 0		合 計	0 %	18,	331	숨 計	0 %	18, 331
(O) B		県支出金 起債	補助率 充当率	0 1		0 補助率 0 充当率	0		0	110 12 1		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率		0 % 0 %	0
(9) 貝	オ源内訳 -	一般財源		益 □基金 □その	11, 6	61		11, 482	11, 399 6, 170	,,,,,	会 ■受益 □基金		10,	788	□受益 □基		18, 331
		換算人数(人) 正職員人件費	LIVE EX		0. 8, 3	95	文皿 口坐並 口での	0. 4	0. 4 3. 480	□142			1	. 13 831		<u> </u>	0
(10)	人件費等 -	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			0, 0	0		0	0				0,	0			0
	上 計(予算(決算 単位費用	1)額+正職員人件費)			26, 6	•		21, 771	21, 049				28,				18, 331
	(事業費/	活動結果指標)		115. 21千円/1	<u> </u>		93.04千円/1	=	92. 32								
2.		評価(DO+CHECK))						<u> </u>								
	評(————————————————————————————————————	西項目	陪宝去総合支採注	に其づく陪宝短加		前評価の提供について「利	田老の心身の状況で	び嗜好を考慮し、適切な	●①惠前及	認での想定		価(評価結果	とに応じ、改善	案検討(拡充も含	む)) 		改善検討
	(1) 事業が:	今必要である理由・	時間に食事の提供	を行うとともに、		害の特性に応じた、		容の食事の提供を行うた			どおりでなかった						〇要
		? (事業の必要性)	障害特性に合わせ	た食形態の食事を		ろん、食事内容の充		、あらき園の食事は、他			∃/想定どおりでク 〒全かつ栄養バラ			を継続的に供給し、	利用者の食	を通じたQOLの	●不要
					等では実施できない	くその他の内:			や健康維持	に寄与した。	、市民団体等では			施の具体的な内容			.,,_
必			(理由) □法令等・		とが定められている				□②市が主	導で進めな	ければ実効性がな たことで市民へ普	かった	市で運	営する施設なので 理業務については	、市以外では	実施できない。	る-
要性			□その他						促進さ	れた	施策の目標の実現		14日及199	年来切に りいては	, y CICDIA	I S II J C V ···	ەلا
ı	あるか	施する必要性は ? ⑤の必要性)	□市が実施 サービル □市が支持 実現が[導で進めることに 施・提供すること スが保証される 援することにより 図られる	である より実効性が得られ により、良質で安定 政策・施策の目標の	した	容>		□⑤サーヒ	:ス水準が確 :スの安定供 :							○要 ●不要 ———
			□その他	参加・協働の内	内容		工夫の具体的	は内容			動の具体的な内容 えられる場合には			参加・	茘働の程度・	内容	
参			○①事業計画時に ○②事業実施時に			該当なし			なし		こうため物可には	しいい合う		当初期待した以上 当初期待したとおり	J		
参加・均]や市民との協働を	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的	市民の参画有り	ている									当初期待したとおり 当初の期待以下	•		〇要
	エ夫してい (体制づく		○⑤市民と共同で ●⑥その他		~ v · w								<期待	した以上となった	理由/期待以	下であった原因	
工 夫			● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●						-								
			該当なし														
				配慮の視点		BL · · · ·	取組む内容	\$	4	実施	た具体的な内容				境への配慮		
環境			□①自然環境を生 □②生き物と共存	すしている		該当なし			なし					想定どおり 想定どおりでなかっ	ot=		
境への	環境に配慮 いるか?	して事業を進めて	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低減										<想定	!どおりでなかった	原因>		 ○要 ● 不要
への配慮			■⑤その他														● 不要
			< その他の内容> 該当なし														
\vdash			現況値(a)(日)	目標値(b)(日))	目標値の	O妥当性のチェック			達成状況		●①目標値道					+
	(1) 日堙勁	定は適切か?				ータ・事実に基づる とべ実現性が乏しい			実績値(f)		達成率(%) (f/b×100)	〇②目標値5					—— O要
	、,,口1赤政,	.⊂	228	234	□③現況値との)差が小さい値ではた	ない	目標値(と現況値の差)と	228		.,			達成となった原因 適切な時間に給食		ことができた。	●不要
			1111	7 = 4 + * * * * * * * * * * * * * * * * * *	日4週当な比判 同等の水準	≝である		ュ ☆ №(C 坑 汎 № の左)と	228	#11		○①相中市	* 李 丰 洋		Hara a Maria	Mr.I.	
				る事業費削減 事業費削減額(d) □①国・県助成		施予定の対策 □⑤ P F I 等	等民間資本の活用	声徒片 / \	実施状況	対事業費(%)		官事業費以内	●①事前の2	業費の削減対 想定どおり	束について	
効	(O) =	kulat o — turi	事業費(c)(千円)	(千円)	■②現有体制で		■⑥受益者負 □⑦その他		実績値(g)(十円)	(g/c) × 100	○③想定事業	卡 頁超過		想定どおりで	なかった	
率	(2)事業費	削減の工夫をして ?	21,771	4,842	□④ 民間委託 <削減の内容>				21,049		96. 68			<想定どおり	削減できなか	った原因>	 ○要 ●不要
性			事業費削	減率(%)	・令和元年10月	に利用者給食費の見	直しをし、引き続き	受益者負担の適正化を図	、尼恩塔田	47							●小安
			18	. 19	る。 ・管理栄養士の	事務事業分担(人区	(() の見直しにより、	人件費削減									
	(2)			目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		〇①目標値以		 目標値以上となった	と理由/目標	値以下であった原	
		を実現する為に 事業費は適正か?		単	位 費用単位	1 1 1 1 1 1 1	票:目標値×費用単位		実績値(h) ×	村目標値(%)	●②目標値 & ○③目標値 以	上同程度				O要
	(目標対		1.07	F	3 10万円	¬ ∪⊘復剱年度の打 	旧标:(日標値一現況	値)×費用単位/事業費	1. 08		(h/e) × 100 100. 93						●不要
			1			1			1.00								
3		価															
	事後評 現状どおり		〇縮小(〇結合 〇休	止 〇廃止	○事業手法見直し	. ○その他(事業	美完了など)									
ŀ	事後評 現状どおり	推進 〇拡充		評	価コメント							改割	き策及び展開力	万向			
評	事後評 現状どおり 本事業は、 身体の動き	推進 〇拡充 あらき園利用者に3	安全かつ栄養バランションの基礎的能力	評スに配慮したおい		ことで、健康の保持	寺、心理的な安定、丿	、間関係の形成、				改書	善策及び展開方	5向			

	事業コード	433		1	課コード		0505		会計種	別 一般:	슾 計			予質	の種類	Пі	政策	■経常	□なし
		.00			wh —				Allia	71 82.	241			1 , 2	FVFEX				
1.	. 事業の概要(PLAN)		基本事業	あらき園運	堂事業						- III. A								
		①事業名		人材の養成							計画への 置づけ	•	有 〇無		②部課	名	健康福祉部	・あらき園	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	○その他		163年月	#) ④対象: ⑥担当I		□我孫子	□天王台	口湖北 5 人]新木 算人数	□布佐	■全市 0.45 人)	
(1) 3	事業概要	⑦事業費	W = # #		<u>п</u> ти	103+1						(当 初)	;	3,919 千円		ち人件費		3,915 千円)	
		(人件費含む)	総事業費				0 千円				開始) 年度	(変更後)		千円		ち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		33303		重点プロジェクト への位置づけ		重点なし		h画地区別 の位置づけ		O有 ●無			引計画への ヹ゚゚゚゚゚ヹ゚づけ	(計画名)		
(2)	目的	施策目的・					 ひとりのニーズにあった施設⁺ 、市内の障害者施設への技術的				———— 業目的		人材を養成するこ 害者の理解を深め						
(2)	H#7	展開方向	、福祉の名	5機関との連	携を強化します	١.	、教員介護等体験実習の依頼が						け入れ (7月~2		-6-90-12	,, C 10 17 C 11 1		200000000000000000000000000000000000000	
(3) 3	事業内容	内容	を行う。 ・中学校 <i>0</i> ・園行事	の職場体験、 (あらき園祭	高等学校、大学 、その他園外で	╧等の ∙	インターンシップの受け入れる事、余暇活動など)においてする。(年6回)	を行う。		当	該年度 行計画	・職場体験、	インターンシップ アの受け入れ 園 ア便りの発行(6	等(随時) 外活動、施			月、11月)	、あらき園祭、	余暇活動 等
											該年度 結果指標	あらき園で受	け入れた実習生、	ボランティ	アの延べ	・人数	単位	人 想定值 実績値	45
	達成目標(期待する成果)	中羽 たひがギニン	ニノマも巫」	+142-6			明待する成果) :深める機会を提供する。			-	標種類	なこ キ圏で生	摺, ボランティア	まを切り	宇佐した	- 1 の割合	単位		(6)目標値
	当該年度 						深める機会を提供する。				直接		習、ボランティア				%	11. 1	100
	令和 3年度 ————————— 令和 4年度						深める機会を提供する。				直接 ———— 直接	あらき園で実	習、ボランティア	を希望し、	実施した	と人の割合	%		100
															Τ		70		100
(7) 4	事業実施上の課題と対応									代替	 客検討		O有 ●無 ————————————————————————————————————						
		īÞ.	平成31	年度	金額(千円)	政策		令和 2年度	予算額(千円) 2	上質類(工田)	政		·和 3年度 	金額(千月	四) 政			14年度	金額(千円)
		策 障害者虐待防山	内 容 上・権利擁護	研修会旅費		ж.	内 容 障害者虐待防止・権利擁護研	开修会旅費	7 异酸(干口) 2	(异般(丁门)	束:	内 皆虐待防止・権利		並領(干	策	障害者虐待隊	内 容 防止・権利接	護研修会旅費	並銀(〒口)
	中华中岛																		
(=)	実施内容																		
(8)	施行事項 費 用																		
	予算(決算)額		슼 計			4	合 計		4	0	•	合 計			4		合 計		4
	国庫支出金	補助率		0 %		_	補助率	0 %	0	0	補助率		0 %			補助率		0 %	0
(2)	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %			補助率 充当率	0 %	0	0	補助率 充当率		0 %			補助率 充当率		0 %	0
(9) }	りまた。 一般財源				△44	4			△44	△20					△44				△44
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 ■受	益 □基金 □]その他	0.4		□特会 ■受益 □基金 □	その他	48 0. 45	20 0, 45	□特	会 ■受益 □基	金 口その他		0.4	□特会 □	受益 口基金	∶□その他	48 0. 4
(10)	正職員人供费				3, 520				3, 915	3, 915					480				3, 480
(10))人件費等 嘱託職員報酬額					0			0	0					0				0
	│ 臨時職員賃金額 費(予算(決算)額+正職員人件費	(*)			3, 524				3, 919	3, 915				3,	484				3, 484
)単位費用 (事業費/活動結果指標)		78. 31千1	円/人			87.09千円	7/人		783									
2.	. 事業の評価(DO+CHEC	K)																	
	評価項目											車 终 罰	一体 (部体线用)-						
	計画発口				事	前部	評価					尹 1久 町	・一種(計画を入っ	応じ、改善	案検討	(拡充も含む)))		改善検討
	正 圖 久口				整備を進めるた	こめに	は、それを支える人材を養成す			●①事前確 ○②惠前確		きどおり		応じ、改善	案検討	(拡充も含む)))		改善検討
	(1)事業が今必要である理由	・地域の多くの人 ・ を深め、障害者と	に施設がこれ その家族を3	れまで積み重 支える活動に	整備を進めるた ねてきた障害者 携わっていける	こめに 多支援 るよう	は、それを支える人材を養成でに関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	〇②事前確	認での想定	きどおり きどおりでなかっ	<i>t</i> =	応じ、改善	案検討	(拡充も含む)))		〇要
		・地域の多くの人 ・ を深め、障害者と	に施設がこれ その家族を3	れまで積み重 支える活動に	整備を進めるた ねてきた障害者 携わっていける	こめに 多支援 るよう	は、それを支える人材を養成 に関する知識や技術を地域の。	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	〇②事前確 <想定どおり	認での想定	きどおり きどおりでなかっ 由/想定どおり				(拡充も含む)))		
-	(1)事業が今必要である理由	・地域の多くの人・を深め、障害者と・将来、福祉に携	に施設がこれ その家族を引 わる人材を引	れまで積み重 支える活動に 養成すること	整備を進めるたねてきた障害者 携わっていける により、福祉の	cめに 皆支援 るよう の充実	は、それを支える人材を養成に に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要で を図るということが施設の機様	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 <想定どおり 公的な基幹が	認での想定 リとした理! 転設として.	きどおり きどおりでなかっ 由/想定どおり 、福祉に関わる.	た でなかった原因> 人材を養成すること	とができたナ	ため。				〇要
必	(1)事業が今必要である理由	・地域の多くの人 ・を深め、障害者と ・将来、福祉に携 ○①民間企業、N (理由) □法令等	に施設がこれ その家族を引わる人材を発 NPO、市民で市が実施す	れまで積み重 支える活動に 養成すること 団体等では写 することが定	整備を進めるたねてきた障害者携わっていける により、福祉の	cめに 皆支援 るよう の充実	は、それを支える人材を養成でに関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 <想定どおり 公的な基幹が □①民間企 ■②市が主	認での想定 リとした理! 西設として. 業、NPC 導で進めな	をどおりでなかっ 由/想定どおりでなかっ 由/想定どおり、 、福祉に関わる。 つ、市民団体等でなければ実効性が	た でなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった	とができた <i>†</i> た く市実 公的施	ため。 R施の具体 記設として	本的な内容・』 て、障害者、1	必要性の理F 介護者、支持	爰者が高齢化・多	○要 ●不要
必要	(1)事業が今必要である理由	・地域の多くの人 ・を深め、障害者と ・将来、福祉に携 ○①民間企業、N (理由) □法令等	に施設がこれ その家族を引 わる人材を引 トPO、市民で市が実施が 体が市しかな	れまで積み重 支える活動に 養成すること 団体等では写 することが定	整備を進めるたねてきた障害者携わっていける により、福祉の	cめに 皆支援 るよう の充実	は、それを支える人材を養成に に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要で を図るということが施設の機様	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 <想定どおり 公的な基幹が □①民間企 ■②市が主	認での想定 リとした理! 難設として、 業、NPC 導で進めなっ	まどおり をどおりでなかっ 由/想定どおり 、福祉に関わる。 O、市民団体等で	た でなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった	とができた <i>†</i> た <市実 公的施 して地	ため。 R施の具体 設として は域施設の	本的な内容・』 C、障害者、1 D人材も高齢1	必要性の理 の 介護者、支持 化・固定化		○要 ●不要 様化 的で
	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は	・地域の多くの人・を深め、障害者と・将来、福祉に携 〇①民間企業、「(理由) □法令等 □提供主□その他	に施設がこれ その家族を考 わる人材を動 NPO、市民で市が実施す 体が市しかな	れまで積み重 支える活動に 養成すること 団体等では9 することが定 い	整備を進めるたねてきた障害者携わっていける により、福祉の	とめには音支援をようか	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では を図るということが施設の機様 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 ○②事前確 ○想定どおり 公的な基幹が □①民間企主 □②市が先主 ・促進ささ ・促進すの支	認での想定 リとしした理 大野としいの 業。で進となる。 で進となる。 で進となる。 で進となる。 で進いない。	をどおりをおりでなかった。 相一想定どおりでなかった。 福祉に関わる。 つ、市民団体等ではいたことで市民へ・施策の目標の実	た でなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった 普及が一層	とができた <i>†</i> た	ため。 『施の具体 記としての は域施地域 にしくなっ	本的な内容・』 で、障害者、約 の人材も高齢 する は福祉を支えた で、いていく中で、	必要性の理 が護者 定 化・ってい い で い で る で れ で る で れ で も っ で も っ で く る で い る て く く 、 で も っ て る 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、	爰者が高齢化・多 ・減少化し、実践	○要 ●不要 様化 めで の維 きる
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	・地域の多くの人 ・を深め、障害者と ・将来、福祉に携 ○①民間企業、N (理由) □法令章 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主	に施設がますます。 そのる人 いまい という にんしょう ではい かいまい という にんしょ という にんしょ はい	れまで積み動に を養成すること はまない ないまない べきにより る の 実	整備を進めるたねできた障害者 様わっていける により、福祉の 実施できない められている 効性が得られる	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要で を図るということが施設の機様	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 ◇想定どおり 公的な基幹が ■②市が進さ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	認 での しと しと N 進と 政 準 で の 大 し に の に し に の に の に の と の に の と の に る に る に の に の に に に の に の に 。 に 。 に 。 に に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 に 。 。 。 。 。	をどおりをおりでなかった。 相一想定どおりでなかった。 福祉に関わる。 つ、市民団体等ではいたことで市民へ・施策の目標の実	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった 普及が一層	とができた <i>†</i> た	ため。 『施の具体 記としての は域施地域 にしくなっ	本的な内容・』 5、、障者、 5 5、材も高齢イ 或福祉を支える	必要性の理 が護者 定 化・ってい い で い で る で れ で る で れ で も っ で も っ で く る で い る て く く 、 で も っ て る 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、	髪者が高齢化・多 ・減少化し、実践 環境づくり、財源	● 不要 ● 不要
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は	・地域の多くの人・を深め、障害者と・将来、福祉に携 ○①民間企業、「(理由) □ 法会共 □ □ でが主。 □ でが主。 ■市が実	に施設がますます。 そのる人 いまい という にんしょう ではい かいまい という にんしょ という にんしょ はい	れまで積み動にと するまで を養産 団体こと でよい でよいよいよいよいよいよいによいよいよいよいよいは でよいまいました。 でよいまでは、ことにといる。 では、ことには、ことには、 では、ことには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	整備を進めるたねてきた障害者 ねてきた障害者 携わっていける により、福祉の 関係できない められている	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では を図るということが施設の機様 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 <想定どおり、 公的な基幹就 □①民間が生 □②市が先き、 に選って に選って に関って に に に に に に に に に に に に に	認 での もと しとと N 進と 政 進と 政 準安 で の が で の の で の の で の の の の の の の の の の の の の	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりがないた。 、 市福祉に関わる。 なければとでは効うではなった。とのは、 ・ 施策の集	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった 普及が一層	とができた <i>†</i> た	ため。 『施の具体 記としての は域施地域 にしくなっ	本的な内容・』 で、障害者、約 の人材も高齢 する は福祉を支えた で、いていく中で、	必要性の理 が護者 定 化・ってい い で い で る で れ で る で れ で も っ で も っ で く る で い る て く く 、 で も っ て る 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、	髪者が高齢化・多 ・減少化し、実践 環境づくり、財源	○要 ●不要 様化 めでで のきる ○要
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	・地域の多くの人 ・を深め、障害者と ・将来、福祉に携 ○①民間企業、「等 □足表供・ □では、「理由」・「では、「では、」 ●②自治体でがき、 ・「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	に た た た た で た で は で は で は で は で は で は に で は に で は に で は に で は に に で は に に に に に に に に に に に に に	れまで積満ない を養成でするには でない できない できにといる とこる ない	整備を進めるたねできた障害者 様わっていける により、福祉の 実施できない められている 効性が得られる	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では を図るということが施設の機様 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 <想定どお幹 公的な 基 関 企主 □③市市促市のサーバーの □③・ローの	認 での もと しとと N 進と 政 進と 政 準安 で の が で の の で の の で の の の の の の の の の の の の の	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりがないた。 、 市福祉に関わる。 なければとでは効うではなった。とのは、 ・ 施策の集	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった 普及が一層	とができた <i>†</i> た	ため。 『施の具体 記としての は域施地域 にしくなっ	本的な内容・』 で、障害者、約 の人材も高齢 する は福祉を支えた で、いていく中で、	必要性の理 が護者 定 化・ってい い で い で る で れ で る で れ で も っ で も っ で く る で い る て く く 、 て も っ て も っ て も っ て も も っ 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、	髪者が高齢化・多 ・減少化し、実践 環境づくり、財源	○要 ●不要 様化 めでで のきる ○要
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	・地域の多くの人 ・を深め、障害者と ・将来、福祉に携 ○①民間企業、「等 □足表供・ □では、「理由」・「では、「では、」 ●②自治体でがき、 ・「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	に施の家人 に施の家人 トで体が 下では提供配こな トで体が が推進め供証こと はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はいるではない。 はいない。 はいないるではない。 はいないるではない。 はいない。 はいない。 はいないない。 はいないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	れまで積満ない を養成でするには でない できない できにといる とこる ない	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では を図るということが施設の機様 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。	障害者への理解	○②事前確 <想定送幹額 □①東京本 関係を表する 関係を表する 関係を表す。 □②市市促布サービーのでする。 □③では、できる。 □③では、できる。 □③では、できる。 □③では、できる。 □○できる。	認での想定 」としたし、 上も設 業導導化 で役と、 で役と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 で後と、 でんだが 本準で といる。 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんだが、 でんが、 、	をどおり をとおりでなかっ 由/想定どおり。 、福祉に関わる。 つ、市民団体勢性かったことででいたことで、標の目標の集 を保さ基盤が確保さ	た でなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	とができた <i>†</i> た	ため。 『施の具体 記としての は域施地域 にしくなっ	本的な内容・』 で、障害者、約 の人材も高齢 する は福祉を支えた で、いていく中で、	必要性の理 が護者 定 化・ってい い で い で る で れ で る で れ で も っ で も っ で く る で い る て く く 、 て も っ て も っ て も っ て も も っ 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、	髪者が高齢化・多 ・減少化し、実践 環境づくり、財源	○要 ●不要 様化 めでで のきる ○要
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	・地域の多くの人 ・ を深め、障害者と ・ 将来、福祉に携 ○①民間企業、「等 ・ □ 環・ □ である ・ □ で	に施の家人 に施の家人 トで体が 下では提供配こな トで体が が推進め供証こと はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はではない。 はいるではない。 はいない。 はいないるではない。 はいないるではない。 はいない。 はいない。 はいないない。 はいないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	れまで積活る にまで表示する 等と でがまたい さきにと ありまい さきにと ひの まり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要では を図るということが施設の機様 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認としたし、PC なった。 ・ で後と、で進と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なが定せ、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、 ・ は 、 は 、 は 。 は 。 も は 。 も は 。 も も も も も も も も も も	をどおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定どおりがないた。 、 市福祉に関わる。 なければとでは効うではなった。とのは、 ・ 施策の集	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができた <i>†</i> た	ため。 『施の具体 記としての は域施地域 にしくなっ	本的な内容・4 て、障害者、1 り人材も高齢付 或福祉を支えま っていく中で、 ることが急務・	必要性の理 が護者 定 化・ってい い で い で る で れ で る で れ で も っ で も っ で く る で い る て く く 、 て も っ て も っ て も っ て も も っ 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、 も 、	援者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 支援活動に貢献で	○要 ●不要 様化 めでで のきる ○要
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	・地域の多くの人・を深め、障害者と・将来、福祉に携 ○①民間企業、ト (理由) □法令共主 □その他 ●②自治体である(理由) □市が主 サーが支 実現が □その他 ○①事業計画時に	に たっき さい に たっき さい に たっき さい に たっき さい で は かい まっこ もっき で は かい	れまでもない では ない きにと いい ちょい でんしょ でんしょ いい きにと いい 内内 の内の の内の の の の の の の の の の の の の の	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認としたし、PC なった。 ・ で後と、で進と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なが定せ、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、 ・ は 、 は 、 は 。 は 。 も は 。 も は 。 も も も も も も も も も も	定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とどおりでなから、 、 市福祉に関わる。 のなけれる。 のなけれる。 のなけれる。 ・ 体策された確保の実 、 大会権をはながない。 ・ 体験をはないない。 ・ 体験をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができた力	ため。 に施設域能し育はなくなすする	本的な内容・』 て、障害者、介 の人材も高齢 或福祉を支える。 っていく中で、 ることが急務・ 参加・協働 した以上	必要性の理性 介護者、支対 化・面にく 合っていく 氏、地域福祉 である。	援者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 支援活動に貢献で	○要 ●不要 様化 めでで のきる ○要
要	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	・地域の多くの人と ・	にそわ Nで体 お導施ス援図 にここに で	れ支え酸 団すな べことのよ 働 有有有を ない きにと り の りりりり かまに 政 容 の りりりり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認としたし、PC なった。 ・ で後と、で進と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なが定せ、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、 ・ は 、 は 、 は 。 は 。 も は 。 も は 。 も も も も も も も も も も	定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とどおりでなから、 、 市福祉に関わる。 のなけれる。 のなけれる。 のなけれる。 ・ 体策された確保の実 、 大会権をはながない。 ・ 体験をはないない。 ・ 体験をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができたた た く市的 しして 持が 人材を ○①① ○②② ○②②	ため。 に施設域能し育はなくなすする	本的な内容・リ の に の し が は は を することが 急 を か ることが 急 を し し た も し た も も に は を き え き さ た さ た さ た さ た さ た さ た さ た さ た ち こ こ こ る こ こ る こ こ る こ と と が し る こ と と し と し し し し し し し し し し し し し し し	必要性の理性 介護者、支対 化・面にく 合っていく 氏、地域福祉 である。	援者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 支援活動に貢献で	● 不不要 様化 的での維 きる ○要 ・ 不不要
要性参加・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	・地域の多くの人 ・接深め、障害不携 ・将来、福祉に携 ○①民間企業、「等 □ 日本の他 ●②自治体でが主奏 □ 日本のが主奏でいる。 □ 日本のが主奏でいる。 □ 日本のでは、「等を表現の他 ○②事業業実施施時に、「○③市民の自主的の。」 ○④・中民の自主的の。	にそわる Pで体	れ支き態 団すな べこあれこ 働 有有有携をあるす 等と きにと り 内りりりしていまいに 政 容 いちょん かっしょ 策 の ちょり ・ ちょん かっしょ	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認としたし、PC なった。 ・ で後と、で進と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なが定せ、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、の道は、 ・ は、 ・ は 、 は 、 は 。 は 。 も は 。 も は 。 も も も も も も も も も も	定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とどおりでなから、 、 市福祉に関わる。 のなけれる。 のなけれる。 のなけれる。 ・ 体策された確保の実 、 大会権をはながない。 ・ 体験をはないない。 ・ 体験をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	ため。 は施設域能して のとはなく成すする 当当初期期の のはは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	本的な内容・4 て、障害者、1 り人材も高齢イ 或福祉を支えて、 うこことが急務・ 参加・協備 した以上 したとおり 待以下	必要性の理性の理性 介護者、支柱 化・つてくれる 合っては私さいである。 である。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要 要 様化 的での維 ○ ● 不不要 要 要 で ● 不不 要 要 要 要 で ● 不不 要 で ● で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
要性参加・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	・地域の多くの人と ・	にそわる Pで体	れ支き態 団すな べこあれこ 働 有有有携をあるす 等と きにと り 内りりりしていまいに 政 容 いちょん かっしょ 策 の ちょり ・ ちょん かっしょ	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認としたし、PC なった。 ・ で後と、で進と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なる。 ・ でんと、の進なる。 ・ でんと、の進なる。 ・ でんと、の進なる。 ・ でんと、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道	定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とどおりでなから、 、 市福祉に関わる。 のなけれる。 のなけれる。 のなけれる。 ・ 体策された確保の実 、 大会権をはながない。 ・ 体験をはないない。 ・ 体験をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	ため。 は施設域能して のとはなく成すする 当当初期期の のはは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	本的な内容・4 て、障害者、1 り人材も高齢イ 或福祉を支えて、 うこことが急務・ 参加・協備 した以上 したとおり 待以下	必要性の理性の理性 介護者、支柱 化・つてくれる 合っては私さいである。 である。	援者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 支援活動に貢献で	● 不不要 様化 的での維 きる ○要 ・ 不不要
要性参加・協働	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	・地域の多くの人と を深め、障害 (理由) □ は提供の他 ●②自治□□ は提供の他 ●②自治□□ は	にそわる Pで体 お導施ス援図 にそわる Pで体 おで・が進提保るれ かでも がを提保のるれ ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	れ支き態 団すな べこあれこ 働 有有有携をあるす 等と きにと り 内りりりしていまいに 政 容 いちょん かっしょ 策 の ちょり ・ ちょん かっしょ	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認としたし、PC なった。 ・ で後と、で進と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なた。 ・ で後と、の進なる。 ・ でんと、の進なる。 ・ でんと、の進なる。 ・ でんと、の進なる。 ・ でんと、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道と、の道	定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とどおりでなから、 、 市福祉に関わる。 のなけれる。 のなけれる。 のなけれる。 ・ 体策された確保の実 、 大会権をはながない。 ・ 体験をはないない。 ・ 体験をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	ため。 は施設域能して のとはなく成すする 当当初期期の のはは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	本的な内容・4 て、障害者、1 り人材も高齢イ 或福祉を支えて、 うこことが急務・ 参加・協備 した以上 したとおり 待以下	必要性の理性の理性 介護者、支柱 化・つてくれる 合っては私さいである。 である。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要 要 様化 的での維 ○ ● 不不要 要 要 で ● 不不 要 要 要 要 で ● 不不 要 で ● で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
要性参加・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	・地域の多くの人と ・	にそわ Nで体 あ導施ス援図 にここれで事	れ支え酸 団すな べころんこ 働有有有携 か動こと は定 る実り ・ の りりりして おりよ 策 容 る まい か おり か か か か か か か か か か か か か か か か か	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送お幹旅 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーののの マの他ののので	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。由/想定じおりでなかった。由/想定じおりでなから、	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	ため。 は施設域能して のとはなく成すする 当当初期期の のはは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	本的な内容・か て、内容・か で、 かしまれるをする。 かな様性を支えで、 かっちことが急務する。 参加・協働 したとより もた以下 となった理事	必要性の理性の理性の支持である。 が表するでは、できる。 のを対しているできる。 のを対している。 のを対している。 のを対している。 のを対している。 のを対している。 のを対している。 のを対している。 のを対している。 のの程度・ はいる。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要 要 様化 的での維 ○ ● 不不要 要 要 で ● 不不 要 要 要 要 で ● 不不 要 で ● で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
要性参加・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	・地域の多障害社に *** ・	にそわる Nで体	れ支え酸 団すな ペニとこる 働 有有有携 か動こと ほ定 る実り ・ の りりりして かんによ	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 <その他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 由/想定とどおりでなから、 、 市福祉に関わる。 のなけれる。 のなけれる。 のなけれる。 ・ 体策された確保の実 、 大会権をはながない。 ・ 体験をはないない。 ・ 体験をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができたた 大た < 市実施 公	ため。 体でのと 施設域能し育 単当当 初初期の 上 した 以上 した 以上 に しん に は に の は で の は	本的な内容・か で、 で、 か、 か、 か、 を かな を な を な で い く い た き っ う こ こ と が き っ う 。 さ っ う 。 こ っ ら っ う こ っ ら っ ら っ ら っ ら こ ら し た り し た り し た り し た り し た り し た し と っ し た し と し た し と し た し と し た し と し た し と し た し と し と	必要性の理性の理性 介護者、支柱 化・つてくれる 合っては私さいである。 である。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要 要 様化 的での維 ○ ● 不不要 要 要 で ● 不不 要 要 要 要 で ● 不不 要 で ● で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
要性参加・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	・地域の多くの人と を深め、障害 (理由) □ は提供の他 ●②自治□□ は提供の他 ●②自治□□ は	にそわる Pで体 お導施ス援図 にそわる Pで体 お導施ス援図 にここで Pで体 お導施ス援図 にここで を を RERER活業 にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに ので にここに にので にここに にので にここに にので にここに にので にので にので にので にので にので にので にの	れ支え酸 団すな ペニとこる 働 有有有携 か動こと ほ定 る実り ・ の りりりして かんによ	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定送終幹 □①民間が生き □②市市提市の一 □⑤ササーの他のア マをの他のア	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。由/想定じおりでなかった。由/想定じおりでなから、	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	た	ため。と施設域能し育場当当したのと地ではできます。	本的な内容・か で、 で、 か、 か、 か、 を かな を な を な で い く い た き っ う こ こ と が き っ う 。 さ っ う 。 こ っ ら っ う こ っ ら っ ら っ ら っ ら こ ら し た り し た り し た り し た り し た り し た し と っ し た し と し た し と し た し と し た し と し た し と し た し と し と	必要性の理は 介護者の支持 化・つな域 高しいは である。 である。 かの程度・ クの配慮	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要 要 様化 的での維 ○ ● 不不要 要 要 で ● 不不 要 要 要 要 で ● 不不 要 で ● で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
要性参加・協働の工夫環境	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	・地域の多障害社 (現本) (現本) (現本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	にそわ Nで体 る導施ス援図	れ支え酸 団すな べここる 働 有有有携 でるす 等と でにとり のりりりして ありよに 政 容 しまに 政 容 る実り ・	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。由/想定じおりでなかった。由/想定じおりでなから、	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができたた <	ため。 異し設地能し育 当当当 し	本的な内容・かった ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 をかいが、 参加・協働 したとかり ししたとかり ししたとかり ししたとかり にとなった理解 はないった。 でなかった。	必要性の理は 分離の支 が化って支 である。 である。 である。 がである。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要要 様化的の維きる ○ ● 不不要要 要要 ● 不不要 要 ● ● 不不要 を
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障害社 (理由) □ (理由) □ (主接の (理由) □ (主要の (主を) (主を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記を) (記	にそわ Nで体 る導施ス援図	れ支え酸 団すな べここる 働 有有有携 でるす 等と でにとり のりりりして ありよに 政 容 しまに 政 容 る実り ・	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。由/想定じおりでなかった。由/想定じおりでなから、	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができたた <	ため。 異し設地能し育 当当当 し	本的な内容・1 を	必要性の理は 分離の支 が化って支 である。 である。 である。 がである。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要 要 様化 的での維 ○ ● 不不要 要 要 で ● 不不 要 要 要 要 で ● 不不 要 で ● で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障害社 (理由) □ (理由) □ (本市市サーが現の (理由) □ (中市市サーが現の (国本) □ (□ (国本) □ (国	にそわ Nで体 る導施ス援図 では、 ・ でするすると は、 ・ でするですると は、 ・ でするですると は、 ・ では、 ・	れ支え酸 団すな べここる 働 有有有携 でるす 等と でにとり のりりりして ありよに 政 容 しまに 政 容 る実り ・	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。由/想定じおりでなかった。由/想定じおりでなから、	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができたた <	ため。 異し設地能し育 当当当 し	本的な内容・かった ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 をかいが、 参加・協働 したとかり ししたとかり ししたとかり ししたとかり にとなった理解 はないのでなかった。	必要性の理は 分離の支 が化って支 である。 である。 である。 がである。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要要要を 様化で 経的のきる ○ ● 不不要要要 を ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ●
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福 (理由) □ (2年) (2年) (2年) (2年) (2年) (2年) (2年) (2年)	にそわ Nで体 る導施ス援図 では、 ・ でするすると は、 ・ でするですると は、 ・ でするですると は、 ・ では、するですると は、 ・ では、するで、すると は、 ・ でもで、するで、すると は、 ・ でもで、するで、するで、またで、するで、またで、するで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、また	れ支え酸 団すな べここる 働 有有有携 でるす 等と でにとり のりりりして ありよに 政 容 しまに 政 容 る実り ・	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に伝え、 ある。 能として求め	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	定どおりでなかった。由/想定じおりでなかった。由/想定じおりでなから、	たでなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた	とができたた <	ため。 異し設地能し育 当当当 し	本的な内容・かった ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 をかいが、 参加・協働 したとかり ししたとかり ししたとかり ししたとかり にとなった理解 はないのでなかった。	必要性の理は 分離の支 が化って支 である。 である。 である。 がである。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要要要を 様化で 経的のきる ○ ● 不不要要要 を ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ●
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福社 (理由) □ 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	にそわ Nで体 る導施ス援図 では、 ・ でするすると は、 ・ でするですると は、 ・ でするですると は、 ・ では、するですると は、 ・ では、するで、すると は、 ・ でもで、するで、すると は、 ・ でもで、するで、するで、またで、するで、またで、するで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、また	れ支き酸 団すな べことのよ 働 有有有携 でん ちいきにと り の りりりし でんしょ	整備を進めるたまれている。 を連続している。 を表するできない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 を表するない。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のいる。 のい	とめには音支援をようの充実	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の。 働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 くその他の内容>	人々に 伝え、 が的な 内容	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認 と 業導導化援スス 容 と 協協 働が が考 と ・ 協	E どおり で かっっ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ	た でなかった原因> 人材を養成すること は実施できなかった 音及が一層 現に貢献した れた 容 (又は今後、はその内容)	とができたた く公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、持続がをを (公し、対策を (公し、) (公し、) (公し、	ため。 異し設地能し育 当当当 し	本的な内容・かった ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 をかいが、 参加・協働 したとかり ししたとかり ししたとかり ししたとかり にとなった理解 はないのでなかった。	必要性の理は 分離の支 が化って支 である。 である。 である。 がである。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	● 不不要要要を 様化で 経的のきる ○ ● 不不要要要 を ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ●
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福社 (理由) □ (理由) □ (2事管 (1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	にそわ Nで体 お導施ス援図 にここので 上子戦 にそわ Nで体 お導施ス援図 にここので してて貢 が族材 下作が が進提保るれ 加 ののの動を 配ていい献 してて貢 にここので はあすさと 協 画画画連施 のる て の の の の の の の の の の の の の の の の の	れ支え酸 団ずな べとこる 働有有有携 つ視 いっか (%) 日本 (でん) は (なん) は (整備を進めるたまでは、	とのにほうなられています。 くく こうちょう くく こうちょう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅうしゅう しゅう	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、働きかけを行うことが必要ではを図るということが施設の機能 《その他の内容》 工夫の具体 取組む ・事実に基づき設定している	人々に 伝え、 が的な 内容	障害者への理解	○②事前確 <想定基幹就 □③民間が主義 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 □③では、 ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○では ○○で	認・という という という という はい という という という という という という という という という とい	定どおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 由/想定と関わる。 、 このはに関わる。 のなったのなったのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	た でなかった原因> 人材を養成する こと はなかった でなかった でなかった でなかった ではなかった 層 になかった 層 になかった 層 になかった 層 になかった 層 になかった 層 になかった の内容 にない のの の の の の の の の の の の の の の の の の の	とができたた	た 施設域能し育 当当当 し	本的な内容・1 な内容・1 の大材を でした をしたとい をしたとい をしたとい をしたなっ をなった。 でなった。 でな。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でなった。 でな。 でな。 でな。 でな。 でな。 でな。 でな。 でな	必要性の理は 分離の支 が化って支 である。 である。 である。 がである。	受者が高齢化・多 減少化し、実践 環境づくり、財源 で 援活動に貢献で	様化的の維含● 不要要要「● 不要要要要要要要要要要
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福社 (理由) □ (理由) □ (2事管 (1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	にそわ Nで体 お導施ス援図 にここので 上子戦 にそわ Nで体 お導施ス援図 にここので してて貢 が族材 下作が が進提保るれ 加 ののの動を 配ていい献 してて貢 にここので はあすさと 協 画画画連施 のる て の の の の の の の の の の の の の の の の の	れ支き酸 団すな べこさんこ 働 有有有携 つ視 い つ) (%) コート は定 る実り・ かりりして 点 る の) (%) ロック の) (%)	整備を進めるたきにいるという。 施策の日標の日本には、 10ででは、	とう と	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の人働きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を表している。 「本学に基づき設定している。 「現性が乏しい値ではない」といい。 「は、それを支える人材を養成している。 「は、それを支える人材を養成している。 「は、それを支える人材を養成している。 「は、それを支える人材を養成している。」 「は、それを支える人材を養成している。」 「は、それを支える人材を養成している。」 「は、それを支える人材を養成している。」 「は、それを支える人材を養成している。」 「は、それを支える人材を養成している。」 「は、またり、ことが施設している。」 「は、これを表している。」 「は、これを、これを表している。」 「は、これを、これを、これを、これを、これを、これを、これを、これを、これを、これを	A ho	障害者への理解 られている。	○②事 が (できない)	認・という という という という はい という という という という という という という という という とい	定どおりでかった。 由/想はりのなかった。 由/想に関東ではおりではた。策さは、 不力にに 既まれて でのれて でのれて でのない でではない できな かられる はない できる かられる はない はい	たでなかった原因>ことでなかった原因>ことでなかる養成でするかった原因>ことではな苦養ででた層ででた層ではないのではないではないできません。 「日本のでは、「日本のでは	とができたた	た 施設域能し育 当当当 L	本的な内容・1 な内容者、能 での大きをはいたが急務ないでは、 参加・協係 したという。 したという。 しし待となった原因 へのたいでなかった原因 へのたいでない。	必要性の理支化 を	接者が高齢化・多議 減少づくり、貢献で 提供活動に貢献で を接続であった原因〉	様化 ・
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福社 (明本) (明本) (明本) (明本) (明本) (明本) (明本) (明本)	にそわ Nで体 る導施ス援図	れ支き酸 団すな べとこる 働有有有携 でおす ちりよ	整備を進めるたきにいるという。 施策の日標の日本には、 10ででは、	に援う実 - べ差対象 に援う実 - べ差対象	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、働きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能をの他の内容> 「本文の世の内容> 「本文の単位の方で、本文の世の方で、本文の単位の方で、ではない。」 「本文の単位ではない。」 「本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位のチェック・本文の単位の単位の・本文の単位の単	A ho	障害者への理解 られている。	○②事前確 ◇想なお幹が □②電か市促売の一ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	認 と 業導導化援スス 容 を協協 大災 でした N 進と で い で い で い で の で い で の で の で い で で で で	定どおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 由/想定と関わる。 、	た でなかった原因>こ 人材を養施できなかった原因>こ は実施できた 層	とができたた	た 施設域能し育 当当当 L	本的な内容・パート	必要性の現実を を受けている。 必要性の変更を を介述している。 である。 のをしている。 のの程度 のの配慮 にこると をおりまする。 のの配慮 にこると をおりまする。 のの配慮 にこると をおりまする。 のの配慮 にこると をおりまする。 ののでは、これである。 ののでは、これである。 ののでは、これである。 ののでは、これである。 ののでは、これである。 ののでは、これである。 をおりまする。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	経者が高齢化・多践減少でした。 対力でもいくり、貢献で 変援活動に貢献で をであった原因>	様化 ・
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福社 (理由) □ (理由) □ (2 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	にそわ Nで体 お導施ス援図 市市市内で	れ支き酸 団すな べとこる 働有有有携 つ視 い つ つ (%) □■□□□□ 減 の の (%) □■□□□□□	整備を進めるたまを構たして、福祉ののでは、 施能ののでは、 施能ののでは、 を持たして、 福祉ののでは、 でもないのでは、 でもないのでは、 でもないのでは、 でもないのでも、 でもないのでも、 でもないのでも、 でもないが質のの目標ののは、 をもないができない。 をもないが、 をもないのでは、 でもないが、 をもないが、 をもないいが、 をもないが、 をもないいが、 をもないが、 をもないが、 をもないが、 をもないが、 をもないが、 をもない	とうなられた という	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、働きかけを行うことが施設の機能を容図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を存むしている。また、このではない。また、このではないいます。というではないいきない。またいは、また、というではないがある場合、比較対象例における。実施予定の対策	人 人 な 内 な 内 容 ク ク ク ク ク し て 求 が ク ク ク し し し で み ら の も る も の も の も の も る ら る ら る ら る ら る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る し る る る る る る る る る る る る る	環況値の差)と	○②事前確	認 と 業 導導 化 と な 策 が 定 しと N 進 と ・	定どおりでなかった。 由/想定以おりでなかった。 由/想定以おりでなから、 のなけたに関わる。 のなけたに関わる。 のなけたに関わる。 のなけたに関わる。 のなけたのはたのは、 では、一般では、 のなけたのは、 のなけんのは、 のな	た でなかった原因 > 2 でなかを養成 するかった原するかった原するかった	とができた	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 内と は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	本的な内容・パート 本の 大阪 内容・パート 本で、内容・パート では できる できる かい は でいた かい は かい は かい は かい は かい は なった は なった 原因 かい ま で ない かった 原因 かい ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	必要性の現実を表現である。 とのでは、 である。 をは、 である。 をは、 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	経者が高齢化・多践減少でした。 対力でもいくり、貢献で 変援活動に貢献で をであった原因>	様化 ・
要性参加・協働の工夫環境へ	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり)	・地域の多障福社 (明本) (明本) (明本) (明本) (明本) (明本) (明本) (明本)	にそわ Nで体 る導施ス援図	れ支き で	整ね携によいるを表を表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 を放いるを表して、 をないいる。 できている。 できている。 できないいる。 できないいる。 できないいる。 できないいる。 できないいる。 できないいる。 できないい。 できないが質では、 できないが質では、 できないが質では、 できないができないができない。 できないができないがあれている。 できないができないがあれている。 できないがないがあれている。 できないがないがあれている。 できないがは、 できないがは、 できないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがないがな	に援う実 <	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、機きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるということが施設の機能を受けるというでは、またの具体を受けるというではないがある場合ではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、としいを対象のにおけるというではないがある場合をはないがある。	人あ能と 人あ能と 大内容 内容 内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大子で、 大一で、 大一で 大一で、 大一で 、 、 大一で、 、 大一で、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	環況値の差)と	○②事 が (できない)	認 と 業 導導 化 と な 策 が 定 しと N 進 と ・	定どおりでなかった。 由/想定とおりでなかった。 由/想定と関わる。 、	た でなかった原因>ことでなかった原因>ことでなかった原因>ことでない。	とができた	た。 施設域能し育 当当当 し 見し設地なす 利初初 た 定ど お と防 成大 人 と が よ り と た な く 成 く 成 し と し る り し ら り し ら し ら し ら し ら し ら し ら し ら し ら	本的な内容・パート	必要性の現実に が かり で かり で	経者が高齢化・多様減少に、実践源ででは、実践のであった原因 > であった原因 > について	様化 ・
要性参加・協働の工夫環境への配慮	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	・地深の多障福社 (理由) □ 本 (本 (本) 本 (本) 和	にそわ Nで体	n 支 度	整体を対している。 整体では、いる を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 を表している。 できないいる。 できないいる。 できないいる。 できないいる。 できる。	に援う実 <	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、機きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるということが施設の機能を受けるというではない。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づら設定している。 見性が乏してはない。 はないばではない。 はないばではない。 はないばればいばればないがある場合、比較対象例における。 実施予定の対策 西田 □⑤ 受益	人あ能と 人あ能と 大内容 内容 内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大子で、 大一で、 大一で 大一で、 大一で 、 、 大一で、 、 大一で、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	環況値の差)と	○②事前確	認 と 業 導導 化 と な 策 が 定 しと N 進 と ・	定どおりではいい。 由 / 想はいいではいいでは、	た でなかった原因 > 2 でなかを養成 するかった原するかった原するかった	とができた	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 初初初 た とだ り と	本的な内容・ かった原 に なった	必要性の現実を できます できます かいます できます できます できます できます できます できます できます かい	最者が配化・多議滅からい。 はかでいる。 ないでは、実践源を接続である。 ないであった原因> ないであった原因> はいであった原因> はいであった原因> はいであった原因> はいであった原因> はいであった原因>	様化 ・
要性参加・協働の工夫環境への配慮効	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	・地域の多障福社 (理由) □ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	にそわ Nで体 あ 導施ス援図	れ支護 団すな ペニるれこよ 働有有有携: つ視 い つ つ (%)	整ね状のとするとは、 施 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	に援う実 <	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、機きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるということが施設の機能を受けるというでは、またの具体を受けるというではないがある場合ではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、としいを対象のにおけるというではないがある場合をはないがある。	人あ能と 人あ能と 大内容 内容 内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大子で、 大一で、 大一で 大一で、 大一で 、 、 大一で、 、 大一で、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	環況値の差)と	○②事が記録を表示しています。 ○②事が記録を表示しています。 ○③では、一〇のでは、一○のでは、一○	認・主義・導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりではいった。 由/想定関わった。 由/想定関わる。 ・	た でなかった原因 > 2 でなかを養成 するかった原するかった原するかった	とができた	た 施設域能し育 当当当 L 思想 ど 達拡 人 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 (新期期の 以 どど り と防 と所 (本の域)つる 特待期 以 おお で な止 (○● 想型	本の ない 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に	必所はいる。 ・ は で	経者が化くりに高齢化・実践源で と	様化ののきる ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	・地域の多障福社 (理由) □ 本会供の (理由) □ 本会供の (理由) □ 本会供の (理由) □ 本会供の (理由) □ 本の表式 (本市市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市	にそわ Nで体 お導施ス援図 市市市なり 大きを 民族	れ支護 団すな ペニるれこよ 働有有有携: つ視 い つ つ (%)	整ね携により、 施 第 で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	に援う実 <	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、機きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるということが施設の機能を受けるというでは、またの具体を受けるというではないがある場合ではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、としいを対象のにおけるというではないがある場合をはないがある。	人あ能と 人あ能と 大内容 内容 内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大子で、 大一で、 大一で 大一で、 大一で 、 、 大一で、 、 大一で、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	環況値の差)と	○②事 が (g) (f) (g) (g) (f) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g	認・主義・導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりではいった。 由/想定関わった。 由/想定関わる。 ・	た でなかった原因 > 2 でなかを養成 するかった原するかった原するかった	とができた	た 施設域能し育 当当当 L 思想 ど 達拡 人 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 (新期期の 以 どど り と防 と所 (本の域)つる 特待期 以 おお で な止 (○● 想型	本の大きない。 本での大きも高さであった。 かったのでは、 かったのでは、 かったのでは、 かったのでは、 かったのでは、 かったのででないったのでは、 本でのでは、 かったのでは、 かったのでは、 本のののりでないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 でないったのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	必所はいる。 ・ は で	経者が化くりに高齢化・実践源で と	様化ののきる ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	・地域の多障福社 (理由) □ 本会供の (理由) □ 本会供の (理由) □ 本会供の (理由) □ 本会供の (理由) □ 本の表式 (本市市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市中市	にそわ Nで体 お導施ス援図 市市市なず と 協 画画画連施	れ支護 団すな ペニるれこよ 働有有有携: つ視 い つ つ (%)	整ね携により、 施 第 で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	に援う実 <	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域の、機きかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるということが施設の機能を受けるというでは、またの具体を受けるというではないがある場合ではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、比較対象例におけるというではないがある場合、としいを対象のにおけるというではないがある場合をはないがある。	人あ能と 人あ能と 大内容 内容 内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大内容 ク 大子で、 大一で、 大一で 大一で、 大一で 、 、 大一で、 、 大一で、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	環況値の差)と	○②事 が (g) (f) (g) (g) (f) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g	認・主義・導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおりではいった。 由/想定関わった。 由/想定関わる。 ・	た でなかった原因 > 2 でなかを養成 するかった原するかった原するかった を できた	とができた	た 施設域能し育 当当当 L 思想 ど 達拡 人 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 (新期期の 以 どど り と防 と所 (本の域)つる 特待期 以 おお で な止 (○● 想型	本の ない 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に 大に	必所はいる。 ・ は で	経者が化くりに高齢化・実践源で と	様化ののきる ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか? (1)目標設定は適切か?	・地域の多障福社 (単本) (理由) □ (本市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市) (平本市市) (平本	にそわ Nで体 お導施ス援図 市市市なり 大きを 民族	れ支き で	整ね携により、 施 第 で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	C き る ら た 一 べ 差対 で 制のの	は、それを支える人材を養成: に関する知識や技術を地域のの場合がはを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受ける。 「工夫の具体を表づき設定している。 「関性が乏してはない」ではない。 「対する場合、比較対象例における。 「実施予定の対策を表現している。 「関性が乏してはない」がする場合、比較対象例における。 「関係を表現している。 「関係を表現している。」 「関係を表現している。 「関係を表現している。」 「関係を表現している。 「関係を表現している。」 「関係を表現している。 「関係を表現している。」 「対象の表現している。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。	A	環況値の差)と	○②事 が (g) (f) (g) (g) (f) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g	認 Le設 業導導和援スス P と・協	定どおりでかった。 中本学校の (***) ((**/*) *** (10)	た でなか者 (なな) 原 (なな) でなかる (なな) でなかる (なな) できた (できた) できた (とか た	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 目	本で、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 から、 大き、 から、 から、 から、 から、 から、 から、 から、 から	必介化合、で 動の 由 世者固ている。 中 は者固ている。 中 以 中 以 日 の 日 と 日 は	と で あった原 () と () で あった () で かった	様的のきる ●
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?	・地域の多障福社 (理由) □ イン・ (中本) (中本) (中本) (中本) (中本) (中本) (中本) (中本)	にそわ Nで体 お 導施ス援図	れ支き で	整ね携により、 施 第 で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	に接うま	は、それを支える人材を養成: に関する知識や技術を地域ののということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるというではない。 「本学に基づき設定している。 「特別ではない」ではない。 「ない。「はない」ではない。「ない。「ない。「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。「ない。」「ない。」	人あ能と	環況値の差)と	○②事 が (g) (f) (g) (g) (f) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g) (g	認 と設 、	定どおりでなかった。 由 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 /	た でなかる でない でない でない でない でない でない でき	とか た	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 目型 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 標コ (本の域)つる (特待期) 以 どど り と防 (本新習 値) し し で は な は (大) (本新習 値) し は し し で は し) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し に と は と は) し に と は と は) し に と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	本で、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 大き、 から、 から、 大き、 から、 から、 から、 から、 から、 から、 から、 から		と で あった原因 〉 と	様化のæを含 O●不 要要 要 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	・地域の多障福社 (単本) (理由) □ (本市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市市市) (平本市市) (平本市) (平本市市) (平本	にそわ Nで体 お 導施ス援図	れ支	整ね携によるともできない。 を表して、	に接うま	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域のの機能をかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるというに基づき設定している。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している。 日標が乏ではないいばする場合、比較対象例における。 実施予定の対策 西田 □⑤受益の はないがする場合、比較対象例における。 実施予定の対策	人あ能と	環況値の差)と	○②事 前確	認 と設 、	定どおりでなかった。 由 / 根 / ではおりでなから、 由 / 根 / ではおりでなから、 のなけた 策さ基盤 / ではなから、 のなけた 策さ基盤 / ではながら、 のなけた 第 / ではながら、 のなけた ではながら、 のはながら、 のはながらながらながらながらながらながらながらながらなが	た でなかま で で なかっ で なかっ で なかっ で で なか で 表 で で で かっ で 表 で で で 下 層 で で 下 層 で で 下 層 に で た ア で で で 下 層 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	とか た	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 目型 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 標コ (本の域)つる (特待期) 以 どど り と防 (本新習 値) し し で は な は (大) (本新習 値) し は し し で は し) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し に と は と は) し に と は と は) し に と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	はいた は は は か は は か は は か は は か は は か は は か は は か は な な か か な か か な に の の の の の の の の の の の の の の の の の の		と で あった原 () か た () が	様化の含含 O●不 要要 要 要 要 要 要 要 要
要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率 性	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (1)目標対費用)	・地域の多障福社 (理由) □ イン・ (中本) (中本) (中本) (中本) (中本) (中本) (中本) (中本)	にそわ Nで体 お 導施ス援図	n 支 酸 団 け な	整ねておっている。 を持ている を持たし、 にない ない ない ない ない ない ない ない ない ない でれている かけ 質 での 目標の はんと と かい はん でん と と かい はん でん と と かい はん でん と と かい はん でん	に接うま	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域のの機能をかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を受けるというに基づき設定している。 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している。 日標が乏ではないいばする場合、比較対象例における。 実施予定の対策 西田 □⑤受益の はないがする場合、比較対象例における。 実施予定の対策	人あ能と	環況値の差)と	○② 実績値 (g) (= 3,915 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (4l	認 と設 、	定どおり で	た でなかま で で なかっ で なかっ で なかっ で で なか で 表 で で で かっ で 表 で で で 下 層 で で た 層 で で た 層 で た 層 に な で き で き で で と で で か ず 献 に に な で な で な で で の 内 容 の で で の 内 容 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	とか た	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 目型 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 標コ (本の域)つる (特待期) 以 どど り と防 (本新習 値) し し で は な は (大) (本新習 値) し し し で は し) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は と は) し で は と は) し で は と は) し に と は と は) し に と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	はいた は は で な か か た 原 に で な か か た 原 に か か か た 原 に か か か た 原 原 点 か か か か か か か か か か か か か か か か か		と で あった原 () か た () が	様化の含含 O●不 要要 要 要 要 要 要 要 要
要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	・地域の多障福社 (理由) □ 本 (本 (にそわ Nで体 お導施ス援図 市市市なり	n 支 酸 団 す な	整ね携により、 施策 できない いる を できない いる を できない いる を できない いる でき できない いる でき	に接うよ	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域のの機能をかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を関する場合を関する場合を関する場合を関する場合を関する。 「中ではないがある場合をはないがある。 「「「「「「「「「「「「「「」」」」」を表現している。 「「「「」」」を表現している。 「「「「」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、	人あ能と	障害者への理解 かられている。 現況値の差)と なの活用 を費用単位/事業費	○② 実績値 (g) (= 3,915 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (4l	認 と設 、	定どおり で	た でなかま で で なかっ で なかっ で なかっ で で なか で 表 で で で かっ で 表 で で で 下 層 で で た 層 で で た 層 で た 層 に な で き で き で で と で で か ず 献 に に な で な で な で で の 内 容 の で で の 内 容 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	とか た	た 施設域能し育 当当当 し 想想 ど 達拡 目型 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 標コ (本の域)つる (特待期) 以 どど り と防 (本新習 値) し し で は な は (大) (本新習 値) し し し で は し) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は) し で は と は と は) し で は と は) し で は と は) し に と は と は) し に と は と は と は と は と は と は と は と は と は と	はいた は は で な か か た 原 に で な か か た 原 に か か か た 原 に か か か た 原 原 点 か か か か か か か か か か か か か か か か か		と で あった原 () か た () が	様化の含含 O●不 要要 要 要 要 要 要 要 要
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3・	(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対じおり推進 の拡充	・地域の多障福社 (理由) □ 本語 (平本 の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	にそわ Nで体 あ 導施ス援図	n 支	整ね携によると、 を表も表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 を表して、 でもれて、 のののでする。 でもれて、 のののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでも、 ののでは、	に接うま の支えの に接うま へ、差対で 制のの ・現小がる 下が象あ 度対応減 ・現小がる で②② ・事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事	は、それを支える人材を養成に関する知識や技術を地域のの機能をかけを行うことが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を図るということが施設の機能を関する場合を関する場合を関する場合を関する場合を関する。 「中ではないがある場合をはないがある。 「「「「「「「「「「「「「「」」」」」を表現している。 「「「「」」」を表現している。 「「「「」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、	人あ能と	障害者への理解 かられている。 現況値の差)と なの活用 を 関単位 / 事業費	○② 実績値 (g) (= 3,915 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (年) (4組 (g) (4l	認 と設 、	定どおり で	た でなかま で で	とか た	た 施設域能し育 当当当 し 関想 ど 達拡 目型前 のと施なく成 初初初 た 定定 お 成大 (新習 慎コの と助なす 特待期 以 どど り と防 〇● 想型生 以ナ習 はひり かん (大) 「	はいた は は で な か か た 原 に で な か か た 原 に か か か た 原 に か か か た 原 原 点 か か か か か か か か か か か か か か か か か		と で あった原 () か た () が	様化の含含 O●不 要要 要 要 要 要 要 要 要

様式第3号	号					事務事業評価	西表(令和	2年度)									
事業コー	- F *	435		課コード		0505	会計種	引 一般会言	†			予算	草の種類	□政策	■経常	ロな	なし
1. 事業	の概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業あら		No. 9 19 44 1-1			実施計画 位置:		•	有 〇無		②部課名	健康福	祉部・あらき園		
		③事業主体		tとの交流(あらき園∮)その他(景・ハサー参加)) ④対象地区		□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市		
(1)事業概要	Ę	⑤事業期間		昭和	1163年度 ~			⑥担当職員	数	(当 初)		4 人 3,078 千円	(換算人数	,	0.35 人) 3,045 千円)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		5,380 千円			当該(開始	台)年度	(変更後)		3,045 千円			3,045 千円		
		⑧施策の位置づけ	施策コード	33304		プロジェクト D位置づけ	重点なし	基本計画計画への位		C)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	か(計画名	i)		
(2)目的		施策目的・				 るため、イベントや講座 参加を支援するなど、地			目的	地域住民の園	および利用者へ	の理解を深め	ていく。				
\		展開方向	動を行います。 ・あらき園祭	(模擬店、外部団体の	催し物、園内企画など	の実施)の開催		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			の企画、実施。						
			・バザー(作業	く製作物等の販売、展売	示、地域行事)への参加	Da		当該名		・年6回のバサ	・一への参加。						
(3)事業内容	3	内 容						執行記	TЩ								
								当該年		・あらき園祭 ・バザー参加				j	単位 同 —	定値	
(4)達成目標	票(期待する成果)			達成日	目標(期待する成果)			指標科				指標		j	単位 (5)現況	接值 (d)	(6)目標値
当該年度	Ę				及び利用者への理解を			直接	妾	あらき園祭参					Д	0	30
令和 3年					及び利用者への理解を			直接	姜	あらき園祭参					٨ .		30
令和 4年	:度	めらざ国奈の開催	、ハサーへの参加	川により地域任氏の園	及び利用者への理解を	深める。 		直接	妾	あらき園祭参	加有奴		1		٨ .		30
(7)事業実施	正上の課題と対応							代替案	検討	С)有 ●無						
		īūle :	平成31年度		Tate:	令和 2年度		months (- m) This			和 3年度	A# (T)			令和 4年度		A # (7 PP)
		機材賃借料	内 容	金額(千円)) 政 策 35 機材賃借料	内 容	予算額(千円) 法 33	算額(十円) <u>緊</u> 策	機材賃億	内 借料	学 	金額(千)	33 機材賃債	掛	· 容	- 金	金額(千円)
					機材賃借料(3	3月補正)	△33										
	実施内容																
(8)施行事項																	
	,,,,																
	予算(決算)額	4	h 計	;	35 #	計	0	0		수 計			33	合	計		3;
	国庫支出金 県支出金	補助率 補助率	0	%	0 補助率 0 補助率	0 % 0 %	0	0	補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %		(
(9)財源内訴	程 一般財源 その他の財源	充当率	0 □基金 □その		0 充当率 13 □ □特会 ■受:	0 % ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0 △20 20	0 0	充当率	会 ■受益 □基3	0%		0 充当率 13 20 □特会	. ■ 四	0 % 基金 □その他		13 20
(40) 1 (4 = +++	換算人数(人)	UITE ■XI			. 4		0. 35 3. 045	0. 35 3. 045	L 1√ 20	₹ ■ 文並 □ 至 3). 31 697	■ 又並 □	を立 口での他		(
(10)人件費等	病託職員報酬額 臨時職員賃金額				0		0	0				,	0				C
(11)単位費用			507.86千円/	3, 55	55	435千円/回	3, 045	3, 045				2,	730				33
	『✓活動結果指標) 『 の評価 (DO+CHECK))															
	評価項目			事	前 評 価					事 後 評	価(評価結果	具に応じ、改善	素検討(拡充も含	きむ))			改善検討
/4\ = ##	418ANTT-1777	解を深めていくこ	とが必要である。	そのためには、あら	き園祭、機関紙発行、	ようにするため、地域住 バザー参加、を通して、		①①事前確認で②事前確認で		どおり どおりでなかっ	<i>t</i> =						0.7
	美が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性)	者についての情報:	光信を打つ (いく	(ことが求められてい	ବ .			<想定どおりと					祭開催が見送られ	ナーナー め			_ ○要 ●不要
		●①民間企業、N	IPO、市民団体:	等では実施できない	<その他の内容>	>				、市民団体等で			**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		理由>		_
必要		■提供主	体が市しかない	ことが定められている				□③市が先導役	ひとなった	ければ実効性が たことで市民へ		市営施	i設という位置付け	けで参加、実	施しているため).	
性 (2)市が	《実施する必要性は	□その他 ○②自治体である		である	<その他の内容>	<u> </u>		促進された □④市の支援だ □⑤サービスカ	が政策・カ	施策の目標の実	現に貢献した						〇要
	か? 実施の必要性)	(理由) 口市が主	尊で進めることに	こより実効性が得られ。 こより実効性が得られる こにより、良質で安定	る					給基盤が確保さ	n <i>t</i> =						●不要
		サービ	スが保証される)政策・施策の目標の				くその他の内容	!>								
		実現が[□その他						事作114	èπ. +⊅⊭	動の具体的な内容	灾 (∇HA ⁽⁴⁾						
		O①事業計画時に	参加・協働のF 市民の参画有り	内容		工夫の具体的な内容				動の具体的な内を えられる場合に(O(T):	参加・ 当初期待した以上	協働の程度	・内容		4
参加・市民の	参加や市民との協働を	○②事業実施時に○③管理・運営に	市民の参画有り 市民の参画有り									●2:	当初期待したとお 当初期待したとお 当初の期待以下				
	ているか?	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で		ている								<期待	ました以上となった	:理由/期待	以下であった原	(因)	_ ○要 ●不要
大		●⑥その他 <その他の内容>															
		該当なし															
		□①自然環境を生	配慮の視点 かしている	i		取組む内容			実施し	した具体的な内 線	容 容	● (1):	想定どおり	環境への配慮	i		
環境・環境に関	配慮して事業を進めて	□②生き物と共存 □③手賀沼を意識	している むしている									02	想定どおりでなか				
スの配慮 いるか		□④環境負荷低減 ■⑤その他	に貢献している									<想定	?どおりでなかっ <i>た</i>	-原因>			〇 要 ● 不要
慮		< その他の内容> 該当なし			I												
		談当なし 現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥	当性のチェック			達成状況		〇①目標値記						
(1) 日垣	 設定は適切か?	- 100 IE (4) (V)		■①客観的なデ	ータ・事実に基づき設 ベ実現性が乏しい値で	定している		実績値(f)(人)	, ;	達成率(%) (f/b×100)	●②目標値	未達成	Note all 1				〇要
(1)口标	TO SEE STATE	0	300	□③現況値との □④適当な比較	差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較		と現況値の差)と	0		0	新型コロナウ		達成となった原因 拡大防止のため/		あらき園祭開催	を見送っ	●不亜
		対策実施によ	る事業費削減	同等の水準	である	5定の対策			実施状況		たため。		事	業費の削減	対策について		
効		事業費(c)(千円)	事業費削減額(d) □①国・県助成 ■②現有体制で	制度活用	□⑤PFI等民間資 □⑥受益者負担	[本の活用	実績値(g)(千円	·	村事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想別 ○③想定事事	定事業費以内 業費超過	●①事前の	想定どおり 想定どおり			1
率 (2)事業	養削減の工夫をして か?	3, 045	510	□③維持管理費 □④民間委託	の削減策の実施	口⑦その他		3,045		100			<想定どおり	り削減できな	かった原因>		○要
性		事業費削	減率(%)	<削減の内容>				<超過理由等>									●不要
		14	. 35														
	標値を実現する為に		目標値対事業費(●①単年度の比極・	計算方法 目標値×費用単位/事業	<u>*</u>		達成状況	村目標値(%)	〇①目標値以 〇②目標値。	と同程度 新	 目標値以上となっ 型コロナウイルス	感染症拡大			
投じ	える事業費は適正か? 標対費用)	9. 85		植位 費用単位 人 10万円		日標値×賀用単位/事身 ::(目標値ー現況値)×費		実績値(h)		(h/e) × 100	●③目標値り		催が見送られたた				●不要
				100011				0		0							
3. 車斧	·評価																
3. 事後 ●現状どる		〇縮小	〇結合 〇休		○事業手法見直し	〇その他(事業完了な	: ど)										
⇒ 今年度(おり推進 〇拡充	感染症拡大防止のた	評 めバザーやあらき	F価コメント き園祭が中止となって		〇その他(事業完了な それらを通してあらき園					改善	善策及び展開ス	方向				

3	事業コード	436		課コード	0505	会計種別	一般会計			予算の種類	□政策	■経常	□なし
1.	事業の概要 (PLAN)												
		①事業名	基本事業 あらき				実施計画への	,	●有 ○無	②部課:	名健康福	祉部・あらき園	
		③事業主体		員の技術の向上 の他()	位置づけ ④対象地区	□我孫子	□天王台	□湖北□	新木 □布佐	■全市	
(1) 3	事業概要	⑤事業期間			~		⑥担当職員数	(1) (2)			算人数	1.05 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)年原	(当初)			ち人件費 ち人件費	9,135 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	33303	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地区が計画への位置づ		○有 ●無		引計画への 置づけ (計画名	名)	
(2)		施策目的・	あらき園と障害者		 -人ひとりのニーズにあった施設サービスを打		容	我孫子市の重	度障害者のセーファ	ィーネットとして	の役割を担い、スー		
(2)	目的	展開方向	、福祉の各機関と	の連携を強化します。	て、市内の障害者施設への技術的支援を行 の民間やずま中障害者施設会体で、素度			設全体の支持	引すると共に、市内の <u>ξ技術の向上を図り、</u> Jハビリテーション				
			専門的な支援がで	きる人材養成機能を担	,、公民問わず市内障害者施設全体で、重度『 引う。 Bは社会福祉事業基金を活用する。	桿舌有への対応に ブい	当該年度	・市内生活が	ハビリテーション ト護及びグループホー 銭員が市内生活介護及				
(3) 4	事業内容	内容	○摂食嚥下リハビ	リテーション	÷が三者協定から外れ後援団体となることか!	ら、摂食嚥下支援指導	執行計画	・日本大学校	公戸歯学部による摂食 経食品の上手な使い方	嚥下支援指導事業	(給食指導年6回・	研修会年1回:8月])
			〇応用行動分析学	歯学部との二者協定と	:なる。		当該年度		}析学スーパーバイサ 爰拠点事業に関する研		事業所訪問の回数	想定值	i 40
			○外部研修 ○福祉施設連絡会				活動結果指標	l				単位 回 実績値	
. , ,	達成目標(期待する成果) 当該年度	市内重度障害者の	日常生活の支援の向		(期待する成果)		指標種類	地域生活支持	指 援拠点事業に関する研	標 F修会・実地指導・		単位 (5)現況値 回 11	(6)目標値
		市内重度障害者の	日常生活の支援の向	上を図る			間接	地域生活支持	爰拠点事業に関する研	F修会・実地指導・	事業所訪問の回数		40
		市内重度障害者の)日常生活の支援の向	上を図る			間接	地域生活支持	髪拠点事業に関する研	f修会・実地指導・	事業所訪問の回数	0	40
(7) 3	事業実施上の課題と対応						代替案検討		○有 ●無				
			平成31年度		令和 2年度				今和 3年度			令和 4年度	
		政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円) 決算	策	内		金額(千円) 政策		容	金額(千円)
		東葛北部地区	施設連絡会負担金 施設連絡協議会負担金		スーパーバイザー報償費 行動分析	180	180 行	パーバイザー報信 動分析	費	180	スーパーバイザー幸行動分析	最 償費	180
		研修負担金 研修旅費	ı¢ +0 <i>M</i> 5±	50 32	摂食嚥下 研修旅費	285 33	3 研修				摂食嚥下 研修旅費		285 33
		スーパーバイー 普通旅費	サー報賃費	430 5	普通旅費 研修用消耗品 東葛北部地区施設連絡協議会負担金	5		Ⅰ旅賀 ᠄用消耗品 「北部地区施設連絲	対₩業会各担会	2	普通旅費 研修用消耗品 東葛北部地区施設選	事奴协議会各 扣◆	5 2
	実施内容				来為北部地區加設連絡協議会員担金 我孫子市福祉施設連絡会負担金 研修負担金	2	2 我孫	えいい はい は		2	来曷北部地区施政》 我孫子市福祉施設選 研修負担金		2
(8)	施行事項 費 用				強度行動障害支援者養成実践研修 社会福祉士実習指導者講習会	30 12	0 強	· 貝拉亚 战度行動障害支援者 :会福祉士実習指導		30 15	が		30 15
					* 講師報償費 (嚥下調整食調理実習) * 消耗品費 (自助具・食器)	150 392	* 講師			150 *	講師報償費 消耗品費(自助具・		150 392
					* 講師報償費(12月補正) * 消耗品費(12月補正)	△150 △392							
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	合 計 0 %	527 0	: 合計 補助率 0%	560	477 0 補助 ²	<u>合</u>	1 0 %	1, 102 0 *	合	計 0 %	1, 102
(0)	県支出金	補助率 充当率	0 % 0 %	0	110 - 5	0	0 補助 0 充当		0 % 0 %		輔助率 管当率	0 % 0 %	0
(9) }	その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口その他		□特会 □受益 □基金 □その他	560		特会 □受益 ■基	金 口その他	560 542	□特会 □受益 ■	基金 □その他	560 542
(10)	換算人数(人) 正職員人件費			0. 85 7, 480		1. 05 9, 135	1. 05 9, 135			0. 35 3, 045			0
車 樂:	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額 度(予算(決算)額+正職員人件費			0 0 8, 007		0 0 9, 695	0 0 9, 612			0 0 4, 147			0 0 1, 102
	単位費用 (事業費/活動結果指標)		400.35千円/回	0,007	242.38千円/回	9, 093	873. 82			4, 147			1, 102
	(争未貸/冶勁裄禾拍標)												
2.	事業の評価 (DO+CHEC	Ю											
2.			医行为 机復行为 極		評価	生増加値向に あり	○①事前確認での相		平の価(評価結果に応	び、改善案検討(拡充も含む))		改善検討
2.	事業の評価 (DO+CHEC	重度利用者の自傷、利用者の多様化	2、重度化、重複化、	端な多動、パニックや 高齢化が問題となって	評価 D著しいコミュニケーション障害を有する人 できている現状に早急に対応していく必要が に関連施設と連携を図り、施設支援の情報を	あり、職員の支援	○①事前確認での想 ●②事前確認での想	定どおり		び、改善案検討(拡充も含む))		改善検討
2.	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目	重度利用者の自傷 、利用者の多様化・ 技術の向上は必須 した支援技術の提 基盤整備を行って	と、重度化、重複化、 質である。我孫子市内 提供を行う必要がある いくことが求められ	端な多動、パニックや 高齢化が問題となって 及び近隣市町村の障害 。障害者の地域生活の ている。施設が地域生	b著しいコミュニケーション障害を有する人できている現状に早急に対応していく必要が	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための <	●②事前確認での想 (想定どおりとした)	まだおり まだおりでなかっ 理由/想定どおり	ot:		拡充も含む))		
	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由	重度利用者の自傷、利用者の多様化・技術の向上は必須した支援技術の提基盤整備を行っているための技術提 ●①民間企業・①民間企業・	、重度化、重複化、 種である。我孫子市内 性を行う必要がある いくことが求められ 性を行うことが求め NPO、市民団体等で	端な多動、パニックヤ 高齢化が問題となって 及び近隣市町村の障害 。障害者の地域生活の いる。施数が地域生 られている。 では実施できない	P著しいコミュニケーション障害を有する人 できている現状に早急に対応していく必要が 「関連施設と連携を図り、施設支援の情報を り促進に向け、本人の希望に基づいて安心し	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための 体に支援の向上を 割	●②事前確認での想 (想定どおりとした) 「型コロナウイルス! ■①民間企業、NP	定どおり 定どおりでなか。 理由/想定どおり 感染症拡大防止の 〇、市民団体等	った でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった	があったため。 : <市実施の具体	的な内容・必要性の		○要●不要
2.	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由	重度利用者の自傷 、利用者の多様化 ・技術の向上は必須 した支援技術ので した支援技術のの技術技 ●①民間企業、「 (理由)□法令記 ■提供主	、重度化、重複化、 種である。我孫子市内 と供を行う必要がある。 いくことが求められ 機性を行うことが求め NPO、市民団体等で で市が実施すること 体が市しかない	端な多動、パニックヤ 高齢化が問題となって 及び近隣市町村の障害 。障害者の地域生活の いる。施数が地域生 られている。 では実施できない	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための 体に支援の向上を 第	●②事前確認での想 想定どおりとした3 種コロナウイルス! ■①民間企業、NP □②市が主導で進め □③市が先導役とな	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおり 感染症拡大防止の 〇、市民団体等で なければ実効性が	った でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった	があったため。 - 〈市実施の具体 市内で暮らす重 役割を担い、支	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 援する環境を整える	-フティーネットと D ることは市の役割でる	○要 ●不要 しての ある。
必	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は	重度利用者の自傷 、利用者の多様化 ・技術の向上は必須 した支援技術の提基盤整備を行って ・ (理由) □ にまそ等 ■ 提供主□ この他	、重度化、重複化、 種である。我孫子市内 と供を行う必要がある。 いくことが求められ 機性を行うことが求め NPO、市民団体等で で市が実施すること 体が市しかない	端な多動、パニックで高齢化が問題となって及び近隣市町村の障害。障害者の地域生活のこ。を設が地域生られている。施設が地域生られている。では実施できないが定められている	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための 体に支援の向上を ・	●②事前確認での想 想定どおりとした3 「型コロナウイルス! ■①民間企業、NP □②市が主導で進め	定どおりでなかっ 理由/想定どおりでなかっ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の 〇、市民団体等するなければ実効性が つなければで市民/	oた でなかった原因> ため中止された研修 では実施できなかった がなかった く普及が一層	があったため。 こ	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 援っる環境を整える 援っる環境を整える	-フティーネットと1	○要 ●不要 しての ある。 地域
必要	事業の評価 (D0+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)	重度利用者の自傷、利用者の自傷、利用者の多様化・技術の損とは必須とした支援技術の提基盤を働めて技術のででで、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	、重度化、重複化、 真である。我孫子市内 機快を行うとが求められ でいくことが求められ 性を行うことが求められめ NPO、市民団体等で で市が実施すること に体が市しかない ここであが推進すべきであ 導で進始ることに ここをは、 ことにより、	端な多動、パニックヤ高齢化が問題となって及び近隣市町村の障害。障害者の地域生活のている。施設が地域生られている。をいる。では実施できないが定められている	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 では一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための 本に支援の向上を 報	●②事前確認での想定を対しています。 ●③東前確認での想定とおりとした。 ●③民間企業のとは、N と が 以上の では、 ●③市が主導役とない。 ●④市の支援が政策には、 ●③・サービスの安定。 ●③・サービスの安定。	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおり 感染症拡大防止の の、市民団体等す なければ実効性が ったことで市民 ・施策の目標の写 な確保された	った でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった がなかった 、普及が一層	があったため。 こ 〈市実施の具体市内で担当を担が重支の関本が重要ができる人に貢献できる人	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 援っる環境を整える 援っる環境を整える	- フティーネットとし ることは市の役割で 裁員の専門性を高め、	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
必要	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	重度利用者の自線、利用者の自線へ、技術の向上は必須接上術の提接所の提及を開立で、図るための技術提基盤整備を行って、図るための技術提供理由)□法提供の世界のでは、今年のでは、一、日本のは、中、日本のは、中、日本のは、中、日本のは、中、日本の自然を表し、日本のは、中、日本の自然を表し、日本の自然のもの。これのもの。日本の自然のもの。これの自然のもの。これの自然のもの。自然のもの。自然のもの。自然の自然のもの。自然の自然のもの。自然の自然のもの。自然の自然の自然のもの。自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自	、重度化、重複化、 真である。我孫子があられ はいくことが定とがらられ といくことがたられからい。 はいくことがたられからい。 のトアの、市民団ることはなが市しかない。 はなが市しかない。 るで進伏するこる。 で進供しているようにとにまりない。 はなが市によりない。 はなが市で進供している。 はなが市ではない。 はなが市ではない。 はなが市ではない。 はなが市ではない。 はなが市ではない。 はなが市ではない。 はないたとにとにまりない。 はないたといる。	端な多動、パニックで高齢化が問題となって及び近隣市町村の障害の及び近隣市町地域生地域生のできる。障害者の地域生地域生られている。施設が地域生られている。をは実施できないが定められているが定められている。	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 では一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための 本に支援の向上を 報	●②事前確認での想 想定どおりとした! 型コロナウイルス! ■①民間企業、N進め ②電かが先き導役とな 促進の支援水体。 (単・1) では、 (単・1) では、 (単	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおり 感染症拡大防止の の、市民団体等す なければ実効性が ったことで市民 ・施策の目標の写 な確保された	った でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった がなかった 、普及が一層	があったため。 こ 〈市実施の具体市内で担当を担が重支の関本が重要ができる人に貢献できる人	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 援っる環境を整える 援っる環境を整える	- フティーネットとし ることは市の役割で 裁員の専門性を高め、	○要 ●不要 しての ある。 地てい ○要
必要	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	重度利用者の自線、利用者の自線へ、技術の向上は必須接上術の提接所の提及を開立で、図るための技術提基盤整備を行って、図るための技術提供理由)□法提供の世界のでは、今年のでは、一、日本のは、中、日本のは、中、日本のは、中、日本のは、中、日本の自然を表し、日本のは、中、日本の自然を表し、日本の自然のもの。これのもの。日本の自然のもの。これの自然のもの。これの自然のもの。自然のもの。自然のもの。自然の自然のもの。自然の自然のもの。自然の自然のもの。自然の自然の自然のもの。自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自	、重度化、重複化、 重度化、重複化、 真である。 我孫子がある。 提供を行うとが来があられめ。 NPO、市民団ることである。 で市が実施ない。 を体が市しかない。 る神で進供することに を導施・提保証とにより政 「という。」 を関いる。 ではない。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないなな。 ではなないな。 ではなななななな。 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	端な多動、パニックヤ 高齢化が問題となって 及び近隣市町村の障害の でいる。施設が地域生られている。 では実施できない が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではいる現状に早急に対応していく必要が、 で関連施設と連携を図り、施設支援の情報を の促進に向け、本人の希望に基づいて安心し 活を支える拠点となれるよう、市内施設全付 <その他の内容>	あり、職員の支援 共有し、より充実 て生活するための 本に支援の向上を 報	●②事前確認での想想定どおりとした。 型コロナウイルスが 型コロナウイルスが 型(②市が主導で後とない。) のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	定どおり 記定どおりでなかっ 理由/想定どおり 感染症拡大防止の 〇、市民団体等 つなければ実効性だったことで市民の 「・施策の目標の写 で確保された 供給基盤が確保る	った でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった がなかった 、普及が一層 実現に貢献した	があったため。 こ 〈市実施の具体市内で担当を担が重支の関本が重要ができる人に貢献できる人	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 援する環境を整える 、高齢化する中で剛 材の育成を強化して	- フティーネットと ることは市の役割でさ 歳員の専門性を高め、 ていくことが求められ	○要 ●不要 しての ある。 地てい ○要
必要性	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	重度利用者の自像化、 技術の占は必然情では、 技術の提技術の提及を は を	、重度化、重複化、 真である。我孫子がある。 提供を行うとが求めなか。 といくこうが末のもの。 いくこうが来がある。 は、くこうが来がある。 は、それられるが、 でで市が実施ない。 る神で進めまる。 る神で進めまる。 る神で進くとことは、 は、とことは、 は、といるは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	端な多動、パニックヤ 高齢化が問題となって 及び近隣市町村の障害の でいる。施設が地域生られている。 では実施できない が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した 策・施策の目標の	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 では一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	あり、職員の支援 共有により充実 「 て生活をの向上を 和本に支援の向上を	●②事前確認での想想定どおりとした。 想定どおりとした。 型コロナウイルス ●①民間企業。では、 N 単め では、 では、 N 単の では、 では、 N 単の では、 N 単の できる。 できる。 N 単の できる。 できる。 N 単の できる。 できる。 N 単の できる。 N ● N ● N ● N ● N ● N ● N ● N ● N ● N	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおり 感染症拡大防止の の、市民団体等す なければ実効性が ったことで市民 ・施策の目標の写 な確保された	った でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	があったため。 こ 〈市実施の具体市内で担当を担が重支の関本が重要ができる人に貢献できる人	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 援する環境を整える 、高齢化する中で取 材の育成を強化して	- フティーネットと ることは市の役割でさ 歳員の専門性を高め、 ていくことが求められ	○要 ●不要 しての ある。 地てい ○要
必要性参加・	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか?	重度利用者の自傷、利用者の自傷、利用のは必易様化。 技術の技は術の技は術の技法を整備を存ってが提り。 ●①、表記を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	、重なの。 我保証の は で は で が で が で が で が で が で が で が で が で	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス の	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではいる現状に早急に対応していく必要が、 で関連施設と連携を図り、施設支援の情報を の促進に向け、本人の希望に基づいて安心し 活を支える拠点となれるよう、市内施設全付 <その他の内容>	あり、職員の支援 共有により充実 「 て生活をの向上を 和本に支援の向上を	●②事前確認での想想によりとした。 想定どおりとした。 型コロナウイルス ■①民間企業・運営の事が先き導行となる。促進するでとなる。 □③中が先きされた。 □⑤サービスの安定であり、の他の内容〉 実施した参加・協働が	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであた。 ・施策の目標の は保験された は保験が確保。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	った でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	があったため。 【 〈市実施の具体 市内で碧いす 支利用者ができる人 に貢献できる人 る。	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 接する環境を整え取 接っ高齢化する中して 材の育成を強化して 参加・協働の程度 した以上 したとおり	- フティーネットと ることは市の役割でさ 歳員の専門性を高め、 ていくことが求められ	●●のである。地では、「のである。」である。できません。「はない」である。では、「のである」では、「のである。」では、「のである。」では、「のである。」では、「のである。」では、「のである。」では、「のである。」では、「のである。」では、「のでは、「のである。」では、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「の
必要性参加・	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	重度利用者の自傷、利用者の自傷、利用のは必須提供のは必須提供の主義を動の企業を動の企業を動の企業を動の企業を動の企業を関していませば、等主のでは、第1年のではは、第1	、重を (本)	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス の	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではいる現状に早急に対応していく必要が、 で関連施設と連携を図り、施設支援の情報を の促進に向け、本人の希望に基づいて安心し 活を支える拠点となれるよう、市内施設全付 <その他の内容>	あり、職員の支援 共有により充実 「 て生活をの向上を 和本に支援の向上を	●②事前確認での想想によりとした。 想定どおりとした。 型コロナウイルス ■①民間企業・運営の事が先き導行となる。促進するでとなる。 □③中が先きされた。 □⑤サービスの安定であり、の他の内容〉 実施した参加・協働が	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであた。 ・施策の目標の は保験された は保験が確保。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	った でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体市内で発育らす重な利用者ができる人利用者ができる人のできる人のできる人のでは、 - ○ ①当初期特待 ○ ②当初の期待	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 接する環境を整える 表、高齢化する中では 材の育成を強化して 参加・協働の程度 した以上 したとおり 青以下	- フティーネットと ることは市の役割でさ 歳員の専門性を高め、 ていくことが求められ	● TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加・	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	重度利用者の自像化、	、重なのでは、重複子のでは、 である。我とない。 は、であるうとがことでは、 は、くこうことでは、 は、くこうことでは、 は、くこうことでは、 は、くこうことでは、 は、くこうことでは、 でで市がことでは、 は、さいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス の	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではいる現状に早急に対応していく必要が、 で関連施設と連携を図り、施設支援の情報を の促進に向け、本人の希望に基づいて安心し 活を支える拠点となれるよう、市内施設全付 <その他の内容>	あり、職員の支援 共有により充実 「 て生活をの向上を 和本に支援の向上を	●②事前確認での想想によりとした。 想定どおりとした。 型コロナウイルス ■①民間企業・運営の事が先き導行となる。促進するでとなる。 □③中が先きされた。 □⑤サービスの安定であり、の他の内容〉 実施した参加・協働が	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであた。 ・施策の目標の は保験された は保験が確保。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	った でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 、普及が一層 を現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体市内で発育らす重な利用者ができる人利用者ができる人のできる人のできる人のでは、 - ○ ①当初期特待 ○ ②当初の期待	的な内容・必要性の 度重複障害者のセー 接する環境を整える 表、高齢化する中では 材の育成を強化して 参加・協働の程度 した以上 したとおり 青以下	- フティーネットとしることは市の役割でで ることは市の役割でで 歳員の専門性を高め、 ていくことが求められ	● TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加・	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	重度利用者の自像化 利用者の自物化 大術の支援備を行ってがした。 ● (理由) ■ (理由) ■ (理由) ■ (理由) □ (世界) □ (型用) □ (型用	、重なのでは、重複子には、できない。 では、重複子に、重複子に、重複子に、重複子に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス の	・	あり、職員の支援 共有により充実 「 て生活をの向上を 和本に支援の向上を	●②事前確認での想想での想想での想想での想力とした。 「思定どおりとした。」 「思問企業等ではとない。 「思問企業等ではとない。 「記の市が先された」 「記のサービススの世のです。 「記のサービスのでは、水学などで、できない。」 「記のサービスのでは、水学などで、できない。」 「記のサービスのです。」 「記のする」 「記しいる」 「記のする」 「記の	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであれた に、施策の目標の になれたと は、確保された で供給基盤が確保。 協働の具体的なが 考えられる場合に	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 一音及が一層 実現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体市内で発育らす重な利用者ができる人利用者ができる人のできる人のできる人のでは、 - ○ ①当初期特待 ○ ②当初の期待	的な内容・必要性の 度重複障害者のセース 援大・高齢化する中で 援大・高齢化する中で、 材の育成を強化して 参加・協働の程度 した以上 したとより ・ も以下 となった理由/期名	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	● TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加・	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	重度利用者の自像に	、重なのでは、重複子のでは、 ・ では、 ・ では、	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス (の) にいいます (の) にいいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいます	を著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要が、 ではいる現状に早急に対応していく必要が、 で関連施設と連携を図り、施設支援の情報を の促進に向け、本人の希望に基づいて安心し 活を支える拠点となれるよう、市内施設全付 <その他の内容>	あり、職員の支援実工を対象のでは、よりためのでは、よりためのでは、よりためのでは、大きを対象のでは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きを	●②事前確認での想想での想想での想想での想力とした。 「思定どおりとした。」 「思問企業等ではとない。 「思問企業等ではとない。 「記の市が先された」 「記のサービススの世のです。 「記のサービスのでは、水学などで、できない。」 「記のサービスのでは、水学などで、できない。」 「記のサービスのです。」 「記のする」 「記しいる」 「記のする」 「記の	定どおり 定どおりでなかっ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであた。 ・施策の目標の は保験された は保験が確保。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 一音及が一層 実現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体 市内で書い、では、一下実施の関係を対して、では、では、では、では、できる人のできる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる人のでは、できる。	的な内容・必要性の 度重をできるできるでは 環境を中して 援、高齢化する強化して 参加・協働の程度 したとより き以上 いき以下 となった理由/期和 環境への配	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	● TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか?	重度利用者の自線化 利用者のよびの 「大術の支援備を方とが 「世別では、 「理由」 「世別では、 「理由」 「日間では、 「理由」 「日間では、 「理由」 「日間では、 「理由」 「日間では、 「でががった。 「では、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	、重ない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス (の) にいいます (の) にいいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいます	・	あり、職員の支援実工を対象のでは、よりためのでは、よりためのでは、よりためのでは、大きを対象のでは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きを	●②事前確認での想想での想想での想想での想力を対している。 「思聞企業等ではとない。 「思問企業等ではとない。 「記言のでは、「ないでは、」」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであれた に、施策の目標の になれたと は、確保された で供給基盤が確保。 協働の具体的なが 考えられる場合に	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 一音及が一層 実現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体 である。 - 〈市実施事とは、では、では、では、では、できる人ができる。 - ○ ① ① 当初初初ののでは、では、では、できる人ができる。 - ○ ② ② 当初初初ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	的な内容・必要性の 度重複障害者のセース 環境を整てる環境を整立して 援、高齢化する中して 参加・協働の程度 した以上 したとおり き以上 となった理由/期名 環境への配	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	●●のののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり)	重度利用者の自線化 利用者のよびの 「大術の支援備を方とが 「世別では、 「理由」 「世別では、 「理由」 「日間では、 「理由」 「日間では、 「理由」 「日間では、 「理由」 「日間では、 「でががった。 「では、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	、重なのでは、重複子のでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス (の) にいいます (の) にいいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいます	・	あり、職員の支援実工を対象のでは、よりためのでは、よりためのでは、よりためのでは、大きを対象のでは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きを	●②事前確認での想想での想想での想想での想力を対している。 「思聞企業等ではとない。 「思問企業等ではとない。 「記言のでは、「ないでは、」」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであれた に、施策の目標の になれたと は、確保された で供給基盤が確保。 協働の具体的なが 考えられる場合に	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 一音及が一層 実現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体 である。 - 〈市実施事とは、では、では、では、では、できる人ができる。 - ○ ① ① 当初初初ののでは、では、では、できる人ができる。 - ○ ② ② 当初初初ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	的な内容・必要性の 度重をできるできるでは 環境を中して 援、高齢化する強化して 参加・協働の程度 したとより き以上 いき以下 となった理由/期和 環境への配	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	● TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 表 地 TOの 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加・協働の工夫 環境へ	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	重度利用者の自爆化 、	、 重ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス (の) にいいます (の) にいいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいます	・	あり、職員の支援実工を対象のでは、よりためのでは、よりためのでは、よりためのでは、大きを対象のでは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きを	●②事前確認での想想での想想での想想での想力を対している。 「思聞企業等ではとない。 「思問企業等ではとない。 「記言のでは、「ないでは、」」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりの 感染症拡大防止の のなけれどであれた に、施策の目標の になれたと は、確保された で供給基盤が確保。 協働の具体的なが 考えられる場合に	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 一音及が一層 実現に貢献した された	があったため。 - 〈市実施の具体 である。 - 〈市実施事とは、では、では、では、では、できる人ができる。 - ○ ① ① 当初初初ののでは、では、では、できる人ができる。 - ○ ② ② 当初初初ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	的な内容・必要性の 度重複障害者のセース 環境を整てる環境を整立して 援、高齢化する中して 参加・協働の程度 した以上 したとおり き以上 となった理由/期名 環境への配	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	○ 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	重度利用者の自線化 利用者の自線化 利用者のはがった技 ・ した整整備を方とである。 ● (理由) ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	、 重ない は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	端な多動、パニックヤースをいいます。 パニックス (の) にいいます (の) にいいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいます (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいまかられている (の) にいます	・	あり、職員の支援実工を対象のでは、よりためのでは、よりためのでは、よりためのでは、大きを対象のでは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きをは、大きを	●②事前確認での想想での想想での想想での想力を対している。 「思聞企業等ではとない。 「思問企業等ではとない。 「記言のでは、「ないでは、」」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	定どおりでなかっ 理由 / 紅	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかった 、普及が一層 実現に貢献した された ②容(又は今後、こはその内容)	があったため。 - 〈市実施の具体 では、	的な内容・必要性の 度重複障害者のセース 環境を整てる環境を整立して 援、高齢化する中して 参加・協働の程度 した以上 したとおり き以上 となった理由/期名 環境への配	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	○ 要 要 要 での
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	重度利用者の自線化 乗車度利用者の自線化 利用者の自接体の 動力を持たを技技を ●理 ● (理由) ■ 日本 ・	、	端な多動、パニックヤイを高齢化が問題となりに表している。 では実施であるい できるい がに でいる のでは 実施 られている では 実施 られている が定められている がまり、 良質 目標の まり、 施策の目標の まり、 心臓の は でいる した でいる しん	・ 要しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応していく必要がに関連施設と連携を図り、施設支援の情報を19位進に向け、本人の希望に基づいて安心した。	あり、職員の対象の 大学	●②事前確認での想 想型	定どおりでなかっ 理由 / 紅	でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった がなかった 一番 と現に貢献した された 日容(又は今後、こはその内容)	があったため。 -	的な内容・必要性で 度をできるである。 をを中でして では、 では、 を加・協働の程度 したという。 となった理由/期れ でなかった。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	○ 要 要 要 での
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	重度利用者の自線化 乗車度利用者の自線化 利用者の自接体の 動力を持たを技技を ●理 ● (理由) ■ 日本 ・	、	端な多動、パニックででは高が、パニックででは高が、パニックででは高が、パニックででは高かい。 いる いる には 実施 られている には 実施 られている をない が 定め られている のりまり に 変 別の 値 値 との 表別 の 値 値 とめ を が に との を が に とい を に とい を が に とい	・ 要に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ ままままます。 ・ ままままます。 ・ もまままます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	あり、	●②事前確認での想とした。 ●②事前確認での想とした。 ●②事前確認でもたいとした。 ●②ではままずには、「ではないです。」 ●③では、「ではないです。」 ●③では、「ではないでする。」 ●③では、「ではないです。」 ●③ではないではないです。 ●③ではないではないです。 ●③ではないではないです。 ●③ではないではないです。 ●③ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりでなか・ 理由/想定とおりでなか・ ではたけいののでは、 のなった。 を発生がないでは、 を発生がないでは、 を発生が確保では、 を発生がでは、 を発生がでは、 を発生がでは、 では、 を発生がでは、 を発生がでは、 を発生がでは、 を発生ができる。 ・ とのでをとのでをとのでをとのでをとのでをとのでをとのでをとのでをとのでをとのでを	でなかった原因> ため中止された研修: には実施できなかった。 がなかが一層 を現に貢献した。 された。 1容 (又は今後、 にはその内容)	があったため。 <	的な内容容・必要性でして を度するでは、 を選する影化する強化して 参加・協働の程度 したとより ・おいたとなった理由/期名 でなかった なかった原因〉	フティーネットとしることは市の役割では 最近の専門性を高め、 にいくことが求められ を ・内容	○●●のでは、「○●のでは、「○●のでは、「○●のでは、」では、「○●のでは、「○●のでは、」では、「○●のでは、」」では、「○●のでは、「○
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	重度利用者の自線化 利用者の自線化 利用者の自線化 利力を 利力を 利力を 通子の主統ので 通子の主統ので 通子の主統ので 通子の主義ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	、	端な多動、パニックマでは高的化がによるでは、	・ 要に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ 事実に基づき設定している ・ ままままます。 ・ ままままます。 ・ もまままます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	あり、	●②事前確認での想 想型 □②ます 世紀 は とした! 「思いている できない とした! 「思いている できない とした! 「記の市 できない とんだまで できない とした! 「記の市 できる できない とんだまで できない といい N P めない できない できない できない できない できない はんかい できない した 協働が いまない という はんしん はい はん	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりでなか・ 理由/想定が成のの、 のなけれことののはれるとののはれるとのではないでは、 に確保を基盤が確保。 は確保を基盤が確保。 はなり、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	でなかった原因> ため中止された研修: は実施できなかった。 がなかが一層 実現に貢献した。 された 1容(又は今後、 にはその内容) 1つ(2)目標標値達成 成達: (目標 2) した。 (国標を達すウィルめ。 (国) (1) の(1) の(1) の(1) の(1) の(1) の(1) の(1)	があったため。 - (本)	的な内容容・必要性でを を獲するでは、 を選する影化する強化して 参加・協働の程度 したとより ・おいましたと下 となった理由/期名 でなかった なかった原因〉 っため研修や施設階	フティーネット割でであることは市の役割の外割でである。 競員の専門性を高め、 にいくことが求められ で、内容 ・内容	○●●のでは、「○●のでは、「○●のでは、「○●のでは、」では、「○●のでは、「○●のでは、」では、「○●のでは、」」では、「○●のでは、「○
必要性参加·協働のH夫環境	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	重度利用者の自線化 利用者の自線化 利用者の自線化 利力を 利力を 利力を 通子の主統ので 通子の主統ので 通子の主統ので 通子の主義ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	端な多動、パニックででは高いパニックででは高いパニックででは高いパニックででは高い、パニックででは高い、パニックででは高い、パローでは、ア	●著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応設定でいく必要がに関連施設と連携を図り、施設支援の情報をして活を支える拠点となれるよう、市内施設全代をの他の内容> 「きている現状に早急に対応と選びいて安心に活を支える拠点となれるよう、市内施設全代をの他の内容> 「きての他の内容> 「までの他の内容> 「までの他の内容> 「までの他の内容> 「までの他の内容> 「はないのではないがいさい値ではないがいさい値ではない。ながいさい値ではない。ながいさいもではない。ながっさい場ではない。ながっさい値ではない。ながする場合、比較対象例における目標値(なるの対象が有る場合、比較対象例における目標値(なるの対策を活用 □⑤PFI等民間資料応 □⑥受益者負担	あり、	●②事前確認での想 想型コロナウにスパース N P と	定どおり 定どおりでなか・ 理由/想定どおりでなか・ 理由/想定が成のの、 のなけれことののはれるとののはれるとのではないでは、 に確保を基盤が確保。 は確保を基盤が確保。 はなり、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	でなかった原因> ため中止された研修: では実施できなかった がなかが一層 実現に貢献した された ②容(又は今後、にはその内容) ②② 目標標値達成 成 ・ (型型コレナウイル が。)	があったため。 「一大のである」 「「一大のである」 「「「一大のである」 「「一大のである」 「「「一大のである」 「「一大のである」 「「一大のでは、「一大のである」 「「一大のである」 「「一大のでは、「「一大のでは、「一大の	的な内容容・必要性でを を獲するでは、 を選する影化する強化して 参加・協働の程度 したとより ・おいましたと下 となった理由/期名 でなかった なかった原因〉 っため研修や施設階	フティーネット割でを おことは市の役割でき 競員の専門性を高め、 だいくことが求められ を を での交流が制限され 対策について	○●●のでは、「○●のでは、「○●のでは、「○●のでは、」では、「○●のでは、「○●のでは、」では、「○●のでは、」」では、「○●のでは、「○
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	重度利用者の自線化須提で振ります。 重度利用者の自線化須提で振ります。 重度利用者の自線化須提で振りに対した。 「理由」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	、では、 ・ では、 ・	端高を多動、パニックでできる。 「ハニックでできる。 では、	●著しいコミュニケーション障害を有する人にきている現状に早急に対応設定でいく必要がに関連施設と連携を図り、施設支援の情報をして活を支える拠点となれるよう、市内施設全代をの他の内容> 「きている現状に早急に対応と選びいて安心に活を支える拠点となれるよう、市内施設全代をの他の内容> 「きての他の内容> 「までの他の内容> 「までの他の内容> 「までの他の内容> 「までの他の内容> 「はないのではないがいさい値ではないがいさい値ではない。ながいさい値ではない。ながいさいもではない。ながっさい場ではない。ながっさい値ではない。ながする場合、比較対象例における目標値(なるの対象が有る場合、比較対象例における目標値(なるの対策を活用 □⑤PFI等民間資料応 □⑥受益者負担	あり、	●②事前確認での想 想型コロトロス! ②東方のを表 をとした! ②では、NP と	定どおり 定どおりでなか・理由/症状大のではなかっています。 理由を拡大 団体等性のでは、 のなけれことでは、 ではれたでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった。 がなかが一層 と現に貢献した。 された (又は今後、 にはその内容) (国督権権値、成の内容) (国督権権を達したが、)のでは、 (国権力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)	があったため。	的な内容・必要性でして 度接、高すのでは、 参加・協働の程度 たとという。 たととなった理由/期名 でなかった でなかった。 は、 のため、 のた	フティーネット割でを はない。 は最の専門性を高め、 にいくことが求められ でのない。 での交流が制限され が対策について でなかった	○ ● TOO Sudu NO ● TOO Sudu NO ● TOO Sudu NO ● TOO Sudu NO ● TOO
必要性参加・協働の工夫環境への配慮効	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	重度利用者の自線化須提で振ります。 重度利用者の自線化須提で振ります。 重度利用者の自線化須提で振りに対した。 「理由」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	端高な多動、パニックで書のは、	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あり、	●②事前確認での想 想型コロース・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定どおり 定どおりでなか・理由/起放大のなかりであからでは、 理恵・経験を発生を使います。 のなった。 ではれことでのもた。 にでは、 にで	でなかった原因> ため中止された研修。 では実施できなかった。 がなかが一層 と現に貢献した。 された (又は今後、 にはその内容) (国督権権値、成の内容) (国督権権を達したが、)のでは、 (国権力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、 (国力のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)のでは、)	があったため。	的な内容容・必要性セースを を選する整化セースを 変重する齢化を強化して 参加・協働の程度 したとと下 となった理由 / 期代 が以よりります。 でなかった ないった ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	フティーネット割でを はない。 は最の専門性を高め、 にいくことが求められ でのない。 での交流が制限され が対策について でなかった	○ ●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	重度利用者の自線化須提で提供を (本)	、では、 ・ では、 ・	端高な多動、パニックでできる。 は高な多動、パニックでできる。 は高な多動、パカーないでは、 は一点では、 は	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あり、	●②事前確認での想 想型コロトロス! ②東方のを表 をとした! ②では、NP と	定どおり 定どおりでなか・理由/起放大のなかりであからでは、 理恵・経験を発生を使います。 のなったでは、 ではれたでは、 ではれたでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でなかった原因> でなかった原因> ため中止された研修。 では実施った ではなかが一層 と現に貢献した された 1容(又は今後、 にはその内容) 1つ目標標値値未成でする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではでする。 ではできる。 ではでする。 ではできる。 ではではできる。 ではできる。	があったため。 -	的な内容等域では、 を表する強化してでは、 を表する強化してでは、 を表する強化してでは、 をおいなとない。 ないとという。 となっったには、 なかったには、 なかったには、 なかったには、 なかったには、 なかったには、 なかったには、 なかったには、 でなかったには、 でなかったには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	フティーカー として で	○ ●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか?	重度利用者の自線化須提で提供を (本)	・ では、	端高かいによって、ママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	おり、 は、	●②事前確認でした。 想型 □②によりとした。 想型 □②によりとした。 「良市が先さなどなりとののののののののののののののののののののののののののののののののののの	定どおりでなかい理由/起放力を対しています。 では、	でなかった原因> でなかった研修: では実施できなかった。 がなか及う貢献した。 をれた ②は実施できなかった。 ではなかが一層。 とれた ②は今後、とはその内容) ③②は一次の内容) ③②はできないった。 ②は今後、とはその内容) ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできるない。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ●○はたい。	があったため。	的な保護では、する。 のなななななななななない。 を選えるいでして、では、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでして、ない。 のない、はいいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	フティーネット割でを はない。 は最の専門性を高め、 にいくことが求められ でのない。 での交流が制限され が対策について でなかった	○ ●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	重度利用者の自線化須提で提供を (本)	・ では、	端高な多動、パニックマで書名の (1) による (1) によっている (1) によって	・ 要に基づき設定している現状に早急に対応記支援の情報をして、できている現状に早急に対応記支援の情報を関い、施設すり、施設する人の希望に基づいて安心とである。 本の他の内容 >	あり、	●②事前確認でした! 想型 □②事前ではとした! 想型 □② 見	定どおりでなか、 理惑という。 でという。 理惑をいるなか、 理惑をいるなか、 理惑をいるなどでは、 ではれているのれなどでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でなかった原因> でなかった原因> ため中止された研修・ では実施できなかった。 がなかみ 貢献 した された 28 (又は今後、こはその内容) 19 (型間標標値をよりにある。 19 (型間標準をよりにある。) (型になりである。 (型型になりである。) (型になりである。 (型型になりである。) (型になりである。 (型型になりである。) (型型になりである。) (型型になりでなりである。) (型型になりである。) (型型になりである。) (型型になりである。) (型型になりである。) (型型になりでなりでなりである。) (型性になりでなりでなりである。) (型性になりでなりでなりでなりですなりでする。) (型性になりでなりでなりでする。) (型性になりでする。) (型性になりでする。) (型性になりでなりでなりでなりでなりでする。) (型性になりでなりでなりでなりでなりでする。) (型性になりでなりでなりでなりでなりでする。) (型性になりでなりでなりでなりでなりでなりでなりでする。) (型性になりでなりでなりでなりでなりでなりでなりでする。) (型性になりでなりでなりでなりでなりでなりでな	があったため。 「本語ないでは、	的な保護では、する。 のなななななななななない。 を選えるいでして、では、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでして、ない。 のない、はいいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	フティーカー として で	○ ●
必要性参加·協働のH夫環境への配慮効率性	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	重度利用者の自線化 ・ 大橋 で	・ では、	端高な多動、パニックでできる。 「ニュースを表現している」を表現している。 「高及び障ったのでは、できないができないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あり、	●②事前確認でした。 想型 □②によりとした。 想型 □②によりとした。 「良市が先さなどなりとののののののののののののののののののののののののののののののののののの	定どおりでなかっ理由/組定どおりでなかっ理由/根定とおりでなかっ理由/根定とおりでなかっ理由/根定とおりでなかっていまった。 (本語 の 5 年	でなかった原因> でなかった研修: では実施できなかった。 がなか及う貢献した。 をれた ②は実施できなかった。 ではなかが一層。 とれた ②は今後、とはその内容) ③②は一次の内容) ③②はできないった。 ②は今後、とはその内容) ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできない。 ③②はできるない。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ③②はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ④○はたい。 ●○はたい。	があったため。	的な保護では、する。 のなななななななななない。 を選えるいでして、では、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでして、ない。 のない、はいいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	フティーカー として で	○●
必要性参加・協働の工夫環境への配慮 効率性 3.	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	重度利用者の自線化須提で持続できます。 重度利用者の自物化須提で持続です。 東利用名の上技を行政を整備の方線 ののでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	・ では、	端高かいによって、できない。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	おり、しては、	●②事前確認でした! 想型 □②事前ではとした! 想型 □② 見	定どおりでなか、 理惑という。 でという。 理惑をいるなか、 理惑をいるなか、 理惑をいるなどでは、 ではれているのれなどでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	でなかったでなかったでなかったのかでは、	があったため。 「本語を記載される」 「本語を記載される」 「本語を記載される」 「本語を記載される」 「本語を記載される」 「本語を記載される」 「本語を記載される。 「本語を記載される。」 「本語を記載される。 「本語を記載される。」 「本語を記載される。 「本語を記載される。」 「本語を記載される。 「本語を記載される。」 「本語を記載される。」 「本語を記載される。」 「本語を記載される。」 「本語を記載される。 「本語を記載される。」 「本語を記述される。」 「本語を記述	的な保護では、する。 のなななななななななない。 を選えるいでして、では、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでは、するでして、ない。 のない、はいいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	フティーカー として で	○●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3・	事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用) 事後評価 現状どおり推進 ●拡充 本事業は、重度重複障害者の	重度利用者の自線化 (現	・ では、	端高な多動、パニックでできる。 「ニックでできる。 「ニックでできる。 「ニックでできる。 「ニックでできる。 「こっくでできる。 「こっくできる。 「こっくできる。」 「こっくできる。 「こっくできる。」 「こっくできる。 「こっくできる。」 「	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あり、	●②事 で	定どおりでなかい。 理惑・ (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	のた でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなめった。 では実施った。 では実施った。 ではなか及 貢献 した には実施った。 ではなかる ではながら ではながらいではないではながらいではないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	があったため。 「本籍とは、「本語をは、」」 「本語をは、「本語をは、「本語をは、「本語をは、「本語をは、「本語をは、」」 「本語をは、「本語をは、「本語をは、「本語をは、」」 「本語をは、「本語をは、」」 「本語をは、「本語をは、「本語をは、」」 「本語をは、「本語をは、」」 「本語をは、」」 「本語をは、「本語をは、」」 「本語をは、、「本語をは、」」 「本語をは、、「本語をは、、」」 「本語をは、、「本語をは、」」 「本語をは、、」」 「本語をは、、」」 「本語をは、、「本語をは、、」」 「本語をは、、」」 「本語をは、、」 「本語をは、、」」 「本語をは、、」」 「本語をは、、」 「本語をは、、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、」 「本語をは、、、」 「本語をは、、、、、、 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	的なな情報では、する強いは、対している。 おりないないでは、対している。 おりないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	フティーカー として で	○ ●

				尹1	務事業評価	מארון אב	2年段)	,							
事業コード	439		課コード	0509	5	会計種別	一般会	計			予算0	の種類	□政策	■経常	□なし
1. 事業の概要(PLAN)															
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		基本事業 あらき	園運営事業				宇施計	画への							
	①事業名	個別事業 あらき	園利用者参加行事の	の充実			位置	づけ	•	有 〇無		②部課名	健康福祉音	部・あらき園	
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 Oそ(の他(回63年度 ~)	④対象地 ⑥担当職		□我孫子	□天王台	□湖北 6 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市 0.37 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	松市世典							(当 初)	;	3, 299 千円	(うち人件費		3,219 千円)	
	(人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(開	始)年度	(変更後)	;	3,277 千円	(うち人件費		3,219 千円)	
	⑧施策の位置づけ	かま 施策 コード	33303	重点プロジ への位置		重点なし	基本計画	画地区別 位置づけ	c)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
	施策目的・	あらき園と障害者		 . 一人ひとりのニーズにあっ	た施設サービスを提		容			、多様化してきて	いるニーズに			 交流を視野に入れ	れた日中活動の充
(2)目的	展開方向	、福祉の各機関と	。また、基幹施設。 の連携を強化しま ^っ	として、市内の障害者施設へ す。	の技術的支援を行う	とともに、保健、医	療事業	目的	実を目指す。						
		園外活動 施設交流会							・施設交流会	9月~12月)) (7月、11月)					
		我孫子市絵画展 ウルトラ運動会					当該:		・ウルトラ運						
(3)事業内容	内 容	年忘れ会 成人式							・年忘れ会(_
							当該:		行事参加者数	(延べ人数)			単位	想定值 人 思想信	
(4)達成目標(期待する成果)				 目標(期待する成果)			指標				標		単位	支 (5)現況値	(6)目標値
当該年度	利用者に見合った	:行事を実施すること	で、利用者や保護	者が楽しんで行事に参加する) 0		直	接	あらき園利用	者の参加率			%	0	100
令和 3年度	利用者に見合った	こ行事を実施すること	で、利用者や保護	者が楽しんで行事に参加する	0.0		直	接	あらき園利用	者の参加率			%		100
令和 4年度	利用者に見合った	:行事を実施すること	で、利用者や保護	者が楽しんで行事に参加する	0.0		直	接	あらき園利用	者の参加率			%	,	100
(7)事業実施上の課題と対応							代替案	を除計)有 ●無					
(バーディスルエの味感と対応		亚代01左连			A 10 0 fr de		100%	K1X01						In 1/2 #	
	政	平成31年度 	金額(千円)) <u>政</u> 内	令和 2年度	予算額(千円) 決算	額(千円) 政	ζ	内 3	和 3年度 	金額(千円)) 政	内	和 4年度 	金額(千円)
	策に福祉バス借用	燃料費		策 55 福祉バス借用燃料費		50	0	福祉バス	ス借用燃料費		Ę	策: 50 福祉バス	昔用燃料費		50
	有料道路・駐 施設入園料	車場使用料	-	19 有料道路・駐車場使月 10 施設入園料	用料	11 11	0	施設入		料	1	11 施設入園	・駐車場使用: 料	料	11
	費用弁償 普通旅費			0 普通旅費 13		8		普通旅	費			8 普通旅費			8
				有料道路・駐車場使用 施設入園料(3月補I		△11 △11	0								
(8) 施行事項															
費 用															
予算(決算)	額	合 計	9		<u>=</u>	58	0	<u> </u>	合 計		8	80	合 計		80
国庫支出金	110-22 1	0 % 0 %		0 補助率 0 補助率	0 % 0 %	0		補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	0
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率	0 %		0 充当率	0 %	0 58	0	充当率		0 %		0 充当率		0 %	0 80
その他の財換算人数(人		受益 □基金 □その他	0. 5	0 □特会 □受益 □基 52	基金 □その他	0 0.37	0 0.37	□特会	会 □受益 □基金	金 □その他	0.5		口受益 口基金	金 口その他	0, 52
(10) 人件費等 正職員人件 嘱託職員報酬	費		4, 5	76 0		3, 219 0	3, 219 0				4, 52	24			4, 524 0
臨時職員賃金 事業費(予算(決算)額+正職員人	額			0		0 3, 277	0 3, 219					0			4, 604
(11)単位費用 (事業費/活動結果指標)		57.69千円/人	1, 0.		. 56千円/人	5,277	0				1, 00				1, 00 1
2. 事業の評価(D0+Cl	IECK)														
評価項目															
計1111月日			事	前 評 価					事 後 評	価(評価結果に	応じ、改善案	薬検討(拡充も含	t))		改善検討
			題となってきてい	る中で、障害程度に関わらず	、障害者のより豊か		○①事前確認 ●②事前確認		どおり		応じ、改善案	ミ検討(拡充も含	t))		改善検討
(1)事業が今必要であるヨ	現するためには、 里由・		題となってきてい		、障害者のより豊か	Ľ	●②事前確認	での想定。	どおり どおりでなかっ	<i>t</i> =	応じ、改善案	尾検討(拡充も含	t))		〇要
	現するためには、 里由・		題となってきてい	る中で、障害程度に関わらず	*、障害者のより豊か	<	●②事前確認 想定どおりと	での想定。	どおり どおりでなかっ	たでなかった原因>	応じ、改善案	を検討(拡充も含	t))		
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要	現するためには、性) 切りのでは、	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等で	題となってきてい 事なども充実させ では実施できない	る中で、障害程度に関わらず	"、障害者のより豊か	(新	●②事前確認 想定どおりと 型コロナ対応 □①民間企業	での想定。 とした理由 なのため、 、NPO、	どおり どおりでなかっ 3/想定どおりて 行事参加を行れ 、市民団体等で	た でなかった原因> っなかった。 は実施できなかっ	た <市実施	画の具体的な内容	・必要性の理		○要●不要
(1)事業が今必要であるヨ	現するためには、 性性) の①民間企業、 (理由) □法令等 □提供当	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等で 等で市が実施すること と と と は が ない に が ない に に に に に に に に に に に に に	題となってきてい 事なども充実させ では実施できない	る中で、障害程度に関わらず ることが求められている。	"、障害者のより豊か	新	●②事前確認 想定どおりと 型コロナ対応 □①民間企業 ■②市が主導 □③市が先導	での想定 とした理由 なのため、 、NPO、 で進めない 役となった	どおり どおりでなかっ 3/想定どおりて 行事参加を行わ	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ なかった。	た <市実施		・必要性の理		○要●不要
(1)事業が今必要であるE 背景は?(事業の必要 必 要 性 (2)市が実施する必要性I	現するためには、性性・ ○①民間企業、 (理由) □法令等 □提供当	通常の支援以外の行い NPO、市民団体等で 等で市が実施すること と体が市しかない も	題となってきてい、 事なども充実させ では実施できない が定められている	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。 <その他の内容>	"、障害者のより豊か	(●②事前確認 想定どおりと 型コロナ対応 □①民間企業 ■②市が先き導 促進の支援。	での想定 とした理由 、 、 、 、 、 で と い と 、 で と と 、 で と な の た り 、 に で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、	どおりでなかっ コ/想定どおりて 行事参加を行れ 、市民団気効・展 ければ実が市民へ たことで・標の実	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ なかった 普及が一層	た <市実施 市が主導	画の具体的な内容	・必要性の理		○要 ●不要
(1)事業が今必要である5背景は?(事業の必要	理由・ 性性) O①民間企業、 (理由) □法令。 □提供: □その析 (型自) □市が当	通常の支援以外の行います。 市民団体等で をですが実施すること となが市しかない も あ市が推進すべきでま	題となってきてい。 事なども充実させ、 では実施できない が定められている り実効性が得られ	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	"、障害者のより豊か	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定 どおりと 型コロナ対応 ■②市が先さ にのサービス ●③サービス ●③サービス	での想定。 とした理由、 、のため、 、で後と 、で後なった が準が準が準確に が、本種に	どおりでなかっ コ/想定どおりて 行事参加を行れ 、市民団気効・展 ければ実が市民へ たことで・標の実	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施 市が主導	画の具体的な内容	・必要性の理		●不要
(1)事業が今必要である5 背景は?(事業の必要 必 要 性 (2)市が実施する必要性(あるか?	理由・ 性性	通常の支援以外の行います。 NPO、市民団体等で等で市が実施することにはが市しかない も も も も も も も も も	題となってきていますなども充実させていますなども充実させいでは実施できないが定められているのようないでは、まり、良質で安定しより、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまり、良質で安定しまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまり	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	。、障害者のより豊か	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定どおりと 型コロナ対応 ②1の目間が見い のでである。 ●②市が先さ援 のである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での想定したが、での想定したした。 ・でのたりでは、ででいるでは、でのでいる。 ・でのでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、できないでは、できないできない。	どおりでなかっ どおりでなかっ イ想定どおりて 行事参加を行れ、市民団体等性がたったことで、 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施 市が主導	画の具体的な内容	・必要性の理		○要 ●不要 を現で
(1)事業が今必要である5 背景は?(事業の必要 必 要 性 (2)市が実施する必要性(あるか?	理由・ 性性)	通常の支援以外の行います。 市民団体等で等で市が実施することになが市しかないもの市が推進すべきであまりで進機はあることによりで、 大塚することによりで、 できない など はいまい ない はい ない はい はい ない はい	題となってきていますなども充実させていますなども充実させいでは実施できないが定められているのようないでは、まり、良質で安定しより、良質で安定	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	"、障害者のより豊か	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定どおりと 型コロナ対応 ■②市が先さ に のいで、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	での想定したが、での想定したした。 ・でのたりでは、ででいるでは、でのでいる。 ・でのでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、でいるでは、できないでは、できないできない。	どおりでなかっ どおりでなかっ イ想定どおりて 行事参加を行れ、市民団体等性がたったことで、 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した	た <市実施 市が主導	画の具体的な内容	・必要性の理		○要 ●不要 を現で
(1)事業が今必要である5 背景は?(事業の必要 必 要 性 (2)市が実施する必要性(あるか?	理由・ 性性) ②①民間企業、(理由) □法令等 □提供 □ その析 は ■ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1	通常の支援以外の行います。 市民団体等で等で市が実施することになが市しかないもの市が推進すべきであまりで進機はあることによりで、 大塚することによりで、 できない など はいまい ない はい ない はい はい ない はい	題となってきてい。 事なども充実させ、 では実施できない。 が定められている り実効性が得られより、、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	。、障害者のより豊か ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(新 ((((((((((((((((((●②事前 はいい はいかい はいかい はいかい まま はいかい まま はいかい まま はいかい まま はいかい まま はいかい まま はいかい はいかい	での想定にしたいのでは、で後となっているとなっているとなっているとなっているとなっているとなっているとなっているとなっているとなっているというというというというというというというというというというというというというと	どおりのでなかっては、1人想定どがありのでなかり、1人想定とがあり、1人間では、1人には、1人には、1人には、1人には、1人には、1人には、1人には、1人に	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市が主導	極の具体的な内容 算で進めることで	・必要性の理	かな地域生活を見	○要 ●不要 を現で
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 必要 性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	理由・ 性性) ②①民間企業、(理由) □法令等 □提供 □ その析 ③②自治体であが □ 申市が り サード □ 市が リート □ □ 市が 男現 □ その析 ○①事業計画時	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等で 等で市が実施すること: 上体が市しかない る市が推進すべきであ と障心・提供することによ に能・提供証される 支援することにより政が図られる	題となってきてい。 事なども充実させ、 では実施できない。 が定められている り実効性が得られより、、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定により対対 型つの目間ががきまり対対 乗さまり対対 業導導れ: ■②の作性のものののでである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での想定。 にしたたい にで役たが水の と を協考え を協考え を協考え	どおりでなかっつコノ想定というではなりでなかっつっておりて有事を関する。 行事を関するではなっています。 ではないではないではないではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないないでは、 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にはないないないないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> つなかった。 は実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市が主導 きる。	極の具体的な内容 算で進めることで	・必要性の理 、障害者の豊 協働の程度・F	かな地域生活を見	○要 ●不要 を現で
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 必要 性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ に	通常の支援以外の行います。 市民団体等で をで市が実施することに 体が市しかない も る市が推進すべきであま導で進めることにより を できている といる といる といる といる といる といる といる といる といる と	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定により対対 想定により対対 (全事) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	での想定。 にしたたい にで役たが水の と を協考え を協考え を協考え	どおりでなかっつコノ想定というではなりでなかっつっておりて有事を関する。 行事を関するではなっています。 ではないではないではないではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないないでは、 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にはないないないないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> っなかった。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市が主導 きる。	近の具体的な内容 算で進めることで 参加・1 初期待した以上	・必要性の理 、障害者の豊 協働の程度・F	かな地域生活を見	○要 ●不要 を現で
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 必要 性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ に	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等で をで市が実施することに を体が市しかない る市が推進することにとに を施・提供証さとにより を提びするれる を提びするれる を加・協働の内容 に市民の参画有り に市民の参と連携してして	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定により対対 想定により対対 (全事) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	での想定。 にしたたい にで役たが水の と を協考え を協考え を協考え	どおりでなかっつコノ想定というではなりでなかっつっておりて有事を関する。 行事を関するではなっています。 ではないではないではないではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないないでは、 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にはないないないないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> っなかった。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 市が主導きる。	画の具体的な内容 で進めることで 参加・† 初期待した以上 初期待したとおり	・必要性の理 、障害者の豊 協働の程度・「 理由/期待以	内容 下であった原因〉	● 要要 ● 不要 ● 不要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 必要 性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (通常の支援以外の行所を関係を表しています。 市民団体等でをでいます。 一郎	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定により対対 想定により対対 (全事) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	での想定。 にしたたい にで役たが水の と を協考え を協考え を協考え	どおりでなかっつコノ想定というではなりでなかっつっておりて有事を関する。 行事を関するではなっています。 ではないではないではないではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないないでは、 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にはないないないないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> っなかった。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た < 市実施導 市が主き きる。 〇①当当 「製型コー 「製型コー	の具体的な内容 で進めることで 初期待した以上 初期待したとより 初期待したとより	・必要性の理 障害者の豊 協働の程度・「 理由/期待以 幹拡大防止の	内容 下であった原因〉	● 要要 ● 不要 ● 不要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 必要性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (世界) □	通常の支援以外の行所を関係を表しています。 市民団体等でをでいます。 一郎	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容	(新 ((((((((((((((((((●②事前確認 想定により対対 想定により対対 (全事) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	での想定。 にしたたい にで役たが水の と を協考え を協考え を協考え	どおりでなかっつコノ想定というではなりでなかっつっておりて有事を関する。 行事を関するではなっています。 ではないではないではないではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないないでは、 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にはないないないないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> っなかった。 は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた	た < 市実施導 市が主き きる。 〇①当当 「製型コー 「製型コー	をの具体的な内容で進めることで ************************************	・必要性の理 障害者の豊 協働の程度・「 理由/期待以 幹拡大防止の	内容 下であった原因〉	○要 ●不要 ●不要 ○要 ●不要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 必要 性 (2)市が実施する必要性(あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等で 等で市が実施することに を体が市しかない る市が推進することに と導応・提供するこる ととにとに ことが図られるより政 参加・協働の内容 に市市民の参 画面有り に市市民の動と連施 にに市安、の参画画有り ににおまり で事業を実施	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容	() (● ②事 前 が ます 前 が ます 対 が ま す が ま す が ま す が ま す で ま す が ま す で で ま で す で で で で で で で で で で で で で	での想を にたい N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と のなっ ・確供 にでの が成の が成の での がの のの のの のの のので のので のので のの	どおりでなかっつコノ想定というではなりでなかっつっておりて有事を関する。 行事を関するではなっています。 ではないではないではないではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないでは、 にないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないでは、 にないないないないないでは、 にないないないないないない。 にないないないないないないない。 にはないないないないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないない。 これないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因〉 つなかった。 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた を(又は今後、 まその内容) こめ、行事が中止と	た	をの具体的な内容で進めることでで進めることで 初期待したと以上 初期待したとおり 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった。 カンティアの参加	・必要性の理 障害者の豊 協働の程度・「 理由/期待以 幹拡大防止の	内容 下であった原因〉	○要 ●不要 ●不要 ○要 ●不要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (型事業理理の (型事業理理の (型事業理理の (型事業理理の (型事業) (型の) (型事業) (型の) (型の) (型の) (型の) (型の) (型の) (型の) (型の	通常の支援以外の行所を関することに対している。 NPO、市民団体等でいるである。 を連びいました。 をでは、とことにはいるでは、とことには、ののでは、とことには、ののでは、のののののののののののののののののののののののののののののののの	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して	() (●②事前確認 想定により対対 想定により対対 (全事) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	での想を にたい N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と のなっ ・確供 にでの が成の が成の での がの のの のの のの のので のので のので のの	どおり でなかっ コノ想定 だお事 まで にけた にない にない にない にない にない にない にない にない	たでなかった原因〉 つなかった。 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた を(又は今後、 まその内容) こめ、行事が中止と	た	を加・t 初期待したとより 初期待したとおり 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった。 カンティアの参加	・必要性の理 、障害者の豊	内容 下であった原因〉	● 要要 ● 不要 ● 不要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (型元 (理由) □ (型元 (国元 (国) (国元 (国) (通常の支援以外の行所を関することに対している。 NPO、市民団体等でいるである。 を連びいました。 をでは、とことにはいるでは、とことには、ののでは、とことには、ののでは、のののののののののののののののののののののののののののののののの	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して	() (●②事前 が ます 前 が ます 対 が ます 対 が ま す が ま す が ま す が ま す で ま す が ま す で ま ず す が ま す で ま で す で ま で か い か け で で の の の の の か け つ イ で す で か い か け つ イ で ま を か か す す す か い か い か い か い か い か い か い か	での想を にたい N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と のなっ ・確供 にでの が成の が成の での がの のの のの のの のので のので のので のの	どおり でなかっ コノ想定 だお事 まで にけた にない にない にない にない にない にない にない にない	たでなかった原因〉 つなかった。 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた を(又は今後、 まその内容) こめ、行事が中止と	た	をの具体的な内容で進めることで 参加・ t 初期待した以上 お初初期待したと おり 初初の期待はなった感力 ナウィアの参加 環定 どおり	・必要性の理 な な 動の程度・「 理由/期待 いった。 境への配慮 た	内容 下であった原因〉	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (世界) □	通常の支援以外の行所を表している。 NPO、市底団団ないのである。 「中で市が市したのでである。」である。 「中で市が推進の供配された。」である。 「中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して	() (●②事前 が ます 前 が ます 対 が ます 対 が ま す が ま す が ま す が ま す で ま す が ま す で ま ず す が ま す で ま で す で ま で か い か け で で の の の の の か け つ イ で す で か い か け つ イ で ま を か か す す す か い か い か い か い か い か い か い か	での想を にたい N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と のなっ ・確供 にでの が成の が成の での がの のの のの のの のので のので のので のの	どおり でなかっ コノ想定 だお事 まで にけた にない にない にない にない にない にない にない にない	たでなかった原因〉 つなかった。 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた を(又は今後、 まその内容) こめ、行事が中止と	た	をの具体的な内容で進めることでで進めることでで進めることで初期待したとおりではなった。以上となった。コナウイルスの参加では、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	・必要性の理 な な 動の程度・「 理由/期待 いった。 境への配慮 た	内容 下であった原因〉	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要 する
(1)事業が今必要である3 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協工(体制づくり)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (型元 (理由) □ (型元 (国元 (国) (国元 (国) (通常の支援以外の行所を表している。 NPO、市底団団ないのである。 「中で市が市したのでである。」である。 「中で市が推進の供配された。」である。 「中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して	() (●②事前 が ます 前 が ます 対 が ます 対 が ま す が ま す が ま す が ま す で ま す が ま す で ま ず す が ま す で ま で す で ま で か い か け で で の の の の の か け つ イ で す で か い か け つ イ で ま を か か す す す か い か い か い か い か い か い か い か	での想を にたい N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と のなっ ・確供 にでの が成の が成の での がの のの のの のの のので のので のので のの	どおり でなかっ コノ想定 だお事 まで にけた にない にない にない にない にない にない にない にない	たでなかった原因〉 つなかった。 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた を(又は今後、 まその内容) こめ、行事が中止と	た	をの具体的な内容で進めることでで進めることでで進めることで初期待したとおりではなった。以上となった。コナウイルスの参加では、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	・必要性の理 な な 動の程度・「 理由/期待 いった。 境への配慮 た	内容 下であった原因〉	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由	通常の支援以外の行所を表している。 NPO、市底団団ないのである。 「中で市が市したのでである。」である。 「中で市が推進の供配された。」である。 「中では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	題となってきてい。 事なども充実させ、 は実施できない。 が定められている り実効性が得られより、良質で安定 策・施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	夫の具体的な内容 力を得ながら実施して 取組む内容	() (●②事前 おナ 前 が 進 で いっぱい で いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい	での想を にたい N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と で役たが水の N進と のなっ ・確供 にでの が成の が成の での がの のの のの のの のので のので のので のの	どおりでなかっつい。 オース 想象を はいます。 ではないます。 ではないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	たでなかった原因> っなかった。 は実施できなかっ ないかった 現に貢献した れた	た	をの具体的な内容で進めることでで進めることでで進めることで初期待したとおりではなった。以上となった。コナウイルスの参加では、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	・必要性の理 な な 動の程度・「 理由/期待 いった。 境への配慮 た	内容 下であった原因〉	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性) ホモ夫につるがである。 (市実施の必要性) な要性(とのなるとのなる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (2年) (2年) (2年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4	通常の支援以外の行所を表している。	題となってきていますという。 は実施できない か定められている りょう 、 良質で安定 サール が定められている りょう、 良質で安定 策・ 施策の目標の	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 取組む内容	(新 ((((((((((((((((((●②事前 おナ 前 が 進 で いっぱい で いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい	で い で と た た に の に た の に た の に た の に た の に た の に た の に の の に の の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	どおり でなかっつ では が かっつ でなから り でなから り でなから り でなから り でなから り でなから です できた	た でなかった原因〉 っなかった。 は実施できなかっ ななかった 普及が一層 現に貢献した れた	た	をの具体的な内容で進めることでの進めることでの進めることでの進めることでの地域を した以上 お初期 明神 したと 下 した した と なった 感力 ティアの参加 環定 どおり でなかった ぎおり でなかった ぎおり でなかった ぎおり でなかった ぎおり でなかった ぎおり でなかった ぎょう	・必要性の理・「 のをできます。 のをできます。 のをできます。 のをできます。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	内容 下であった原因〉	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 ■ ○ ■ ○ ■ ○ ■ ○ ■
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性)	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (2年) (2年) (2年) (3年) (3年) (3年) (3年) (3年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4	通常の支援以外の行所を表している。	題となってきていますという。 本は実施できない。 ないには実施できない。 ないにはまたは、または、または、または、または、または、または、または、または、または	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 【 養録ボランティアの協力 を録が、アアの協力 を受いまする。 「一タ・事実に基づき設定して、 を実現性が乏しい値ではない。 をがいい値ではない。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 取組む内容 でいる	が (((((((((((((((((((● ② 事 前 が ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	で い で と た た に の に た の に た の に た の に た の に た の に た の に の の に の の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかって コ/ヤ事とという。 オのではなりではないできた。 ボールでは、 はたにないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	た でなかった原因 > つなかった。 は実施できなかった。 は実施できるかった	た	をの具体的な内容で進めることでで進めることでで進めることで初期待したとおりではなった。以上となった。コナウイルスの参加では、カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	・必要性の理豊・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因〉	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性) ホモ夫につるがである。 (市実施の必要性) な要性(とのなるとのなる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (本市でががりた。 (理由) □ (本市市・が現かれる。 (理由) □ (本市市・が現かれる。 (理由) □ (本市市・が現かれる。 (理由) □ (本市市・が現かれる。 (主事業単年の長の他の内では、では、ののでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等と 特で市が市した。 「中で市が推進すべきではという。 「中で市が推進がません。 「中でががせからでする。 「中ではないないである。」 「中ではないないである。」 「中ではないないである。」 「中ではないないである。」 「中ではないないである。」 「中ではないないる。」 「中ではないないないない。」 「中ではないないないないないないない。」 「中ではないないないないないないないないないない。」 「中ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	題となってきていますととども充実させ、 は実施できない。 が定められている のののでは、 ののでは、 のののでは、 ののでは、 のので	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 取組む内容 でいる いい 別における目標値(と3	が (((((((((((((((((((● ② 東	で At a 、 で役たが水の 容 参協 n n n n n n n n n n n n n n n n n n	どおり でなかっつ では がい かっつ でなかり でなかり でなかり でなかり でなかり でなかり でなかり でなかり	た でなかった原因 > つなかった。 は実施できなかった。 は実施できなかった	た	をの具体的な内容で 参加・1 初期特ししたと下 が取り待したと下 がファイアの参加 定とどおりりでなかった。 では参加 成となる行わなかった。	・必要性の理豊 の理由/期待上の はなかった。	内容 下であった原因ン 下ため、行事が中』	● ● ■ ● ■ ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
(1)事業が今必要であるま 背景は?(事業の必要 背景は?(事業の必要 性 (2)市が実施する必要性! あるか? (市実施の必要性) ホモ夫につるがである。 (市実施の必要性) な要性(とのなるとのなる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	理由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (本市市) (可能力) □ (平本) (可能力) □ (平本) (可能力) □ (平本) (可能力) □ (平本) (可能) □ (平本) (可能) (可能) (可能) (可能) (可能) (可能) (可能) (可能	通常のを接触がある。 NPO 、	題となられてきませんでは、 ではまた では、 ではまた では、 ではまた では、 ではまた では、	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して かを得ながら実施して のチェック ている か 別における目標値(と) 対策 国⑤ P F I 等民間資本	(●②事 が は り は で が は り は で が は り り は で い か が ま す が は ち ナ か で 主 き ず い か が 業 導 導 れ 援 ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	で Alto Cで役たが水の Po 参協 N A を協 N A を	どおり で	た でなかった原因〉 っなかった。 はなかった。 はなかった。 はなかのが一層 現にたった。 れた 図(の内事が中止) の(の) 目目標準に対対策定と が(の) の(の) は標本では、した の(の) はなった。 はな今後、 はなった。	た	を の 具体的な内容で	・必障性の理要性の理要性のの程度・「理染もなかった。 関連があった。 という ことがあった。 という ことがあった。 という ことがあった。 という ことがらいる ことがらいえる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことがらいる ことが	内容 下であった原因ン ため、行事が中」 策について	● ● ■ ● ■ ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
び 要 性 (2) 市が実施する必要性(1) 市場から必要性(2) 市が実施する必要性(1) 市場の必要性(1) 市場の必要性(1) 市民の参びの必要性(1) 市民の参びの必要性(1) 日標といるが、(1) 日標設定は適切が?	田由・ 現するためには、 (理由) □ ○① 民間 □ □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	通常のを持ている。 NPO、市民団団体等で 手で市が市しかない。 「中で市が市しかない。 「中で市が市しかない。 「中で市が市しかない。」 「中でで提供できる。 「中でで提供できる。」 「中でではないない。」 「中でではないない。」 「中ではないない。」 「中ではないないない。」 「中ではないないないない。」 「中ではないないないない。」 「中ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	題となられてきます。 では実施でれている いまり には実施でれている いまり には実施をいる のの は では で	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 取組む内容 のチェック でいる い 別における目標値(と3 対策	(● ② 製型 □ ② () () () () () () () () () (で Alto Cで役たが水の Po 参協 N A を協 N A を	どおり でなかっつ は	た でなかった原因〉 つなかった。 は実施かた できなかった を まかった	た	あの具体的な内容で 参加・1 初期特ししたと下 初初の以上といった感加 たとマークシーティアの参加 定とどおりりでなかった。 ではかったのでは、 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因) 下ため、行事が中」	Q 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要である要性 (2)市が実施する必要性((2)市が実施する必要性((2)市が実施の必要性((1)市ある実施の必要性((4)市のの協力を表別である。 (4)事業を進場であるが、 (4)事業を進いるが、 (5)事業業を進いるが、 (6)事業を進いるが、 (7)事業を進いるが、 (8)事業を進いるが、 (8)事業を進いるが、 (9)事業を進いるが、 (1)目標設定は適切が?	田由・ 現するためには、	通常のを接触がある。 NPO 、	題となられています。 ではまた では、	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 力を得ながら実施して 取組む内容 のチェック Cい 別における目標値(と) 対策 1⑤P手番負担	() () () () () () () () () ()	●②事 が は り は で が は り は で が は り り は で い か が ま す が は ち ナ か で 主 き ず い か が 業 導 導 れ 援 ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	で Alta 、Cで役たが水の Pa 参協イルスの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介の Pa を Pa	どおり で	た でなかった原因〉 っなかった。 はなかった。 はなかった。 はなかのが一層 現にたった。 れた 図(の内事が中止) の(の) 目目標準に対対策定と が(の) の(の) は標本では、した の(の) はなった。 はな今後、 はなった。	た	を の 具体的な内容で	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因) 下ため、行事が中」	● ● ■ ● ■ ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
(1)事業が今必要である事業の必要性は、(2)市が実施する必要性は、(2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おこれが実施する必要性はある。(市実施の必要性) おこれが実施する必要性はあるか? (本制づくり) は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」では、「は、「は、」」では、「は、「は、「は、」」であるが、「は、「は、「は、」」である。 は、「は、「は、「は、」」である。 は、「は、「は、「は、」」である。 は、「は、「は、」」である。 は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は	田由・ 現するためには、 (理由) □ ○ ① 良間 □ □ □ ○ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ③ □ ○ ○ ② ② ③ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等で 等で市が市した。 を である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	題本なども充生といいるのでは、 は実めのは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないののでは、 はないのではないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのではないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのではないのでは、 はないのでは、 はないのではないのでは、 はないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないので	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 力を得ながら実施して 取組む内容 のチェック Cい 別における目標値(と) 対策 1⑤P手番負担	() () () () () () () () () ()	●②事 が は り が	で Alta 、Cで役たが水の Pa 参協イルスの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介の Pa を Pa	どおり でなかっつ は	た でなかった原因〉 っなかった。 はなかった。 はなかった。 はなかのが一層 現にたった。 れた 図(の内事が中止) の(の) 目目標準に対対策定と が(の) の(の) は標本では、した の(の) はなった。 はな今後、 はなった。	た	あの具体的な内容で 参加・1 初期特ししたと下 初初の以上といった感加 たとマークシーティアの参加 定とどおりりでなかった。 ではかったのでは、 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容 下であった原因) 下ため、行事が中」	実現で ○● 要不要要要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要である要性 (2)市が実施する必要性((2)市が実施する必要性((2)市が実施の必要性((1)市ある実施の必要性((4)市のの協力を表別である。 (4)事業を進場であるが、 (4)事業を進いるが、 (5)事業業を進いるが、 (6)事業を進いるが、 (7)事業を進いるが、 (8)事業を進いるが、 (8)事業を進いるが、 (9)事業を進いるが、 (1)目標設定は適切が?	田由・ 現するためには、 (理由) □ ○ ① 良間 □ □ □ ○ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ③ □ ○ ○ ② ② ③ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	通常の支援以外の行 NPO、市民団体等と 特で市が市の大変かかった。 をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	題本なども充生といいるのでは、 は実めのは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないいるのでは、 はないののでは、 はないのではないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのではないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのでは、 はないのではないのでは、 はないのでは、 はないのではないのでは、 はないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないので	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 力を得ながら実施して 取組む内容 のチェック Cい 別における目標値(と) 対策 1⑤P手番負担	() () () () () () () () () ()	●②事 が は り が	で Alta 、Cで役たが水の Pa 参協イルスの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介ルスのの Pa を協介の Pa を Pa	どおり でなかっつ は	た でなかった原。 はなかった。 はなかった。 はまかった。 はまかかった。 できなかった。 できなかった。 できなかが 献 した は実かかが 献 した (又内内事が中止なる) (1) (1) (1) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	た	を の 具体的 な 内容で	・必障性の理要性の理要性をの理験をはなかのでは、 ののでは、	大容 下ため、行事が中山 でかった 下ため であった 下ため であって なかった 「なかった 「なかった」 「なかった 「なかった 「なかった」 「ながった 「なかった」 「ながった 「なかった」 「ながった」 「ながっ	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要
び 要性 (2) 市が実施する必要性(2) 市が実施の必要性(2) 市が実施の必要性(3) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業者か? (2) 事業者か? (3) 目標値を実現する為) 事業者か? (3) 目標値を実現する為) 目標値をといるが (3) 目標値をといる (4) 目標は (3) 目標値をといる (4) 目標は (4) 目標は (5) 目標は (5) 目標は (5) 目標は (6) 目標は (6) 目標は (6) 目標は (6) 目標は (7) 目	田由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (型)	通常の支援以外の行所を持ち、	題本なども充まされている。 は実めらる。よりは、策・・施策のの性が質のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して 取組む内容 のチェック てい 別における目標値(と3) 対策 コ⑤PFI等民間資本 コ⑦その他	(でいる。) 新っぱ (でいる。) オップ (でいる。) オッ	● ②	で Alta 、で役たが水の Pa 参協イル 実施 Lata 、で役たが水の Pa 参協イルス 実施 Lata 、Cで役たが水の Pa 参協イルス 実施 Lata 、Cota 、で役たが水の Pa 参協イルス の Ma を Lata 、Cota 、で役たが水の Pa 参協イルス の Ma を Lata 、Cota 、Fi で役たが水の Pa 参協イルス の Ma を Lata 、Cota 、Fi で役たが水の Pa 参協イルス の Ma を Lata 、Cota 、Cot	どおりでなかっつ 1/1 表 1/2 表 1/2 まり でなかっつ 1/2 表 1/2 まり でなから 1/2 表 1/2 まで 1/2 ま	た でなかった原。	た	あの具体的な内容で 参加・1 初期特ししたと下 初初の以上といった感加 たとマークシーティアの参加 定とどおりりでなかった。 ではかったのでは、 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。 でなかった。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大容 下ため 大容 下ため 、 行事が中」	実現で● 要不要要● 要不要要● 要不要要● 要不要要● 要不要要● 要不要要● 要不要要
(1)事業が今必要である要性 (2)市が実施する必要性((2)市が実施する必要性((2)市が実施の必要性((1)市のの協力 ((1))))) ((本)・(本)・(本)・(本)・(本)・(本)・(本)・(本)・(本)・(本)	田由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (型)	通常の支援以外の行 NPO、実施ない。 「特にないない。」 「はいいるのでです。 「はいいるのです。 「はいいるでは、していいるでは、していいるでは、していいるでは、していいるでは、していいるでは、していいるのです。 「はいいるでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	題をなられてきます。 ではまない ではまない ではまない ではまない ではまない ではまない ではまない ではまない ではな ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではな	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。	大の具体的な内容 力を得ながら実施して かを得ながら実施して かから実施して カを得ながら実施して カを得ながら実施して フェック てい、別における目標値(と3 対策 1等長間資本 10でのである他	(マイン) (マイン	● ② 東	で Alto 、で役たが水の P 参協 N 東	どおりでなかっつ 1/1	た でなかった原因〉 つなかった。 はなかった。 はなかった。 はなかのできなかった。 環かのが、献した れた 図(のの下事が中止な をよる) 「自程 標 コ 思概を定す。 「自理 に対す。 では、	た	あり ありで進めることでで 参加・1 初初初の以上にたい かししたと下った感加 はしたと下った感加 をどおりのでなかった。 できながかった。 できながった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながかった。 できながからながかった。 できながからながからながからながからながからながからながからながからながからながから	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大容 下ため 大容 下ため 、 行事が中」	● ● ▼ 要 要 要 要 要 要 要
(1)事業が今必要である要である要である要性 (2)市が実施でする必要性 (2)市が実施の必要性 (2)市がまかって、(市実施ののでは、)のでは、(4)市立のでは、(4)のでは、(4)のでは、(4)のでは、(4)のでは、(5	田由・ 現するためには、	通常の支援以外の行所を持ち、	題本なども充まされている。 は実めらる。よりは、策・・施策のの性が質のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	る中で、障害程度に関わらずることが求められている。 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 【大字・現性のできるしたとが表がまが直にない。 「一字・現性がであるとない。場合、比較対象が有った。」 「対象が有るとない。」 「制度活用している場合、といる場合、といる場合、といる場合、といる場合、といる場合、といる場合、といるできるといる。 「制度活用している場合、といるできる。」 「制度活用している場合、といるできる。」 「制度活用している場合、といるできる。」 「一〇単年度の指標・目標値のできることが求める」 「一〇単年度の指標・目標値のできることが求めらずる。」	大の具体的な内容 力を得ながら実施して かを得ながら実施して かから実施して カを得ながら実施して カを得ながら実施して フェック てい、別における目標値(と3 対策 1等長間資本 10でのである他	(マイン) (マイン	● ②	で Alto 、で役たが水の P 参協 N 東	どおり でなかっつ では おりでなから 1/4 思 かっつ では 1/4 思 かっつ では 1/4 に	た でなかった原。	た	あります。 あります。 あります。 あります。 あります。 あります。 あいます。 はいます。 あいます。 あいます。 あいます。 はいます。 あいます。 はいます。 あいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大容 下ため 大容 下ため 、 行事が中」	Q●要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更
(1)事業が今今必要性 (2)市が実施する必要性 (2)市が実施の必要性 (2)市が実施の必要性 (2)市が実施の必要性 (3)目標は (1)目標 設定は 適切か? (1)目標 設定は 適切か? (2)事業か? (3)目標は (4) との配慮 (3)目標は (5) を変換 (5) を変換 (6) を変換 (6) を変換 (7) をがられている。 (3) 目標は (6) を変換 (7) を変	田由・ 現するためには、 (理由) □ (理由) □ (理由) □ (理由) □ (国位	通常の支援以外の行所を持ちている。 NPPの、市民団体等でによって、大きに体ができる。 「特で市が推進のようないとととはない。」 「おります」をはない。 「おります」をはない。 「おります」をはない。 「おります」をはない。 「おります」をはない。 「おります」をはない。 「おります」をはない。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないる。 「ないるいる。 「ないるいる。「ないるいる。」 「ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	題をなられてきます。 ではまない ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた では では では できない できる りょり ・ 施策 のの 性質 のの 目の では では できる では できる	ることが求められている。 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 【一タ・事実に基づき設定して、 を選別性が値ではない。 を対象が有る場合、比較対象の を対象がある 実施予定の対応である 実施予定の対応である 実施予定の対応 の削減策の実施 【日記録を表現して、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大の具体的な内容 力を得ながら実施して かを得ながら実施して かので かので かので がいいので 対策 1⑤ P F 本 ま 負担 1⑦ その他 計算費用単位/事業費用 環値 - 現況(値) × 費用	() () () () () () () () () ()	● ② 東	で Alto 、で役たが水の P 参協 N 東	どおりでなかっつ 1/1	た でなかった原。	た	あります。 あります。 あります。 あります。 あります。 あります。 あいます。 はいます。 あいます。 あいます。 あいます。 はいます。 あいます。 はいます。 あいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。 はなな。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大容 下ため 大容 下ため 、 行事が中」	Q要要要要要要要要要要要要要要要要AとなQ● 要要要要要要要要要要要要要Q● のののののののののののののののののののののののののののののののののののの
び 要性 (2) 市が実施でする必要性にある。実施のの必要性にある。実施のの必要性にある。実施ののでする。実施ののでする。のでは、(2) 市がより、(4) 市工(体制では、(4) 日標には適切ができままして、(5) 日標には適切ができまままして。 (1) 日標設定はは適切ができままます。 (2) 事はののには、(1) 日標設定はは適切ができままます。 (3) 日標はできままます。 (3) 日標はできままます。 (3) 日標設定は標準である。 (4) 日標設定はは適切ができまます。 (5) 日標設定はは適切ができまます。 (5) 日標設定はは適切ができまます。 (5) 日標設定はは適切ができまます。 (5) 日標設定はは適切ができままます。 (5) 日標設定はは、(5) 日標設定は、(5) 日報に、(5) 日報に、(5	田由・ 現するためには、 (理由) □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	通常の支援以外の行所を持ている。 NPO、実施のない。 NPO、実施のない。 「特で市が市しかない。 「特で市が市しかない。 「特で市が市しかない。 「特で市が市しかない。 「おりまれるより政策を持ている。 「はいる。 「はいいる。 「にににのする。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	題をなられてきます。 ではまない ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた では では では できない できる りょり ・ 施策 のの 性質 のの 目の では では できる では できる	ることが求められている。 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 【一タ・事実に基づき設定して、 ・変現性がい値である。 「一次実現性がにでない。 ・変形を定してはない。 ・対である。 ・対である。 ・対である。 ・対である。 ・対である。 ・対である。 ・対域がある。 ・対域があ	大の具体的な内容 力を得ながら実施して かを得ながら実施して かから実施して カを得ながら実施して カを得ながら実施して フェック てい、別における目標値(と3 対策 1等長間資本 10でのである他	() () () () () () () () () ()	● ② 東	で Alto 、で役たが水の P 参協 N 東	どおりでなかっつ 1/1	た でなかった原。	た	を加・t 初初期待ししたといった感加 に定どおりのでなかった。 で変われている。 で変われていないできないですないできないです。 で変われている。 で変われている。 で変われている。 で変われている。 で変われていな	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大容 下ため 大容 下ため 、 行事が中」	Q●要要要要要要要要要要要要要要要更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更更
び 要性 (2) 市が実施する必要 性 (2) 市が実施の必要性((3) 目標を事業ののに (1) 目標を変更である。 (3) 目標によりには適切か? (3) 目標には適切か? (4) 日標には適切か? (5) 日標には適切か? (5) 日標には適切か? (6) 日標には適切か? (7) 日標には適切か? (7) 日標には適切か? (7) 日標には適切か? (7) 日標には適切か? (7) 日標によりには適切か? (7) 日標によりには、 (7) 日標によりには、 (7) 日標によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	田由・ 現するためには、 (理由) □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	通常の支援以外の行所を持ている。 NPO、実施のない。 NPO、実施のない。 「特で市が市しかない。 「特で市が市しかない。 「特で市が市しかない。 「特で市が市しかない。 「おりまれるより政策を持ている。 「はいる。 「はいいる。 「にににのする。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「ににいる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「にして、いる。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	題本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ることが求められている。 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 【一タ・事実に基づき設定して、 を選別性が値ではない。 を対象が有る場合、比較対象の を対象がある 実施予定の対応である 実施予定の対応である 実施予定の対応 の削減策の実施 【日記録を表現して、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大の具体的な内容 力を得ながら実施して かを得ながら実施して かので かので かので がいいので 対策 1⑤ P F 本 ま 負担 1⑦ その他 計算費用単位/事業費用 環値 - 現況(値) × 費用	() () () () () () () () () ()	● ② 東	で Alto 、で役たが水の P 参協 N 東	どおりでなかっつ 1/1	た でなかった原。	た	を加・t 初初期待ししたといった感加 に定どおりのでなかった。 で変われている。 で変われていないできないですないできないです。 で変われている。 で変われている。 で変われている。 で変われている。 で変われていな	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大容 下ため 大容 下ため 、 行事が中」	● 表現で

事業コード		442			課コード		0505		会計種	別	一般会計				予算	草の種類	□政	策	■経常	ロなし
					pr-				24113		мди				1,7	T T X			-42113	
1. 事業の)概要(PLAN)		其太惠堂	あらき園道	事党事業											I				
		①事業名	個別事業	リスクマネ						\dashv	実施計画へ 位置づい		● 有	〇 無		②部課名	f	建康福祉部・	あらき園	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	Oそのf		和63年度	~			_	対象地区		□我孫子	口天王台	□湖北	□新オ (換算 <i>)</i>		□布佐	■全市 0.33 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	40 ± 4k ±		<u>и</u> пл							()	当 初)		3,302 千円				871 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0	千円	1			当該(開始)	(3	変更後)		4,026 千円	1		2,	871 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		33303		重点プロジェクト への位置づけ		重点なし		基本計画地 ·画への位置		Oŧ	●無		部門別計 位置:		計画名)		
(2)目的		施策目的・					りのニーズにあった施設・ 内の障害者施設への技術的				事業目的		記サービス提 こしまった場合				把握し、未	然に防ぐ。る	また、万が一事	故や災害が起き
		展開方向	、福祉の名	5機関との過	重携を強化しまっ して「ひやり・1	す。					-		章故、苦情、要	望、意見、「	ひやり・はっ	と」報告に	ついては、:	解決の過程を	と明確にし、記	録を残し、定期
(3)事業内容		内 容	・災害時に ・防災訓網 ・消防設備 ・苦情解決	こおける対応	さマニュアルのA 方災用消耗品のf 里 も	確認	応のフローチャート作成				当該年原 執行計画 当該年原 活動結果打	度 事	りに担当者及び	施設長との検 アルを確認す の管理を行な	討会を実施し るを行うとと う。また、事	、検討結果(もに、災害 故に備えた)	については ・事故等を 施設損害賠	、全職員に原想定した訓練では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	間知する。 東を年間6回実旅	
(4)達成目標(期	期待する成果)	利用者支援におけ	るリマクを最	- 小限にする		目標(期待す					指標種類	-	動、ひやりは	っと 階級制	指標	計会の実施	-tx	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	:	利用者支援におけ								_	直接	-	事故、ひやりは					%	100	100
令和 3年度 一 令和 4年度		利用者支援におけ	るリスクを最	最小限にする	るため、職員のは	危機管理意	: :識を高める。			_	直接 ———— 直接	a	鉢、ひやりは					%		100
	·																	70		100
(7)事業実施上	の課題と対応										代替案検	討	〇有	●無						
		т.	平成31	年度	☆短/エ四) 政		令和 2年度	予算額(千円)	h 答如 / T	·m\ ть			3年度		m) 耐			4年度	☆短/エ四)
		策 : 防災用消耗品	内 容		金額(千円)	策	内 容		78	大昇観(十	束:	防災用消耗	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		金額(千月	東:	災用消耗品	内 容		金額(千円) 78
(8)施行事項	実施内容 費 用	障害者施設総合	合補償制度		31	* 障	害者施設総合補償制度 害福祉サービス事業所への 物品整備事業分(9月補正		353 724		302 R	璋害者施設	段総合補償制度			353 障:	害者施設総	合補償制度		353
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %		34	· ·	100 %	1, 155 724	1,		助率	合 計	0 %		431)率	合 計	0 %	431 0
(9) 財源内訳	県支出金 起債	補助率 充当率		0 %		0 補助 0 充当	· ·	0 %	0		0 充	助率 当率		0 %		0 補助 0 充当			0 %	0
	一般財源その他の財源	□特会 □受益	益 口基金 口	その他			□特会 □受益 □基金 □-	その他	431 0 0, 33		097	□特会□	□受益 □基金	□その他		0 E	□特会 □受	益 □基金	口その他	431 0
(10)人件費等	換算人数(人) 正職員人件費 嘱託職員報酬額				4, 60				2, 871		871 0					740				0
事業費(予算(決)	臨時職員賃金額 (章)額+正職員人件費)					0			0 4, 026	3	968				2	0 171				0 431
(11)単位費用	活動結果指標)		283. 22千	円/回	-, -,		223. 67千円	円/回	1,722). 44									
2. 事業の	評価 (DO+CHECK)																		
評	価項目	1-11 11 · · · · · · · · · · · · · · · ·				前評(1 2 1 1 1 4-		•			事 後 評	価(評価結果	に応じ、改善	素検討(拡	充も含む))		改善検討
	今必要である理由・ ?(事業の必要性)	はる危機管理体制			女王を帷保する。	ことか基本	であり、事故防止対策を	中心とした値	征サービスにお	○②事	どおりとし	の想定どま ,た理由/?	おりでなかった 想定どおりで <i>な</i>	なかった原因>			41- V = 7			○要 ●不要
必要性(2)市が実	施する必要性は	口その他	で市が実施す 体が市しかな	けることが? ない	定められている		の他の内容>			から今行 ■①民 □②市 □③市 □④市	後も現状通 間企業、N が主導でる が先導役と 進された での支援が延	<u>り推進し</u> NPO、市 進めなけれ となったこ 政策・施策	ていく。 市民団体等では れば実効性がな ことで市民へ普 徒の目標の実現	実施できなか かった 及が一層	った <市実	日保達成の75 『施の具体的』 『営する施設	な内容・必	要性の理由		
あるか		サービ: 口市が支	導で進めるこ 施・提供する スが保証され 援することに 図られる	ことにより ることにより いる		る した	の他の内容>			□⑥サ □⑦そ		安定供給基	られた 基盤が確保され	<i>†</i> =						○要 ●不要 ——
			参加・協作				工夫の具体	めな内容)具体的な内容 かれる場合には					の程度・内容		
参加・協働の工夫しては(体制づく		○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ●⑥その他	に市民の参画 に市民の参画 内な活動と連	有り 有り 携している						なし					●②± ○③±	当初期待した当初期待した当初期待した当初の期待以	ことおり J下	/期待以下 ⁻	であった原因>	○要 ●不要
夫		くその他の内容> 該当なし								1										
			配慮の)視点			取組む	內容				実施し <i>た</i>	:具体的な内容				環境へ	の配慮		
環境に配施のの配慮	意して事業を進めて	□①自然環境を生 □②生き物と共育 □③手賀沼を意韻 □④環境負荷低減 ■⑤その他	Eかしている Fしている 戦している							なし					02	想定どおり 想定どおりで ごどおりでな:	ごなかった			〇 要 ● 不要
		<その他の内容> 該当なし								1										
		現況値(a)(%)	目標値(b) (%)			目標値の妥当性のチェッ	ク			達」	成状況		●①目標値達						
(1)目標設	定は適切か?	100	100)	□②現況値と比 □③現況値との	・一タ・事事 で実現性が きが小さし 対象が有る	実に基づき設定している が乏しい値ではない い値ではない る場合、比較対象例におけ		現況値の差)と		直(f)(%) 100	達成 (f/	100	提出と検討会	した理由/未 マネジメント を定例化する	の意識を高め	めるため、		こや事故報告書	○要●不要
		対策実施によ 事業費(c)(千円)	事業費削減	咸額(d)	□①国・県助成			I 等民間資本	の活用	中纬片	実 (g) (千円)		業費(%)	○①想定事業●②概ね想定○③想定事業	事業費以内		事前の想定の			
効 率 (2)事業費 いるか 性	削減の工夫をして ?	4, 026	(千円 1,07 川減率(%)	72	□②現有体制で □③維持管理費 □④民間委託 <削減の内容>		口⑥受益 の実施 口⑦その			3,	, 968 理由等>	(g/	98. 56	○⊍応止争業	、 河、 八旦 川型			どおりでなか できなかっ <i>†</i>		 ○要 ●不要
			. 03	業費(e)			計算方法	法			達	成状況		〇①目標値以		目標値以上と	となった理に	由/目標値以	↓下であった原[因>
投じる	を実現する為に 事業費は適正か? 対費用)	2. 48		単位 %	費用単位 10万円		∓度の指標:目標値×費用 数年度の指標:(目標値−₹	単位/事業費			走值 (h) 2. 52	対目 (h/	標値(%) (e)×100 01.61	●②目標値と ○③目標値以						○要 ●不要
3. 事後評																				
●現状どおり	り推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	〇休止 評価コン	〇廃止 メント	〇事業手	法見直し 〇その他((事業完了など	ř)					改善	策及び展開力	方向				
評 本事業は、 していく。		どに対する危機管理	の構築という			可欠な事業	きとなっていることから、	今後も現状通	iり推進											

^張 式第3号						+ 77 +	莱 評価表	(市)	2平及	.)							
事業コード		2194		課	コード	0505		会計種別	一般经	会計			予算	の種類	■政策	■経常	□なし
1. 事業の)概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業あ							計画への	0	有 〇無		②部課名	健康福祉音	『・あらき園	
		③事業主体		らき園の維 〇その他(持管理				位ii) ④対象均	置づけ **区	□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	口布佐	■全市	
		⑤事業期間	U III	<u>しての他(</u>	令和				⑥担当耶		口投除了		4 人		ЦПИ	0.38 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費			0 千円			坐該 (周	開始) 年度	(当 初)		16,828 千円	(うち人件費		3,306 千円)	
		(人件費含む)	心尹木貝			V 111	Γ		300	刊知/千及	(変更後)		15,841 千円	(うち人件費		3,306 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		33303	重点プロジェクト への位置づけ	重	点なし		画地区別 D位置づけ	0	有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(n) E ++		施策目的・								# D #F				 会生活や日常生活(こ必要な知識	や態度・習慣の獲	得をより効果
(2)目的		展開方向	、福祉の各機	関との連携	を強化します。					業目的		りの施設としての					
(3)事業内容		内 容	掃委託、草刈 あらいるとを 令和3年度 令和4年度	委託等を実 屋根別躯 に建物屋屋 を な館屋屋 屋屋 食堂棟屋上	施する。 壁は現状雨漏りの劣化につなれ 外壁等改修工事 外壁等改修工事 ・外壁等改修工事	良い環境のもと利用できるよう施計 りや軒下の鉄部の腐食等が生じてる がる恐れがあるため、個別施設計 事設計 事、食堂棟換気・空調設備工事 工事設計、本館及び食堂棟老朽化 宿換気・空調設備設計、本館トイ	おり、サービス排画に位置付け修新 こ伴う設備工事割	是供に支障をきた 善を行う。	たし 当記 執行 水、 当記	亥年度 亍計画 亥年度 吉果指標	ては速やかに改 あらき園本館屋 しているととも	対修修繕及び工員 をでは、 で建物躯体の分 でき園本館屋根	事を行う。 現状雨漏り 劣化につなが	定期的に維持管理 や軒下の鉄部の腐 る恐れがあるため、 多工事に伴う設計業	食等が生じてる 個別施設計画	おり、サービス提 画に位置付け修繕 施設等適正管理推 想定値	供に支障をき を行う。
(4) 達成目標(其	朝待する成果)		ı		達成目標	票(期待する成果)			指標	票種類			指 標		単位	5)現況値	(6)目標値
当該年度		施設の機能を維持							Ū	直接				必要修繕・工事個層	90	100	1
令和 3年度		施設の機能を維持							Ū	直接				必要修繕・工事個層	70		1
令和 4年度		施設の機能を維持	し施設環境を適	i切に保つ					Ī	直接	施設の維持管理	里率(修繕・エ♀	事実施箇所/!	必要修繕・工事個店 -	析) %		1
(7)事業実施上	の課題と対応								代替	案検討	0	有 ●無					
			平成31年月				令和 2年度				 	1 3年度			令:	和 4年度	
		政策	内 容		金額(千円)	政 内容	予算	算額(千円) 決	算額(千円)	政	内 容		金額(千円	9)	内容	\$	金額(千円)
(8) 施行事項	実施内容 費 用	漢消耗品費光熱水費施設信律施通掃表託報費清刈木管理樹厨房清掃委託指新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新報新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額新額<l< th=""><th>4</th><th></th><th>102 4, 904 154 48 3, 815 43 22 225</th><th>消耗品費 光熱水費 施設修繕料 通信運搬費 清掃委託料 草刈云</th><th>党) 情費充用) E用) 収修工事に</th><th>103 4, 963 150 48 4, 136 47 31 227 3, 817 205 106 △1, 298</th><th>103 4, 546 461 35 4, 004 47 31 227</th><th>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>費 養 養 養 養 養 託料 王 任 里 委 王 料</th><th>卜壁改修工事業 卜壁等改修監理</th><th>4, 4, 50, 50, 5, 6</th><th>033 * 本館トイ * 本館及び</th><th>料費 料 料 を を を を を を を を を を と が に な を を を を を を を を を を を を を を を を を を</th><th>起債対象) 象)</th><th>11 4, 96 1, 14 4, 13 2 2, 2, 3, 8, 3, 8, 2, 96 5, 4, 14</th></l<>	4		102 4, 904 154 48 3, 815 43 22 225	消耗品費 光熱水費 施設修繕料 通信運搬費 清掃委託料 草刈云	党) 情費充用) E用) 収修工事に	103 4, 963 150 48 4, 136 47 31 227 3, 817 205 106 △1, 298	103 4, 546 461 35 4, 004 47 31 227	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	費 養 養 養 養 養 託料 王 任 里 委 王 料	卜壁 改修工事業 卜壁等改修監理	4, 4, 50, 50, 5, 6	033 * 本館トイ * 本館及び	料費 料 料 を を を を を を を を を を と が に な を を を を を を を を を を を を を を を を を を	起債対象) 象)	11 4, 96 1, 14 4, 13 2 2, 2, 3, 8, 3, 8, 2, 96 5, 4, 14
(9) 財源内訳	予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 起債 一般財源 その他の財源 換算人数(人) 正職員人件費	補助率 補助率 充当率	(0 % 0 % 0 % の他	9, 313 0 0 0 0 0 9, 313 0, 18 1, 584	補助率 補助率	0 % 0 % 90 % その他	12, 535 0 0 2, 200 10, 335 0 0, 38 3, 306	11, 973 0 0 2, 200 9, 773 0 0, 38 3, 306	補助率 補助率 充当率	合計	0 % 0 % 90 % 全 □その他		0 補助率 0 補助率 500 充当率 463 0 □特会 .18	合 計 □受益 □基金	0 % 0 % 80 %	21, 16 8, 50 12, 66 0, 1
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0			0	0					0 0			
(11)単位費用	算)額+正職員人件費)		108.97千円。		10, 897	158.41 ← ₽		15, 841	15, 279 152, 79				68,	529			22, 72
	活動結果指標》 評価 (DO+CHECK)	0	100: 37 1 2	, ,0		100.4111	17 70		102. 73								
	価項目	<u> </u>			東前			I			車 後 証	価 (証価結里)	に広じ 改善	案検討(拡充も含	ts))		改善検言
(1)事業が	今必要である理由・ ・?(事業の必要性)	生活介護事業所とである。	して、設備の保	守点検や改		・	用者にとって市と		<想定どおり	忍での想定 とした理由	どおり どおりでなかった a/想定どおりで	さなかった原因>		D機能維持を図るこ		<i>-</i> ₩.	○要 ●不要
必要性 (2) 市が宝	施する必要性は	口その他	で市が実施する 体が市しかない	ことが定め		<その他の内容>			□②市が主義 □③市が先義 促進され □④市の支援	算で進めなり 算役となった れた 爰が政策・)	、市民団体等ではければ実効性がなたことで市民へ管施策の目標の実現	なかった 普及が一層	市で運 安全で	施の具体的な内容 営する施設なので 快適な利用を実施 とは、市の責任で	市以外では	実施できない。	
あるか(市実施	・? 徳の必要性)	サービ 口市が支 実現が	導で進めること 施・提供するこ スが保証される 援することによ 図られる	により実効 とにより、	良質で安定した	くその他の内容>		-	□⑤サービス □⑥サービス □⑦その他 <その他の内	スの安定供	味された 給基盤が確保され	1 <i>t</i> =					〇要 ●不要 ——
		□その他	参加・協働の	D内容		工夫の具体	的な内容				動の具体的な内容 えられる場合には			参加・抗	島働の程度・戸	内容	
参加・協働の工夫していく体制づく		○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民・大同で ●⑥その他	こ市民の参画有 に市民の参画有 な活動と連携 で事業を実施	IJ					<u>ッル</u> なし			K COPIE	●②≝ ○③≝	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった:		下であった原因>	○要 ●不要
		該当なし	T-1 - 1 - 1 -	F		_ ,	.				+ P.4	2		_	H		
環境 環境に配成の いるか?	載して事業を進めて	□①自然環境を生 □②生き物と共有 □③手賀沼を意調 □④環境負荷低減 ■⑤その他	子している 戦している 域に貢献してい ^え			取組む	·內谷		除草剤を使用		ンた具体的な内容 きを行った。	F	O2.t	環息定どおり 想定どおりでなかっ とおりでなかった)			○ 要 ● 不要
NUA .		<その他の内容> 該当なし		_													
		現況値(a)(%)	目標値(b)(%) I		目標値の妥当性のチェッ	ク			達成状況		●①目標値達	成				
(1)目標設	定は適切か?	100	100	□1 ■2 □3	②現況値と比べ ③現況値との差	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ		- 	実績値(f)(d	%)	達成率(%) (b/f×100)	○②目標値未 <目標を達成し 改修・修繕を記	達成 した理由/未 計画通りに実施	達成となった原因〉施した。	>		—— ○要 ●不要
効 率 (2)事業費 いるか 生	削滅の工夫をして ?	事業費(c)(千円) 15,841 事業費削	本 る事業費削減 事業費削減額 (千円) △4,944 削減率(%)	■2 □3 □4 <削; 公共;		対応 □⑥受益	他 している本館及び	「食堂棟に修	実績値(g)(千 15,279 <超過理由等	-H)	寸事業費 (%) (g/c)×100 96.45	○①想定事業 ●②概ね想定 ○③想定事業	事業費以内	●①事前の想	見定どおりでた	ぶかった	○要 ●不要
投じる	を実現する為に 事業費は適正か? 対費用)		目標値対事業費	単位 費		計算方: ●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-₹	単位/事業費	位/事業費	実績値(h) 0.65		寸目標値(%) (e/h)×100 96.92	○①目標値以 ●②目標値と ○③目標値以	同程度	 目標値以上となっ <i>†</i>	≃理由/目標値	直以下であった原園	因> 〇要 ●不要
3. 事後評	価	1															
●現状どおり	り推進 O拡充	〇縮小		**		○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
本事業(+	あらき周の機能改	化という施策の宝理		評価コメン		老朽化により十分な支援が行えて	いないため 歩=	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				改善	策及び展開方	向			
		し、計画的な大規模															